

**平成28年度授業改善アンケート  
調査結果報告書**

平成29年3月

名城大学 FD委員会



# 目次

---

授業改善アンケートについて .....	1
サマリー .....	2
〔調査結果〕	
調査概要と対象者属性 .....	5
アンケート項目 .....	6
授業科目の集計結果 .....	7
授業改善アンケート集計結果の見方 .....	8
1 授業満足度の変化 .....	10
2 成長実感の変化 .....	11
3 調査結果のまとめ .....	12
4 学部別改善ポイント .....	14
5 授業満足度を上げるための改善優先項目 .....	16
6 自学自習時間 .....	28
7 授業満足度と自学自習時間の関係 .....	29
8 回答率 .....	34
9 一授業あたりの回答学生数 .....	35
10 回答者数の規模別授業満足度 .....	36
〔基礎データ(前期)〕	
11 時系列比較 .....	37
12 授業評価の基礎データ.....	38
13 学生評価の基礎データ.....	44
〔基礎データ(後期)〕	
14 時系列比較 .....	51
15 授業評価の基礎データ.....	52
16 学生評価の基礎データ.....	58



# 授業改善アンケートについて

---

平素は、本学の FD 活動にご協力いただきありがとうございます。

例年、授業改善アンケートは、高い実施率を誇っています。これも、貴重な授業時間を割いてアンケートにご対応いただく数多くの先生方のご理解のおかげであり、FD 活動に対する熱意の表れであります。おかげをもちまして、今年度も貴重なデータを収集・蓄積することができました。厚く御礼申し上げます。

本学は FD 活動を始動した平成 12 年度から、学生による授業評価アンケートを継続して実施し、授業満足度アンケート、授業改善アンケートと名称は変更されても毎年度の FD 委員会において教育力の向上につながるようにアンケート結果の分析や内容を改善してまいりました。

今年度は、FD 委員会が前年度に設置した「授業改善アンケートワーキンググループ」において、より効率的な授業評価を行う手法を検討していく一策として提案のあった、WEB を利用した授業改善アンケートを試行的に実施した結果、回答率の点で課題は出たものの、調査票の配布の手間や授業の時間を割くことがなくなるなどのメリットもあり、来年度以降も WEB を利用した授業改善アンケートを実施していく予定です。

また、授業改善アンケートの結果を電子データとして簡易に扱うことが可能になったためデータを分析し、教育改善活動に活用することを目的として、結果の電子データの開示ルールを整備することが出来ました。

今回得られた結果を踏まえ、本学の授業改善につなげられる「授業改善アンケート」をより良い形で実施すべく今後も検討してまいりますので、引き続きご協力賜りますようお願いいたします。

名城大学 FD 委員会

# サマリー

---

## 平成 28 年度前期 アンケート調査の概要

### ○学生の「授業満足度」 67.2% (Page.10)

(アンケート問 13: この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか)

### ○改善優先度の高い項目 (Page.16-27)

高いポイントが示された「改善優先度」の項目については、以下のとおりです。ポイントが高いほど、その項目については改善が求められています。

#### 1. 「工夫」 36.4 ポイント

(アンケート問 5: この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか)

#### 2. 「理解配慮」 34.3 ポイント

(アンケート問 4: この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか)

#### 3. 「板書」 28.4 ポイント

(アンケート問 1: この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったと思いますか)

## 平成 28 年度後期 アンケート調査の概要

### ○学生の「授業満足度」 66.3% (Page.10)

(アンケート問 13: この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか)

### ○改善優先度の高い項目 (Page.16-27)

高いポイントが示された「改善優先度」の項目については、以下のとおりです。ポイントが高いほど、その項目については改善が求められています。

#### 1. 「工夫」 37.6 ポイント

(アンケート問 5: この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか)

#### 2. 「理解配慮」 35.7 ポイント

(アンケート問 4: この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか)

#### 3. 「板書」 29.6 ポイント

(アンケート問 1: この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったと思いますか)

# サマリー

---

## 平成 27 年度からの変更点

平成 28 年度調査から、全学的に調査実施方法がそれまでの授業中の紙による調査から WEB システムによるアンケートへ変更となった（前期における常勤、後期における常勤・非常勤は紙から WEB へ変更。但し、薬学部は実施方法に変更はない）。調査方法の変更により、前回との違いを要約すると 3 点見られる。①回答率の減少、②対象者の質的变化の可能性、③結果の改善である。

### ①回答率の減少

回答率の変化は具体的には、H27 前期→H28 前期：76%→57%、H27 後期→H28 後期：69%→41%となった。前期は非常勤調査が紙実施だったため減少率は少ないが、後期は常勤・非常勤ともに紙調査から WEB 調査に移行したため回答率の減少幅が大きいと考えられる。回答率減少の背景としては、紙調査の場合は、授業中の実施であるため、一種の強制力が働いていたが、今回の WEB 調査では授業外での実施になり、強制力が減少したことが背景に考えられる。また、学部・学科別の回答率の変化も大きい。

### ②対象者の質的变化の可能性

対象者属性の変化を捉えることは難しいものの、今回の回答学生の特性として、「自学自習時間」の回答が参考になるかもしれない。今年度は、授業以外での勉強時間について「していない」が減少している（前期：35%→28%、後期：37%→29%）。この結果を見ると自主的な勉学や課題に真面目に取り組んでいる学生が今回は前回よりも、回答した割合が高まったのかもしれない。

### ③結果の改善

調査の結果の時系列比較については、平成 28 年度から設問自体を変更しているものの、比較が可能と考えられる項目について確認した。本報告書上で比較した項目は「板書」「話方明瞭」「私語対応」「理解配慮」「熱意」「自学自習時間」、「興味喚起」の 7 項目である。結果を見るといずれの項目ともに、前年度よりも今年度の方が評価は高い。特に「板書」や「理解配慮」においてはポジティブ回答（強く思う＋やや思うの合計）が 7 ポイント以上上昇した（前期・後期とも）。この結果は対象者属性の変化の可能性も考えられるが、もちろん教員側の改善努力によるものとも考えられる。

以上 3 点から、時系列での比較については単純にはできないため、過去データについては参考値として認識すべきと考える。但し、今年度の調査方法については同様の方法で各学部とも行っているため、学部・学科間での比較に支障はない。次ページでは全体値の傾向と学部間の比較について述べることとする。

# サマリー

## 平成 28 年度 調査結果の整理と分析

○「授業満足度（アンケート問 13：この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか）」については、満足計（強くそう思う＋ややそう思う）の回答は前期で 67%、後期で 66%となった。回答した全学生のうち 3 人に 2 人が満足しているという結果である。

学部別に差が見られており、前期ではトップの人間学部で 77%、ボトムの理工学部で 62%となり、後期では外国語学部がトップで 80%、ボトムは前期同様、理工学部が 61%となった（但し、外国語学部は 1 年次のみ）の回答）。（Page.10）

○「成長実感（アンケート問 11：この授業を通じてあなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか）」については、前期・後期ともに 63%が「そう思う」と回答した。この設問も学部別で評価が異なり、人間学部、外国語学部、都市情報学部、経営学部で高く、理工学部や経済学部、薬学部、法学部で低い傾向が見られた。（Page.11）

○本調査では、「授業満足度」と統計的に相関は高いものの、評価の低い項目を、満足度を上げるための改善優先項目として分析している。結果としては「工夫（アンケート問 5：この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか）」や、「理解配慮（アンケート問 4：この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか）」が前期・後期問わず改善優先項目として上がった。これは全学部共通の傾向であった。（Page.16-27）

○「自学自習時間（アンケート問 9：あなたは、この授業のために 1 週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか）」は前回よりも勉強しない割合は減少したものの、回答者全体のうち 3 割は授業外では全く勉強をしていないようだ。学部別でも差が見られ、人間学部、経営学部に加えて農学部も自学自習時間がやや低い傾向が見られた。

「自学自習時間」と「授業満足度」には関連が見られ、勉強時間が長いほど授業満足度は高い結果となっている。「自学自習時間」と「授業満足度」の関係を授業分布から確認したところ、自学自習時間も長く、授業満足度も高い授業が多いのは、学部別に見ると外国語学部だけとなった。一方で、経営学部や経済学部、都市情報学部、人間学部では授業満足度は高いものの、自学自習時間は低い授業が多かった。（Page.28-29、32-33）

○登録学生数に占める回答者数を算出したところ、薬学部は前期・後期ともに 8 割を超えて特に高かった。経済学部で約 3 割、全学部平均でも 5 割に満たない結果となっている。薬学部では恒常的に授業アンケートが実施され、学生側に回答の動機付けがすでになされているようだ。他学部においても回答率のさらなる向上を目指しアンケート精度の向上を図りたい。（Page.34）



# 調查結果



# 調査概要と対象者属性

## 目的

学生の視点から授業改善の手がかりを探り、授業改善につなげることで教育の質を向上させることを目的とします。

## 調査主体

FD委員会

## 実施期間・調査方法・対象授業・回答者属性

	28年度前期	28年度後期
<b>実施期間</b>	平成28年7月1日～平成28年7月30日	平成28年12月1日～平成29年1月16日
<b>調査方法</b>	常勤授業:WEBアンケート 非常勤授業:アンケート用紙による自記式アンケート	常勤授業:WEBアンケート 非常勤授業:WEBアンケート
<b>対象授業</b>	学部の授業を担当する常勤教員と非常勤講師を対象とし、平成27年度前期にアンケートを実施した講義科目において実施しました。なお、平成27年度前期にアンケートを実施していない場合は、担当授業のうち最も履修者が多い講義科目において実施しました。 ただし以下のいずれかの項目に該当する授業は対象から除きました。 ・ 体育科目 ・ リレー方式で開講されている科目 ・ 実験・実習・演習など講義以外の科目 ・ 履修登録者数が10名未満の科目	学部の授業を担当する常勤教員と非常勤講師を対象とし、平成27年度後期にアンケートを実施した講義科目において実施しました。なお、平成27年度後期にアンケートを実施していない場合は、担当授業のうち最も履修者が多い講義科目において実施しました。 ただし以下のいずれかの項目に該当する授業は対象から除きました。 ・ 体育科目 ・ リレー方式で開講されている科目 ・ 実験・実習・演習など講義以外の科目 ・ 履修登録者数が10名未満の科目
<b>回答者属性</b>	○728設定授業中 714授業で実施 実施率98.1% ○実施授業の履修登録者数:64,202人 有効回答者数:36,419人(回答率:56.7%) ○教員コメント記載件数 295件 (714実施授業中 295件のコメント記載率41.3%)	○714設定授業中 713授業で実施 実施率99.9% ○実施授業の履修登録者数:62,740人 有効回答者数:25,727人(回答率:41.0%) ○教員コメント記載件数 280件 (713実施授業中 280件のコメント記載率39.3%)

## 開講学部別回答者数

	28年度前期			28年度後期		
	実施 授業数	学生		実施 授業数	学生	
		常勤 授業受講	非常勤 授業受講		常勤 授業受講	非常勤 授業受講
法学部	82	1,994	2,270	83	1,382	826
経営学部	64	1,488	1,410	69	1,236	664
経済学部	52	1,634	1,020	55	1,091	594
理工学部	273	6,311	4,856	263	4,603	2,814
農学部	59	2,299	1,706	66	1,808	777
薬学部	26	3,322	682	36	5,130	554
都市情報学部	72	1,941	1,621	57	1,411	672
人間学部	45	997	1,174	45	971	514
外国語学部(1年次のみ)	21	583	147	21	215	55
教職課程・学芸員課程	20	336	628	18	159	251
計	714	20,905	15,514	713	18,006	7,721

# アンケート項目

## 平成 28 年度前期・後期授業改善アンケート

名城大学 FD 委員会

このアンケート調査は、学生の皆さんの視点から授業改善の手がかりを探り、授業の改善につなげることを目的として実施するものです。なお、ご回答いただきました内容は授業改善のみに使用し、成績評価等には一切影響しませんので率直に回答してください。

■ 回答方法：質問 1～13 については、もっとも当てはまるものを一つずつお選びください。  
質問 14 は自由記述です。

1. この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったと思いますか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
2. この授業では、教員の話し方は聞き取りやすかったと思いますか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
3. この授業では、教員は私語に対し、きちんと対応していましたか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
4. この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
5. この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
6. この授業では、教員は熱意や意欲をもって授業に取り組んでくれたと思いますか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
7. あなたは、シラバスや履修系統図を参考に、この授業の目標やねらいを十分に理解したうえで受講したと思いますか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
8. あなたは、この授業に対して、欠席や遅刻をすることなく、過度なアルバイトや寝不足などによる体調不良がない状態で臨むことができたと思いますか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
9. あなたは、この授業のために 1 週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。  
1.週 3 時間以上 2.週 1 時間-3 時間未満 3.週 30 分-1 時間未満 4.週 30 分未満 5.していない
10. あなたは、この授業に意欲的・積極的に取り組むことができたと思いますか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
12. この授業を通じて、あなたは学問や研究への興味や意欲を膨らませることができたと思いますか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。  
1.強くそう思う 2.ややそう思う 3.どちらともいえない 4.あまりそう思わない 5.全くそう思わない
14. この授業について、あなたが良いと思った点や、改善したほうが良いと思った点について、建設的なご意見を記述してください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

# 授業科目の集計結果

<各教員へのフィードバック様式見本>

## 【名城大学FD】平成28年度前期・後期授業改善アンケート 集計結果

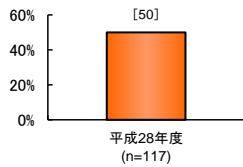
●●学部	科目名: ●●●●	時間割: ●曜日●限
履修登録者数: ●●	回答者数: ●●	回答率: ●%
教員名: ●●●●		
平成27年度実施科目名: ●●●		

### ■学生の評価

#### 【成長実感(%)】

この授業を通して、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いませんか

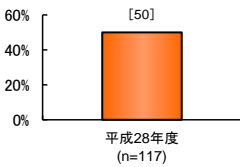
(強く+やややそう思うのスコア)



#### 【授業満足(%)】

この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか

(強く+やややそう思うのスコア)



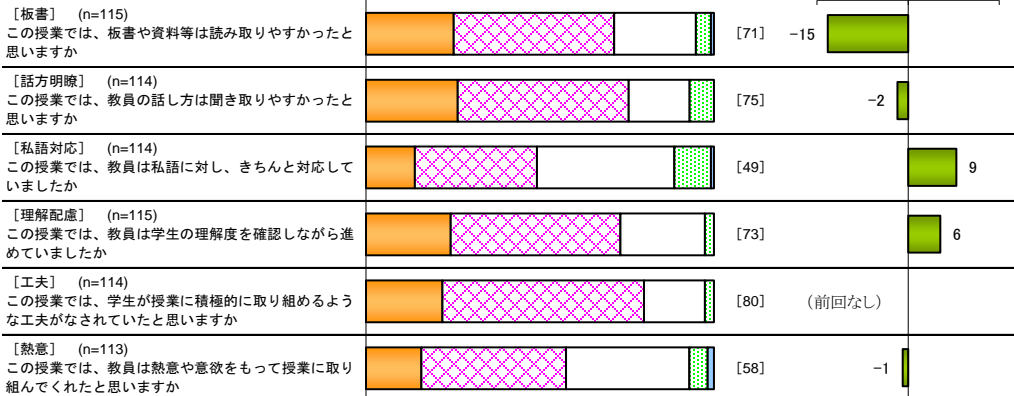
#### 【自学自習時間(%)】

あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか

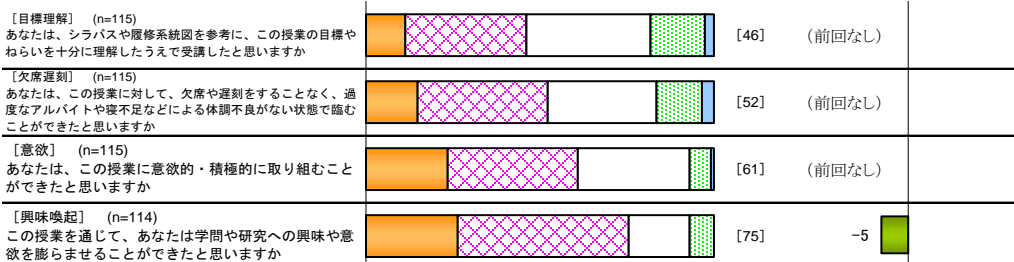
	週3時間以上	週1時間-3時間未満	週30分-1時間未満	週30分未満	勉強していない	無回答
平成28年度 (N=117)	2	7	14	18	58	1
平成27年度 (N=115)	4	11	13	27	45	0

### ■各項目の評価

#### 【授業の評価】



#### 【学生の評価】



コメント  
教員の

# 授業改善アンケート集計結果の見方

## 授業改善アンケート集計結果の見方

【名城大学FD】平成28年度  
集計結果

●●学部	科目名: ●●●●	時間割: ●曜日●限
履修登録者数: ●●	回答者数: ●●	教員名: ●●●●
平成27年度実施科目名: ●●●●		

P.9【1】参照

P.9【2】参照

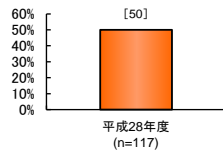
P.9【3】参照

### ■学生の評価

#### 【成長実感(%)】

この授業を通して、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか (※1)

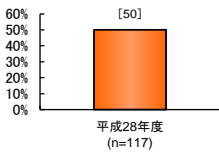
(強く+やや+そう思うのスコア)



#### 【授業満足(%)】

この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか (※2)

(強く+やや+そう思うのスコア)



#### 【自学自習時間(%)】

あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強しましたか (※3)

	週3時間以上	週1時間~3時間未満	週30分~1時間未満	週30分未満	勉強していません	無回答
平成28年度 (N=117)	2	7	14	18	58	1
平成27年度 (N=115)	4	11	13	27	45	0

P.9【4】参照

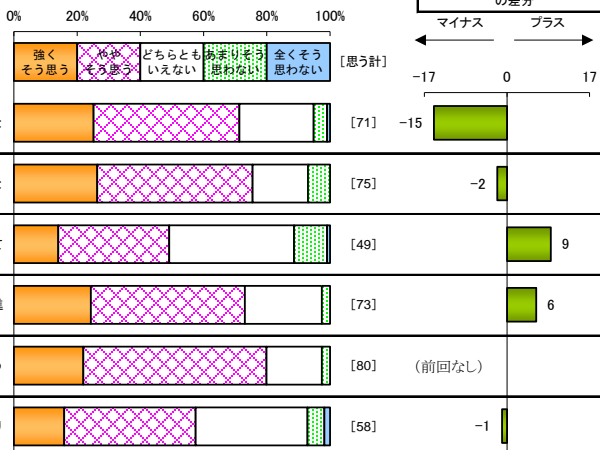
P.9【6】参照

### ■各項目の評価

#### 【授業の評価】

【板書】 (n=115)

この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったと思いますか (※4)



P.9【5】参照

#### 【学生の評価】

【目標理解】 (n=115)

あなたは、シラバスや履修系統図を参考に、この授業の目標やねらいを十分に理解したうえで受講したと思いますか (※10)

【欠席遅刻】 (n=115)

あなたは、この授業に対して、欠席や遅刻をすることなく、過度なアルバイトや寝不足などによる体調不良がない状態で臨むことができたと思いますか (※11)

【意欲】 (n=115)

あなたは、この授業に意欲的・積極的に取り組むことができたと思いますか (※12)

【興味喚起】 (n=114)

この授業を通して、あなたは学問や研究への興味や意欲を膨らませることができたと思いますか (※13)

教員のコメント

# 授業改善アンケート集計結果の見方

## 授業改善アンケートの各評価の解説（番号は P.8 と対応しています）

### 【1】回答者数・回答率

- ・回答者数が 25 人未満の場合は、少人数で算出した値であることにご留意ください。
  - ・「この授業の履修登録者数」と「この授業の回答者数」をもとに回答率を算出しました。
- 回答率は以下の式で表されます。回答率が低い場合は、少人数で算出した値であることにご留意ください。

$$\text{回答率} = \frac{\text{この授業の回答者数}}{\text{この授業の履修登録者数}}$$

### 【2】学生の評価「成長実感」「授業満足」

学生の評価「成長実感」「授業満足」の集計結果（回答した割合）です。  
「強くそう思う」「ややそう思う」の合計値を表示しています。  
各項目、無回答を除いた回答者で集計しており、「n」は有効回答者数を表しています。

(※1)(※2) 平成 27 年度は測定しておりません

### 【3】学生の評価「自学自習時間」

学生の評価「自学自習時間（授業時間を除いた学習時間）」の集計結果（回答した割合）です。  
無回答を含んだ全回答者で集計しており、「N」は全回答者数を表しています。  
平成 27 年度と実施科目が異なる場合も値を掲載しております。

(※3) 平成 27 年度は「この授業に対する 1 週間あたりの勉強時間（授業時間除く）」で測定

### 【4】授業の評価

授業の評価「板書」「話方明瞭」「私語対応」「理解配慮」「工夫」「熱意」の集計結果（回答した割合）です。  
各項目、無回答を除いた回答者で集計しており、「n」は有効回答者数を表しています。  
「強くそう思う」～「全くそう思わない」の 5 段階評価をグラフで示しました。

平成 27 年度は

- (※4) 「この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい」で測定
- (※5) 「この授業では教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい」で測定
- (※6) 「この授業では教員は私語に対し、きちんと対応している」で測定
- (※7) 「この授業では学生の理解度を確認しながら進められている」で測定
- (※8) 測定しておりません
- (※9) 「この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる」で測定

### 【5】学生の評価

学生の評価「目標理解」「欠席遅刻」「意欲」「興味喚起」の集計結果（回答した割合）です。  
各項目、無回答を除いた回答者で集計しており、「n」は有効回答者数を表しています。  
「強くそう思う」～「全くそう思わない」の 5 段階評価をグラフで示しました。

(※10)(※11)(※12) 平成 27 年度は測定しておりません

(※13) 平成 27 年度は「この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされている」で測定

### 【6】平成 27 年度科目との比較

各項目、平成 27 年度科目と比較した結果です（但し、平成 27 年度と実施科目が異なる場合は比較しておりません）。

『平成 28 年度の「強くそう思う」「ややそう思う」の合計値』から『平成 27 年度の「強くそう思う」「ややそう思う」の合計値』を引いた結果を表示しています。

値が大きいほど、平成 27 年度より改善した結果になっているといえます。

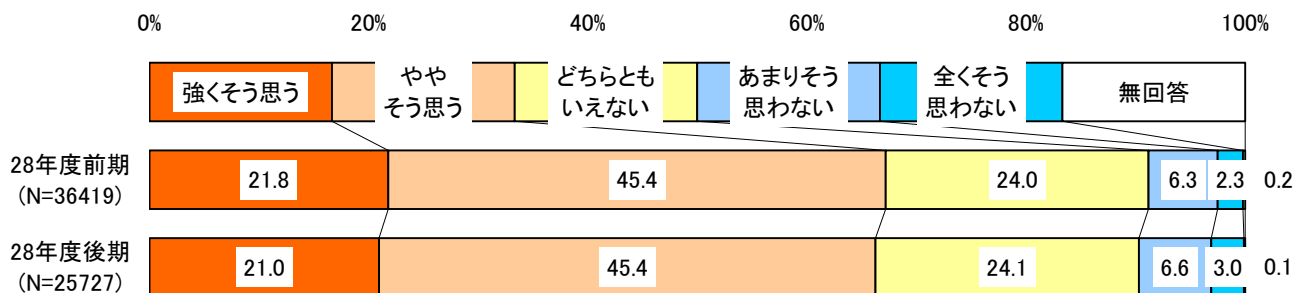
# 1 授業満足度の変化

[ 学生 ]

学生の授業満足度を時系列でみると、全体では「強くそう思う」+「ややそう思う」の割合は7割弱で、28年度前期から横ばいで推移。学部・学科別では、外国語学部で10ポイント以上と大きく上昇したが、法学部、人間学部では低下傾向。

Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。

<授業満足度> 【全学部】



<学部・学科別 授業満足度の時系列比較>

学部別	回答者数	28年度前期	回答者数	28年度後期
全体	(n=36419)	67.2	(n=25727)	66.3
法学部	(n=4264)	67.5	(n=2208)	62.5
経営学部	(n=2898)	72.8	(n=1900)	72.3
経済学部	(n=2654)	65.6	(n=1685)	66.9
理工学部	(n=11167)	61.8	(n=7417)	60.5
農学部	(n=4005)	67.1	(n=2585)	66.3
薬学部	(n=4004)	66.3	(n=5684)	67.8
都市情報学部	(n=3562)	72.5	(n=2083)	72.4
人間学部	(n=2171)	77.3	(n=1485)	72.4
外国語学部 (1年次のみ)	(n=730)	67.0	(n=270)	80.4
教職課程 ・学芸員課程	(n=964)	77.8	(n=410)	80.7

学科別	回答者数	28年度前期	回答者数	28年度後期
全体	(n=36419)	67.2	(n=25727)	66.3
法学科	(n=4233)	67.3	(n=2178)	62.2
応用実務法学科	(n=31)	96.8	(n=30)	90.0
経営学科	(n=2461)	73.5	(n=1486)	71.5
国際経営学科	(n=437)	68.9	(n=414)	75.1
経済学科	(n=1915)	64.1	(n=1386)	65.4
産業社会学科	(n=739)	69.6	(n=299)	73.9
数学科	(n=962)	62.0	(n=580)	59.5
情報工学科	(n=1593)	52.9	(n=1212)	54.3
電気電子工学科	(n=1325)	64.5	(n=865)	64.2
材料機能工学科	(n=530)	65.7	(n=349)	58.2
応用化学科	(n=336)	64.6	(n=259)	53.7
機械工学科	(n=1027)	62.7	(n=775)	63.6
交通機械工学科	(n=962)	63.0	(n=527)	62.2
メカトロニクス工学科	(n=1011)	60.0	(n=635)	59.4
社会基盤デザイン工学科	(n=932)	63.8	(n=905)	62.5
環境創造学科	(n=1345)	66.8	(n=681)	59.5
建築学科	(n=1144)	60.6	(n=629)	66.0
生物資源学科	(n=2014)	67.2	(n=989)	65.3
応用生物化学科	(n=1276)	65.9	(n=894)	69.6
生物環境科学科	(n=715)	68.8	(n=702)	63.5
薬学科	(n=4004)	66.3	(n=5684)	67.8
都市情報学科	(n=3562)	72.5	(n=2083)	72.4
人間学科	(n=2171)	77.3	(n=1485)	72.4
国際英語学科 (1年次のみ)	(n=730)	67.0	(n=270)	80.4

\*「強く」+「ややそう思う」のスコア(%)



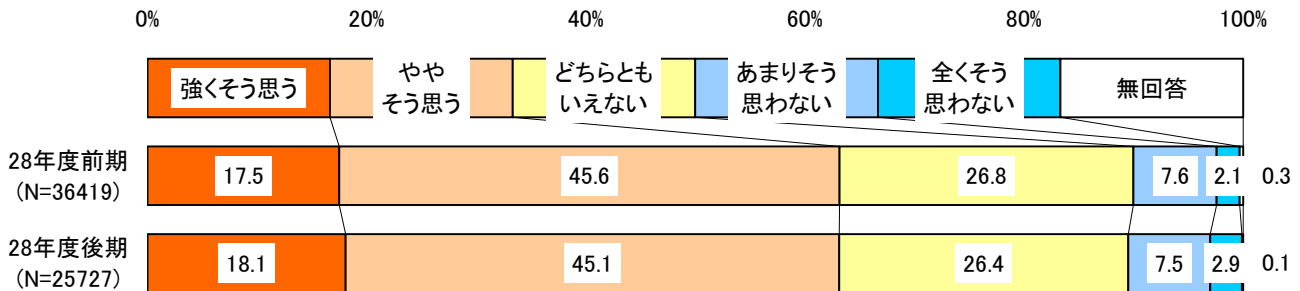
## 2 成長実感の変化

[ 学生 ]

学生の成長実感を時系列で見ると、全体では「強くそう思う」+「ややそう思う」の割合は6割強で、28年度前期から横ばい。学部・学科別では、外国語学部で10ポイント以上上昇した。

Q11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。

### <成長実感> 【全学部】



### <学部・学科別 成長実感の時系列比較>

学部別	回答者数	28年度前期	回答者数	28年度後期
全体	(n=36419)	63.2	(n=25727)	63.1
法学部	(n=4264)	61.1	(n=2208)	58.5
経営学部	(n=2898)	66.3	(n=1900)	68.4
経済学部	(n=2654)	60.6	(n=1685)	63.6
理工学部	(n=11167)	60.5	(n=7417)	58.6
農学部	(n=4005)	62.0	(n=2585)	64.3
薬学部	(n=4004)	61.1	(n=5684)	62.3
都市情報学部	(n=3562)	66.8	(n=2083)	69.3
人間学部	(n=2171)	71.9	(n=1485)	70.6
外国語学部 (1年次のみ)	(n=730)	68.2	(n=270)	80.4
教職課程 ・学芸員課程	(n=964)	78.1	(n=410)	77.1

学科別	回答者数	28年度前期	回答者数	28年度後期
全体	(n=36419)	63.2	(n=25727)	63.1
法学科	(n=4233)	61.0	(n=2178)	58.2
応用実務法学科	(n=31)	83.9	(n=30)	80.0
経営学科	(n=2461)	67.0	(n=1486)	68.2
国際経営学科	(n=437)	62.0	(n=414)	69.3
経済学科	(n=1915)	58.7	(n=1386)	61.6
産業社会学科	(n=739)	65.2	(n=299)	72.9
数学科	(n=962)	56.8	(n=580)	55.5
情報工学科	(n=1593)	52.7	(n=1212)	54.0
電気電子工学科	(n=1325)	59.8	(n=865)	65.1
材料機能工学科	(n=530)	60.2	(n=349)	49.6
応用化学科	(n=336)	66.1	(n=259)	59.1
機械工学科	(n=1027)	63.6	(n=775)	61.8
交通機械工学科	(n=962)	64.6	(n=527)	56.9
メカトロニクス工学科	(n=1011)	59.8	(n=635)	58.3
社会基盤デザイン工学科	(n=932)	64.2	(n=905)	57.8
環境創造学科	(n=1345)	63.5	(n=681)	58.4
建築学科	(n=1144)	61.3	(n=629)	65.8
生物資源学科	(n=2014)	60.3	(n=989)	65.2
応用生物化学科	(n=1276)	63.8	(n=894)	67.2
生物環境科学科	(n=715)	63.8	(n=702)	59.1
薬学科	(n=4004)	61.1	(n=5684)	62.3
都市情報学科	(n=3562)	66.8	(n=2083)	69.3
人間学科	(n=2171)	71.9	(n=1485)	70.6
国際英語学科 (1年次のみ)	(n=730)	68.2	(n=270)	80.4

\*「強く」+「ややそう思う」のスコア(%)

### 3 調査結果のまとめ 28年度前期

[学生]

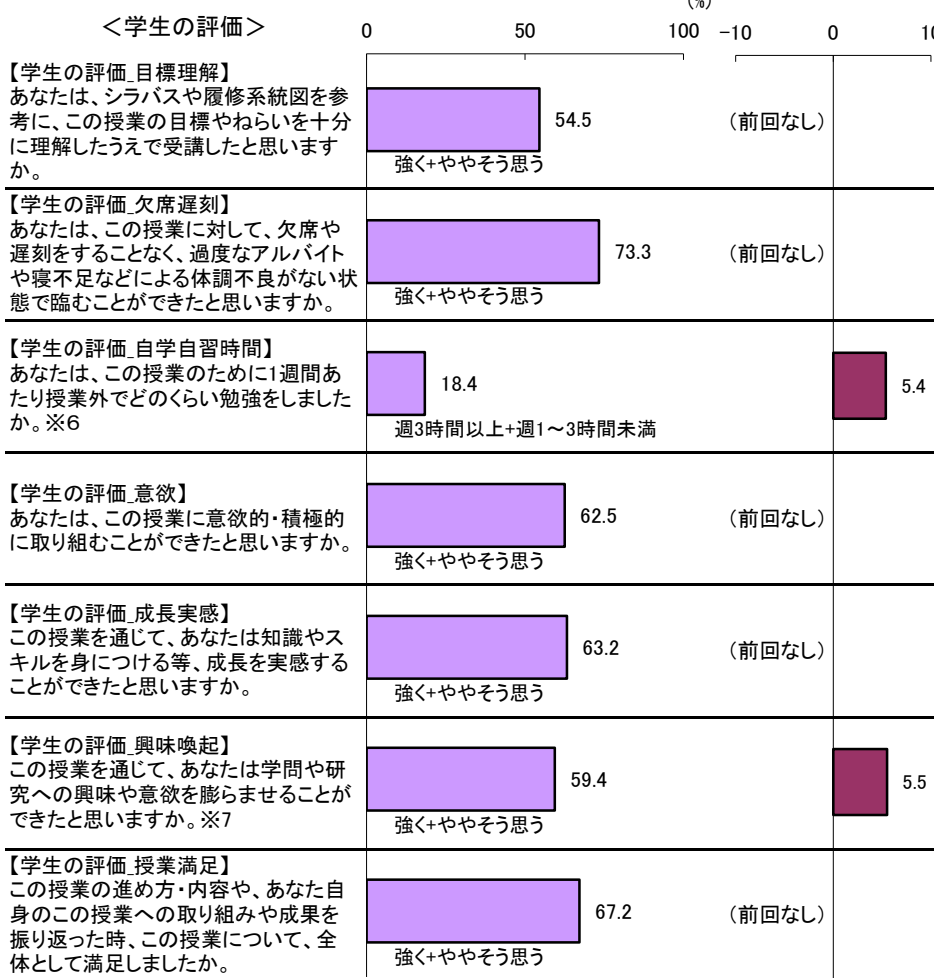
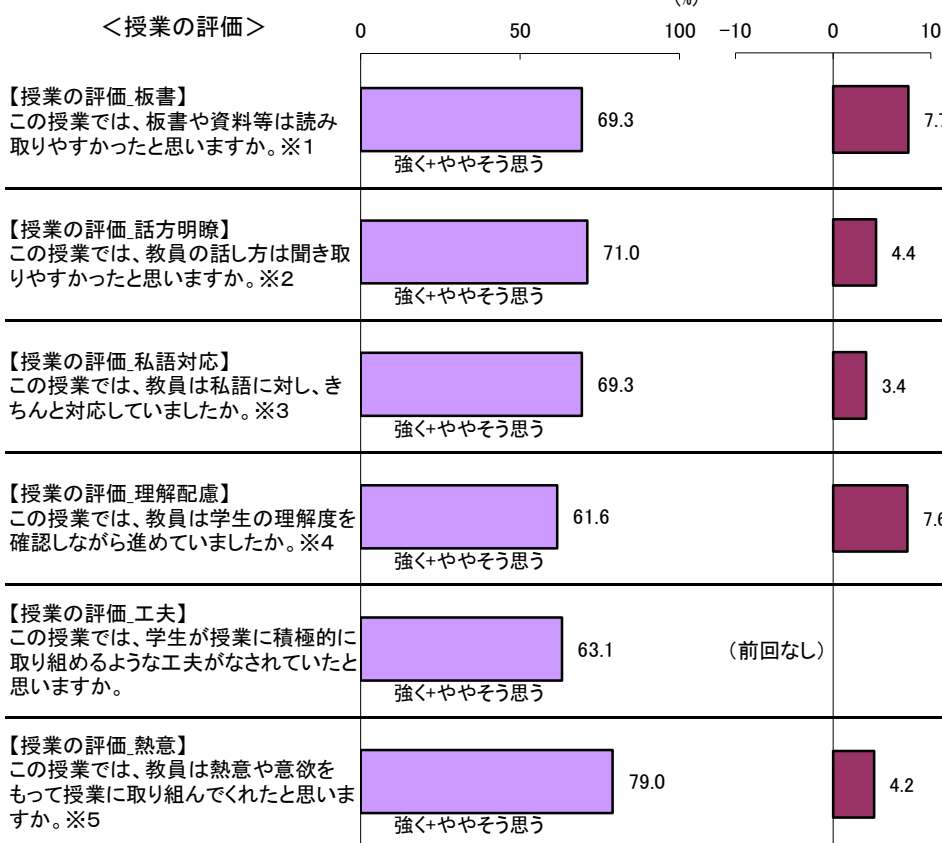
28年度前期の授業に対する学生の評価は、「熱意」「話方明瞭」で高い。また、学生自身の評価としては「欠席遅刻」「授業満足」が高くなっている。一方、「自学自習時間」が「週3時間以上」+「週1～3時間未満」の割合は2割弱にとどまる。

【28年度前期】 28年度前期(N=36419)／27年度前期(N=49505)

28年度前期と  
27年度前期の差分

\* 横棒グラフは各設問上位2選択肢の合計割合(%)

28年度前期と  
27年度前期の差分



平成27年度は下記で測定

- (※1)この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい。
- (※2)この授業では教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。
- (※3)この授業では教員は私語に対し、きちんと対応している。
- (※4)この授業では学生の理解度を確認しながら進められている。

- (※5)この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。
- (※6)この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)は。
- (※7)この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされている。

### 3 調査結果のまとめ 28年度後期

[学生]

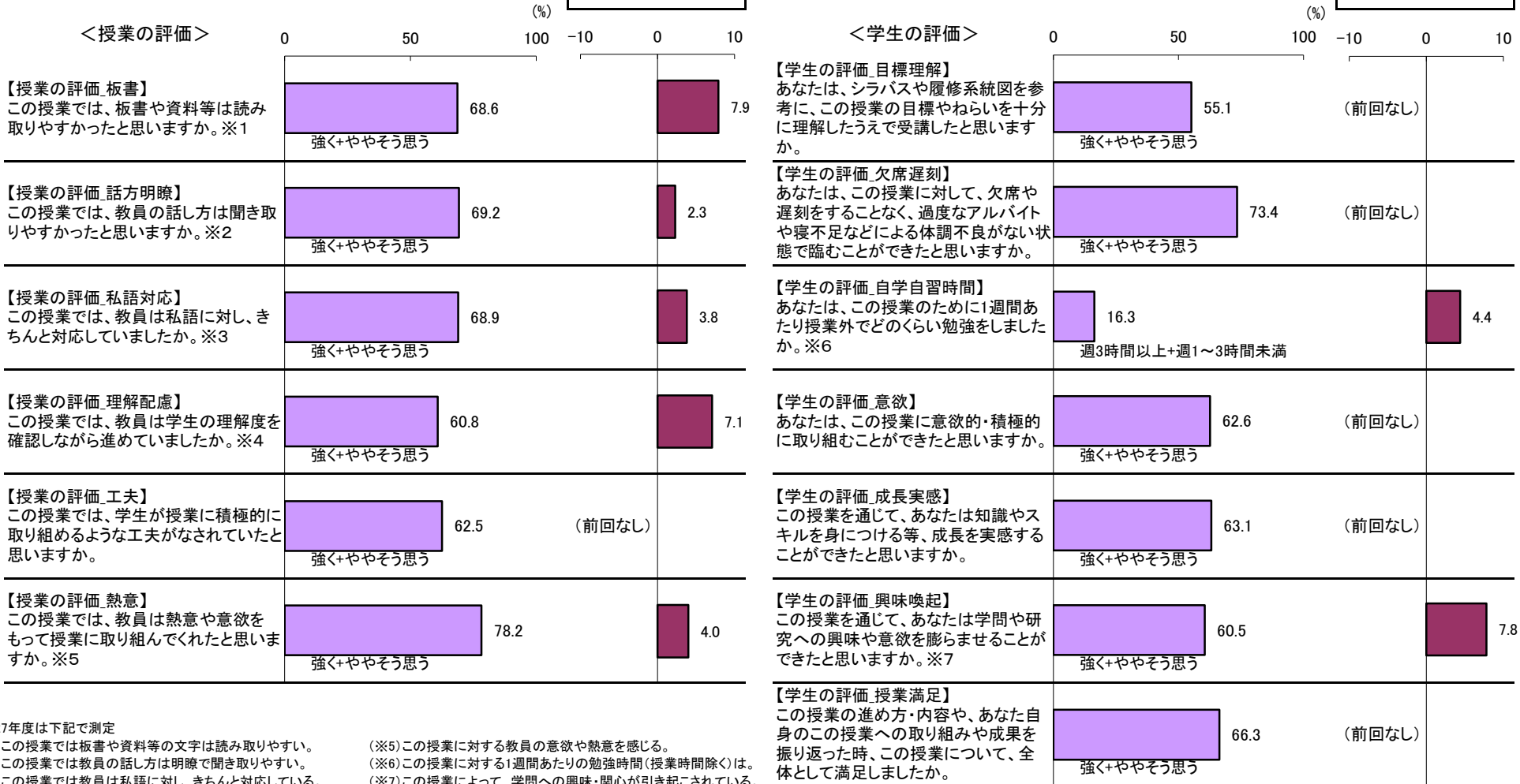
28年度後期の授業に対する学生の評価は、「熱意」のほか、「話方明瞭」「私語対応」「板書」で高い。また、学生自身の評価としては「欠席遅刻」「授業満足」が高くなっている。一方、「自学自習時間」が「週3時間以上」+「週1～3時間未満」の割合は2割弱にとどまる。

【28年度後期】 28年度後期(N=25727) / 27年度後期(N=43387)

28年度後期と  
27年度後期の差分

\* 横棒グラフは各設問上位2選択肢の合計割合(%)

28年度後期と  
27年度後期の差分



13

平成27年度は下記で測定

- (※1)この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい。
- (※2)この授業では教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。
- (※3)この授業では教員は私語に対し、きちんと対応している。
- (※4)この授業では学生の理解度を確認しながら進められている。

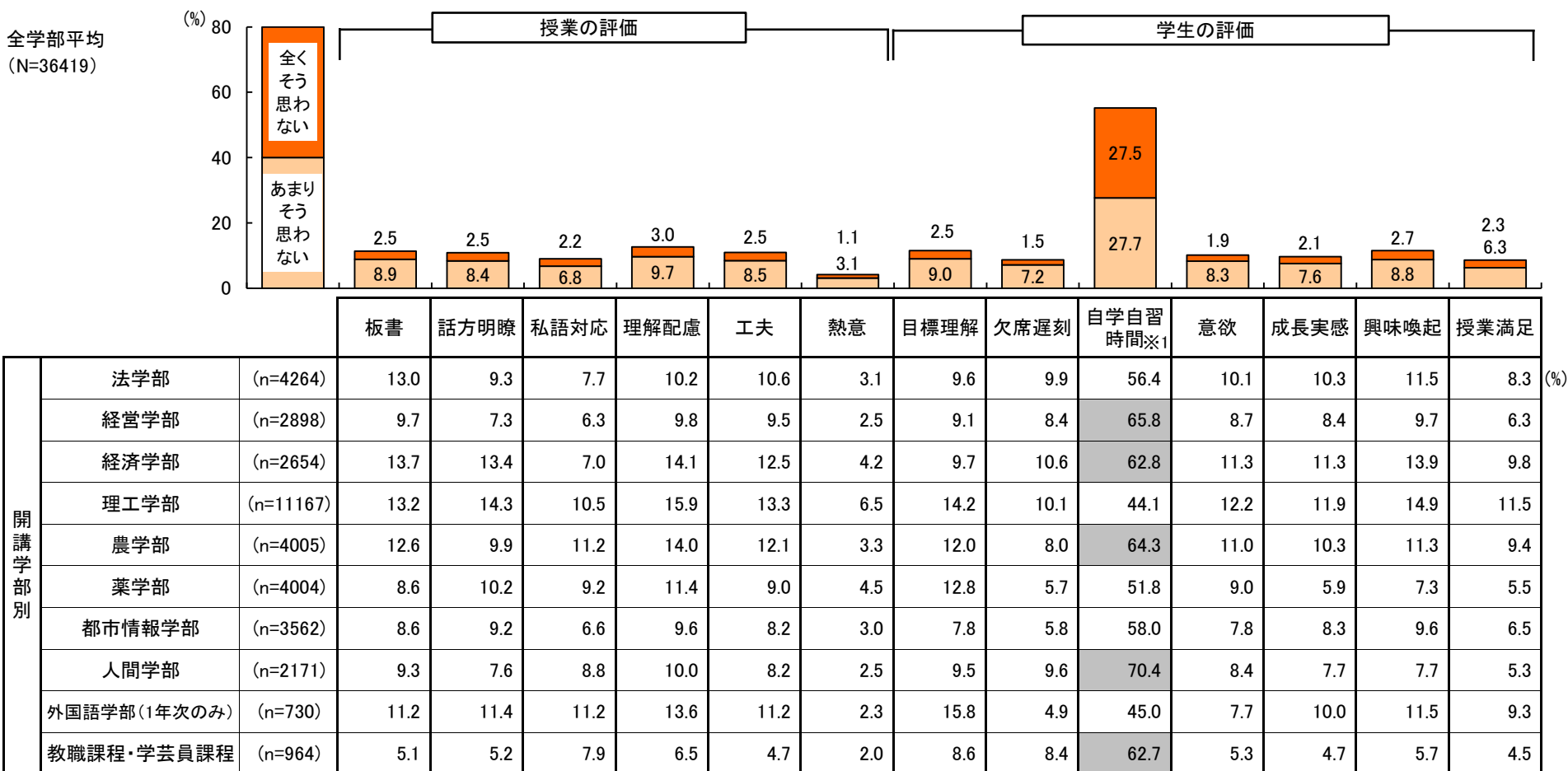
- (※5)この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。
- (※6)この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)は。
- (※7)この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされている。

# 4 学部別改善ポイント 28年度前期

[学生]

28年度前期の学生調査の結果のうち「あまりそう思わない」「全くそう思わない」のスコアを表すことで改善すべきポイントを明確にした。全学部平均では、「自学自習時間」が突出し、自学自習を「していない」+「週30分未満」の学生が6割弱にのぼり、人間学部では7割を超える。

## 【28年度前期】



\* 「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」のスコア

※1 「自学自習時間」のスコアは「週30分未満」+「していない」

\* 網かけは、より改善が必要な項目(全体より5ポイント以上)

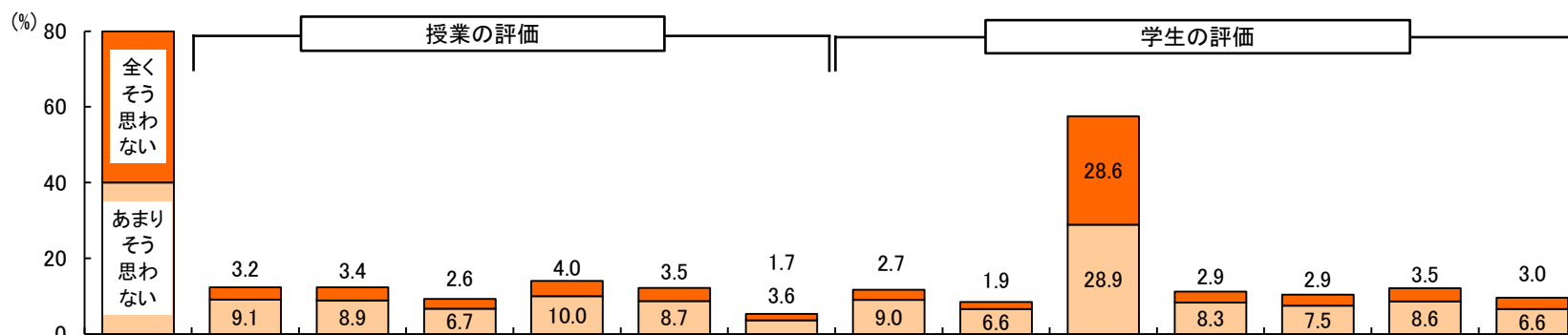
# 4 学部別改善ポイント 28年度後期

[学生]

28年度後期でも、全学部平均で「自学自習時間」が6割弱と突出。人間学部は7割強にのぼる。

## 【28年度後期】

全学部平均  
(N=25727)



開講学部別	人数	授業の評価								学生の評価				
		板書	話方明瞭	私語対応	理解配慮	工夫	熱意	目標理解	欠席遅刻	自学自習時間※1	意欲	成長実感	興味喚起	授業満足
法学部	(n=2208)	15.6	16.3	10.0	15.7	15.4	6.0	12.3	12.5	59.1	14.4	15.0	15.7	13.6
経営学部	(n=1900)	12.5	10.7	9.1	13.0	11.7	5.2	8.1	8.5	66.1	9.2	10.6	12.4	9.7
経済学部	(n=1685)	12.3	13.1	11.9	15.8	14.0	7.4	12.6	10.9	66.2	13.9	13.2	15.1	12.3
理工学部	(n=7417)	14.9	14.5	11.9	17.6	15.7	7.3	15.1	10.0	50.8	14.1	13.7	16.1	12.8
農学部	(n=2585)	13.0	11.3	7.6	13.5	12.0	3.8	11.3	8.8	65.9	9.8	9.5	10.5	8.5
薬学部	(n=5684)	8.7	10.7	6.2	10.3	7.7	3.2	9.5	4.7	50.8	8.6	5.6	7.0	5.1
都市情報学部	(n=2083)	10.4	9.1	7.3	10.4	10.0	4.1	6.9	6.1	60.9	8.4	8.1	9.4	6.8
人間学部	(n=1485)	12.3	10.6	9.2	14.3	11.6	4.5	13.9	10.1	73.7	10.7	10.0	11.9	8.9
外国語学部(1年次のみ)	(n=270)	8.1	10.0	10.4	11.5	7.0	3.7	13.0	7.8	51.5	6.7	5.6	7.4	6.3
教職課程・学芸員課程	(n=410)	5.9	4.6	8.3	7.3	5.1	1.5	10.5	6.3	62.9	5.9	3.7	6.1	3.9

\* 「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」のスコア

※1 「自学自習時間」のスコアは「週30分未満」+「していない」

\* 網かけは、より改善が必要な項目(全体より5ポイント以上)

学生への設問の中で、授業満足度を上げるために教員自身が改善できると考えられる6項目について、授業満足度との関連度合いと不満度から改善優先度を算出した。結果、「この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていた」「この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていた」に関して改善優先度が高いことがわかった。

## 授業満足度との関連度合い

「授業満足度との関連度合い」とは、**学生の授業満足度への影響の強さ**を数値で表したものです。学生アンケート設問項目と各質問項目の連関係数です。もう少し正確に表現しますと、各評価項目に対する評価と「授業満足度」の評価との関係の強さを数値で表したものであると言えます。値は大きいほど関係が強く、最大で1.0、最小で0.0の値をとりますが、1.0に近い値をとることはほとんどなく、経験的には0.4程度の値でかなりの関係があると言えます。なお、サンプル数が少ない授業もあるため、授業ごとに計算したものでなく、全サンプルで算出しています。

## 不満度

「不満度」とは、各設問項目において、**学生の不満感の大きさ**を数値で表したもので、値が大きいほど不満が強く、最大で「1」、最小で「0」の値をとります。回答者全員が「強く思う」と回答した場合は「0」、「全くそう思わない」と回答した場合は「1」となります。

## 改善優先度

改善優先度とは、各設問の評価「授業満足度との関連度合い」と「不満度」を利用して、それぞれの項目に対する改善が求められる度合いを数値化したものです。以下の式で表されます。改善優先度は、値が高いほど改善が求められています。

$$\text{改善優先度} = \frac{\text{「授業満足度との関連度合い」} \times \text{「不満度」}}{\text{「授業満足度との関連度合い」の最大値}} \times 100$$

「改善優先度」は、全サンプルで算出した「授業満足度との関連度合い」の最大値で除してあり、最大値が100、最小値が0になるように規格化しています。

	28年度前期			28年度後期		
	授業満足度との関連度合い	不満度	改善優先度	授業満足度との関連度合い	不満度	改善優先度
1.この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったと思いますか。	0.39	0.34	28.4	0.40	0.35	29.6
2.この授業では、教員の話し方は聞き取りやすかったと思いますか。	0.40	0.32	27.3	0.40	0.34	29.2
3.この授業では、教員は私語に対し、きちんと対応していましたか。	0.25	0.32	17.0	0.30	0.32	20.5
4.この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか。	0.42	0.38	34.3	0.43	0.39	35.7
5.この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか。	0.47	0.36	36.4	0.47	0.38	37.6
6.この授業では、教員は熱意や意欲をもって授業に取り組んでくれたと思いますか。	0.39	0.27	22.4	0.41	0.28	24.2
授業満足度との関連度合いの最大値	0.47			0.47		

## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（全学部） [学生]

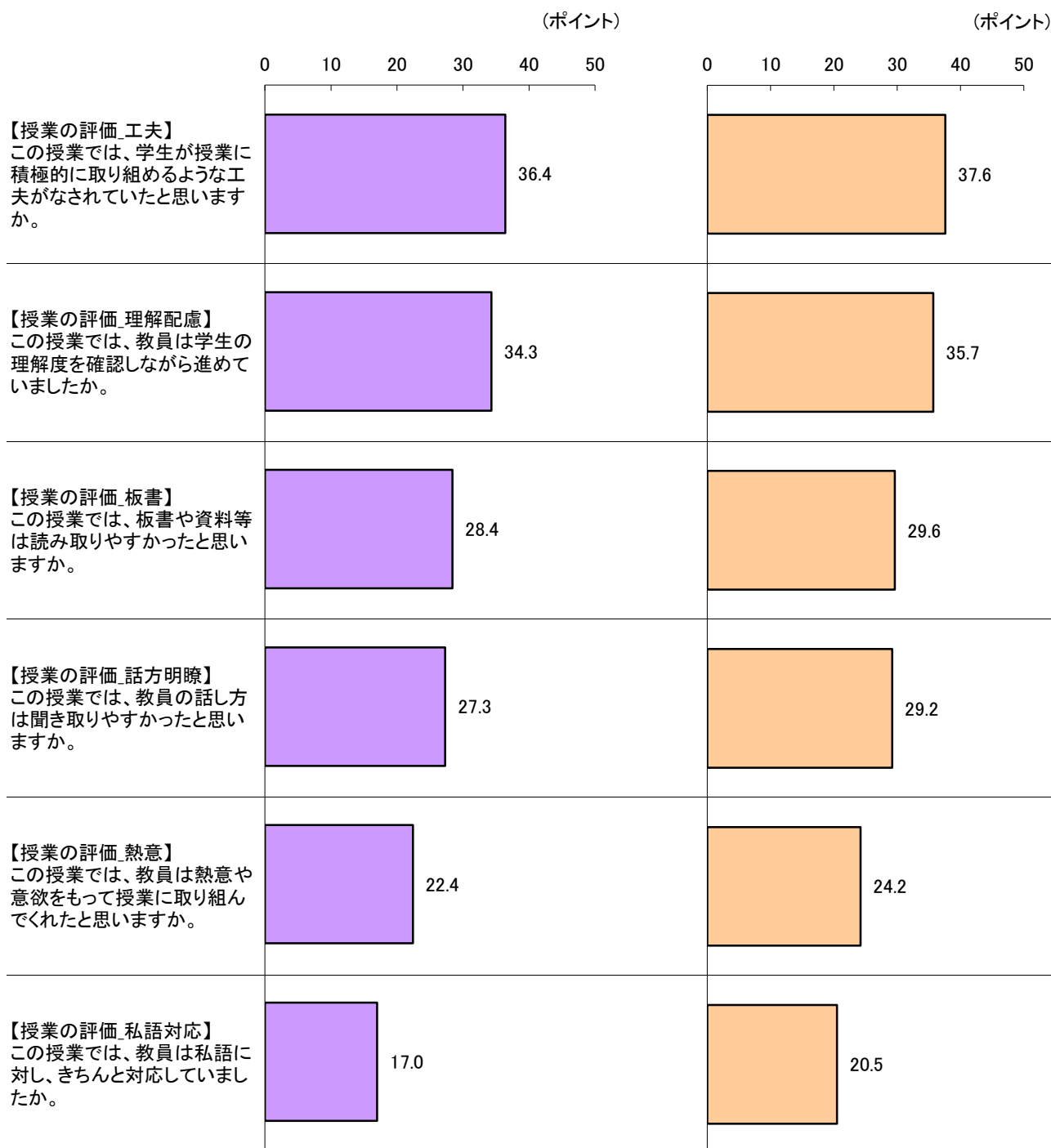
全学部平均では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」「板書」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。28年度後期は28年度前期と比較すると、概ね同様の傾向。

### <改善優先度>

#### 【全学部平均】

28年度前期 (N=36419)

28年度後期 (N=25727)



## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（法学部） [学生]

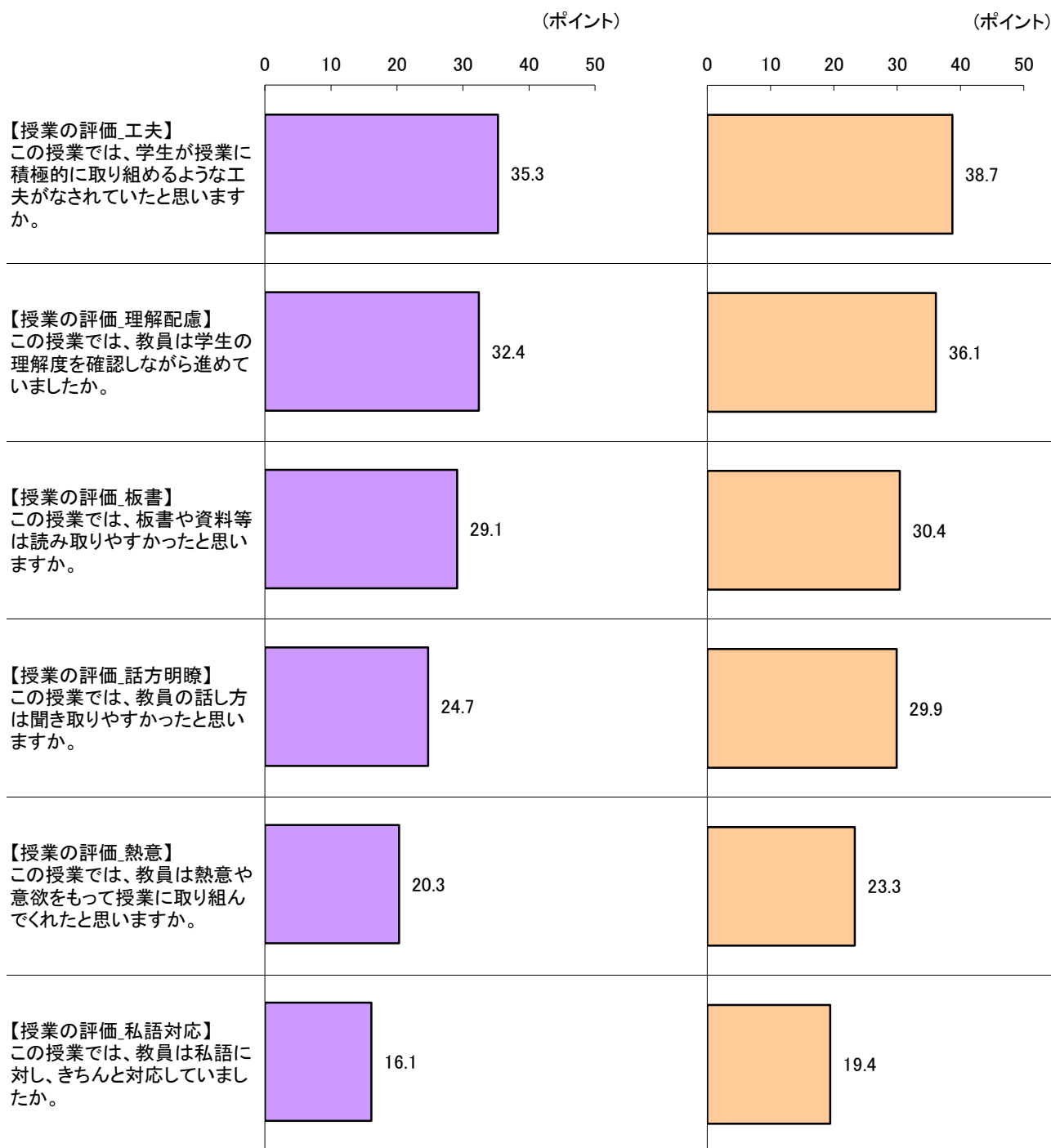
法学部では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」「板書」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。28年度後期は28年度前期と比較すると、「話方明瞭」で改善優先度がやや高い。

### <改善優先度>

#### 【法学部平均】

28年度前期 (n=4264)

28年度後期 (n=2208)

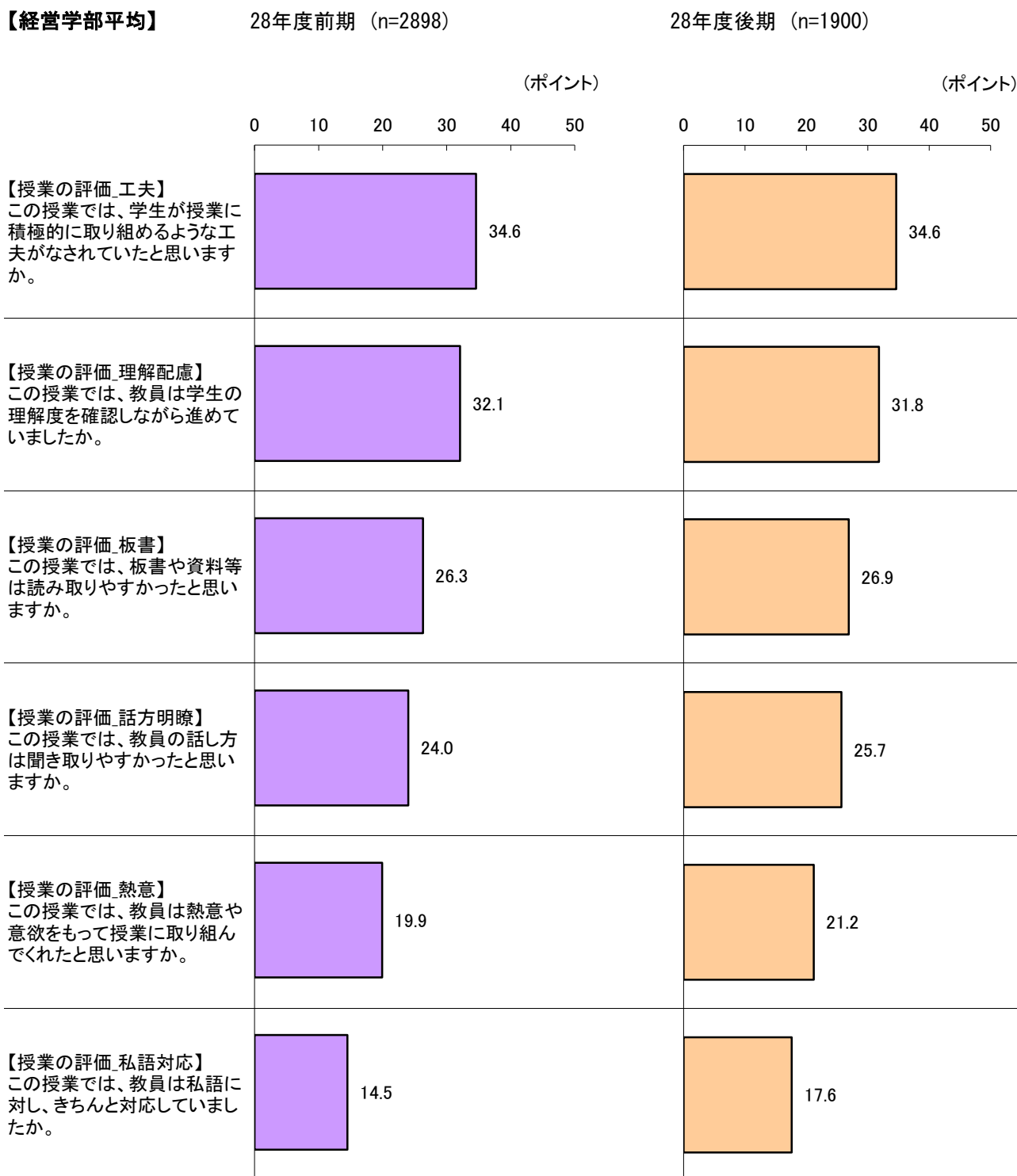




## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（経営学部）[学生]

経営学部では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」「板書」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。28年度後期は28年度前期と比較すると、概ね同様の傾向。

### <改善優先度>



## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（経済学部）[学生]

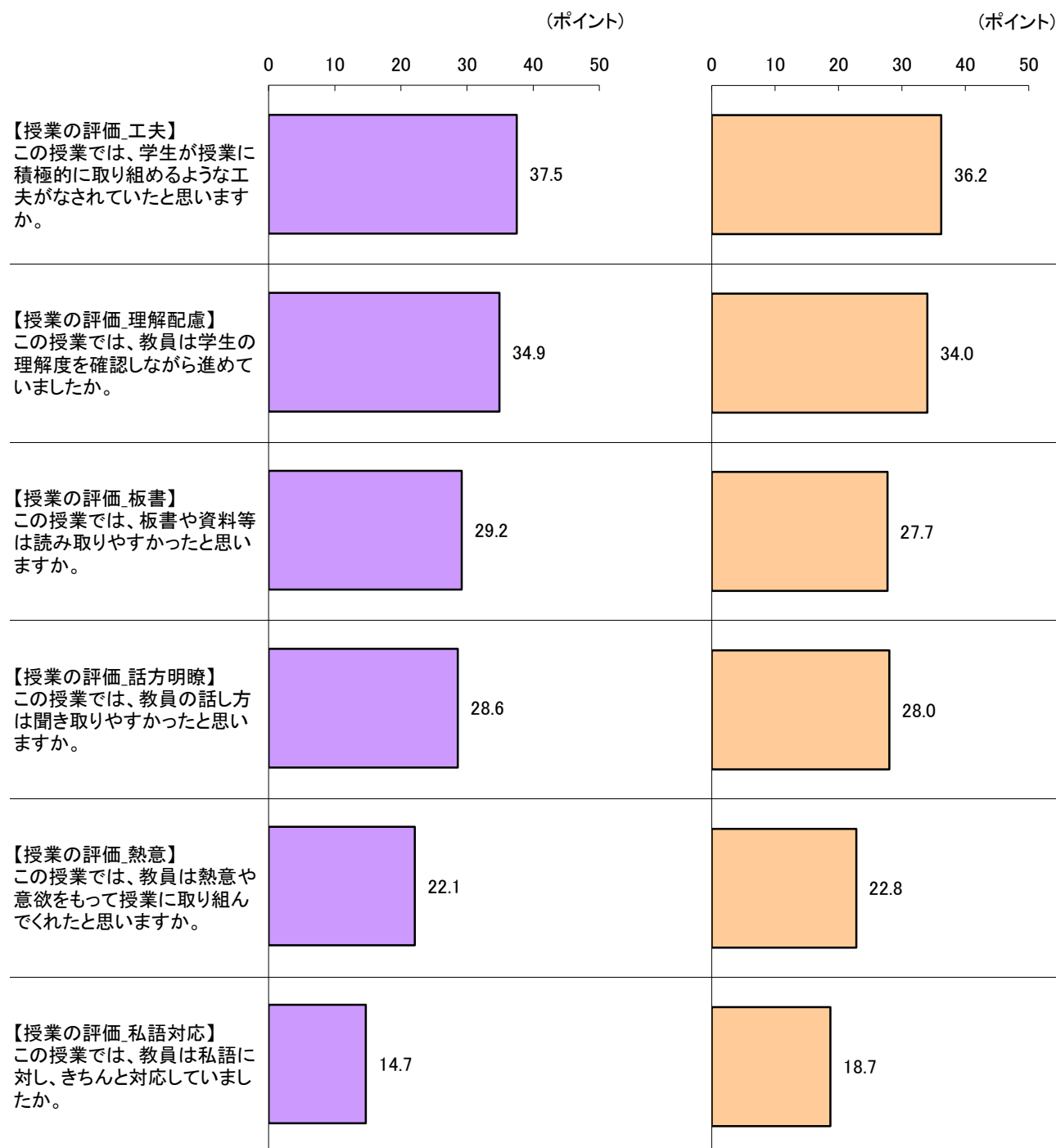
経済学部では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」「板書」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。28年度後期は28年度前期と比較すると、「私語対応」で改善優先度がやや高い。

### <改善優先度>

#### 【経済学部平均】

28年度前期 (n=2654)

28年度後期 (n=1685)



## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（理工学部）[学生]

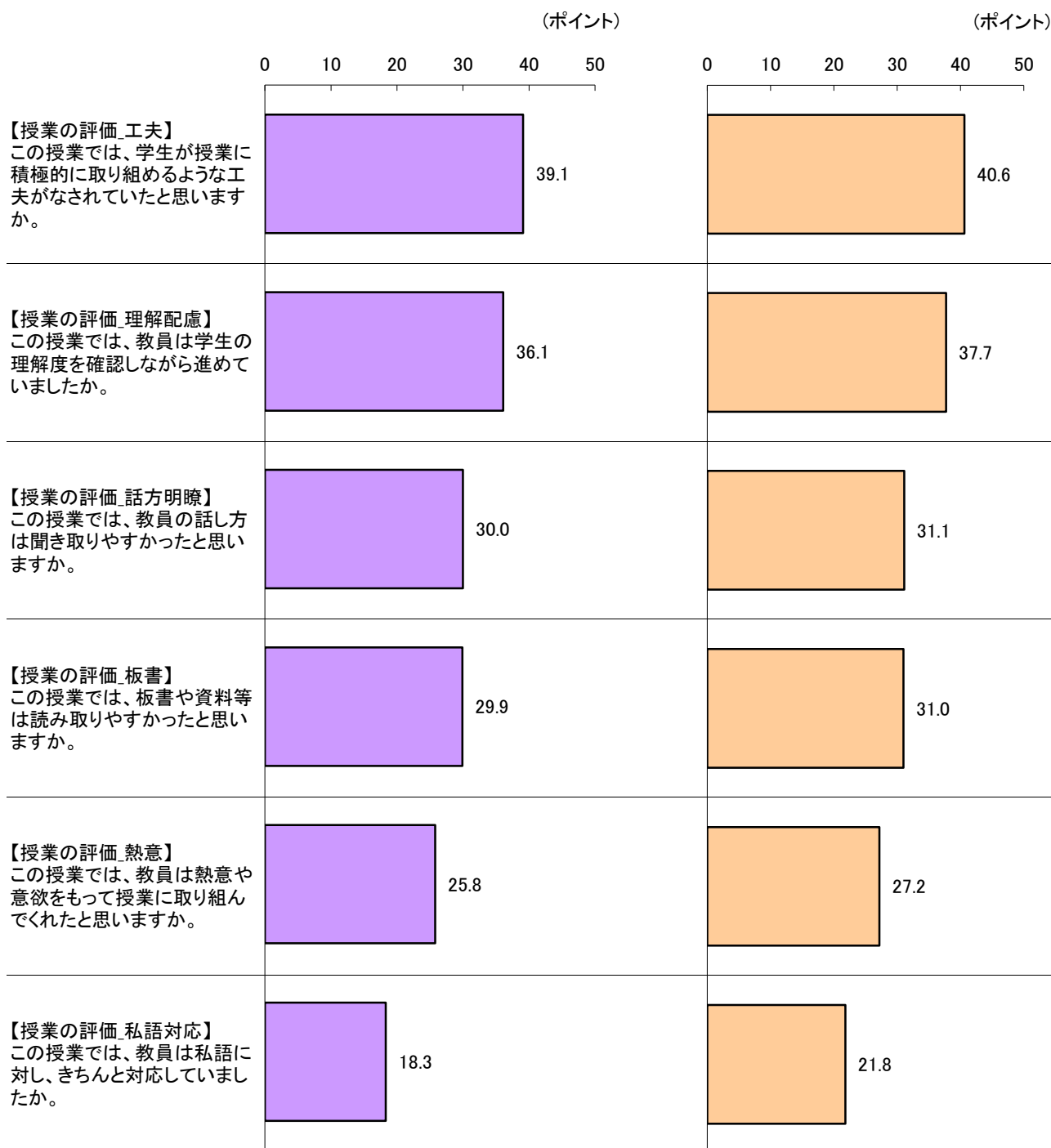
理工学部では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」「話方明瞭」「板書」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。28年度後期は28年度前期と比較すると、概ね同様の傾向。

### <改善優先度>

#### 【理工学部平均】

28年度前期 (n=11167)

28年度後期 (n=7417)



## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（農学部） [学生]

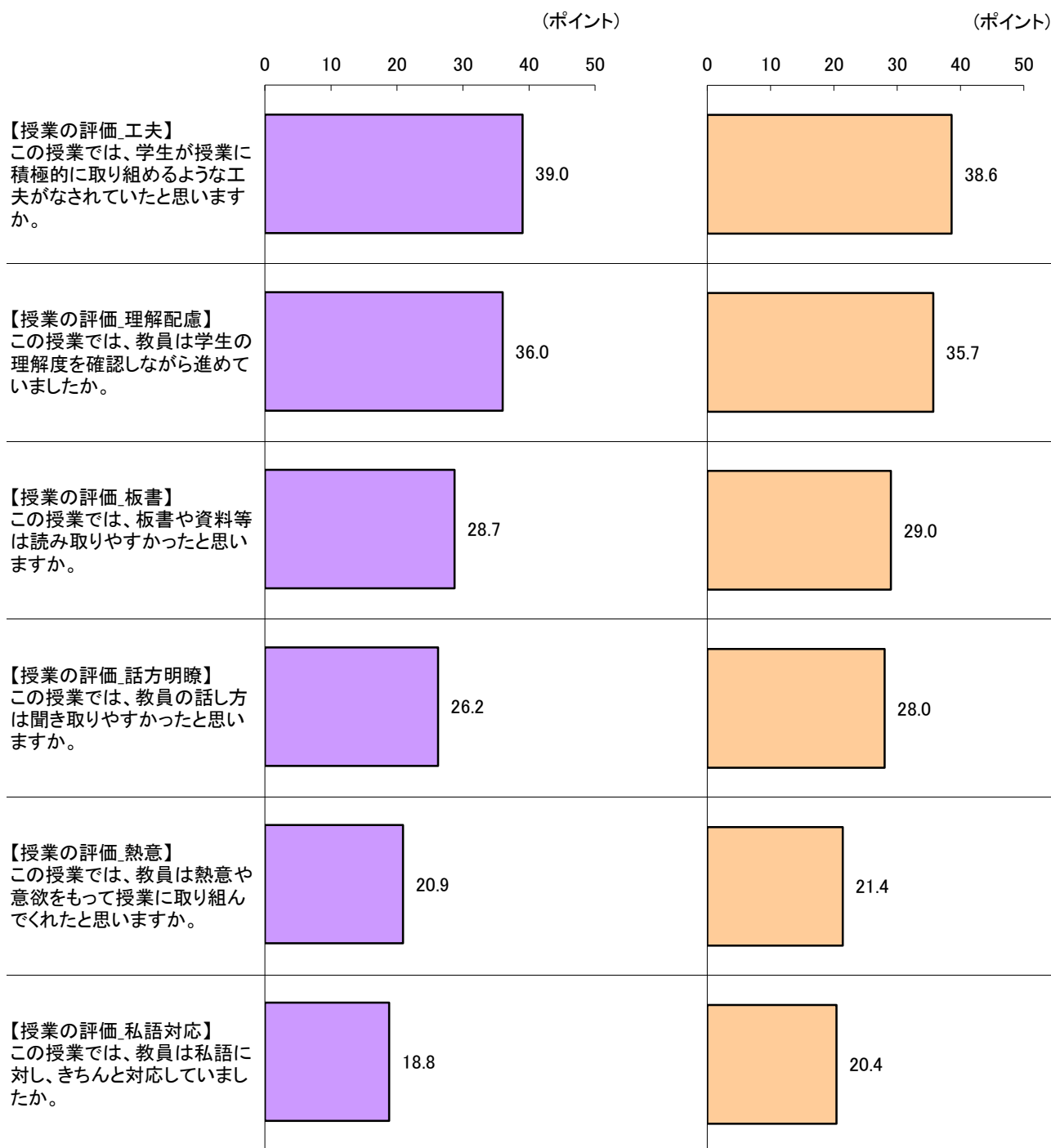
農学部では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」「板書」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。28年度後期は28年度前期と比較すると、概ね同様の傾向。

### <改善優先度>

#### 【農学部平均】

28年度前期 (n=4005)

28年度後期 (n=2585)



## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（薬学部） [学生]

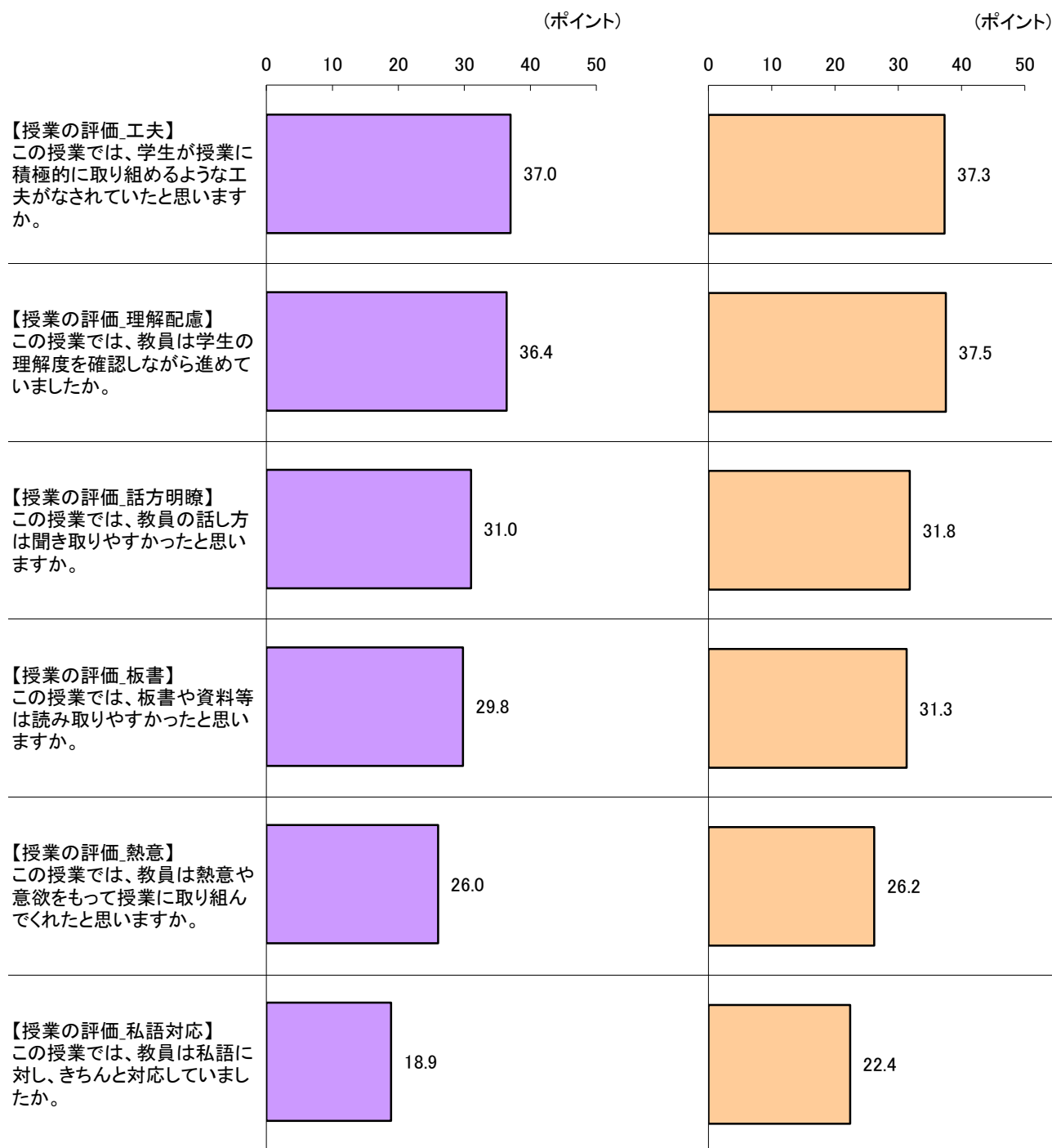
薬学部では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」「話方明瞭」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。28年度後期は28年度前期と比較すると、概ね同様の傾向。

### <改善優先度>

#### 【薬学部平均】

28年度前期 (n=4004)

28年度後期 (n=5684)



## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（都市情報学部）〔学生〕

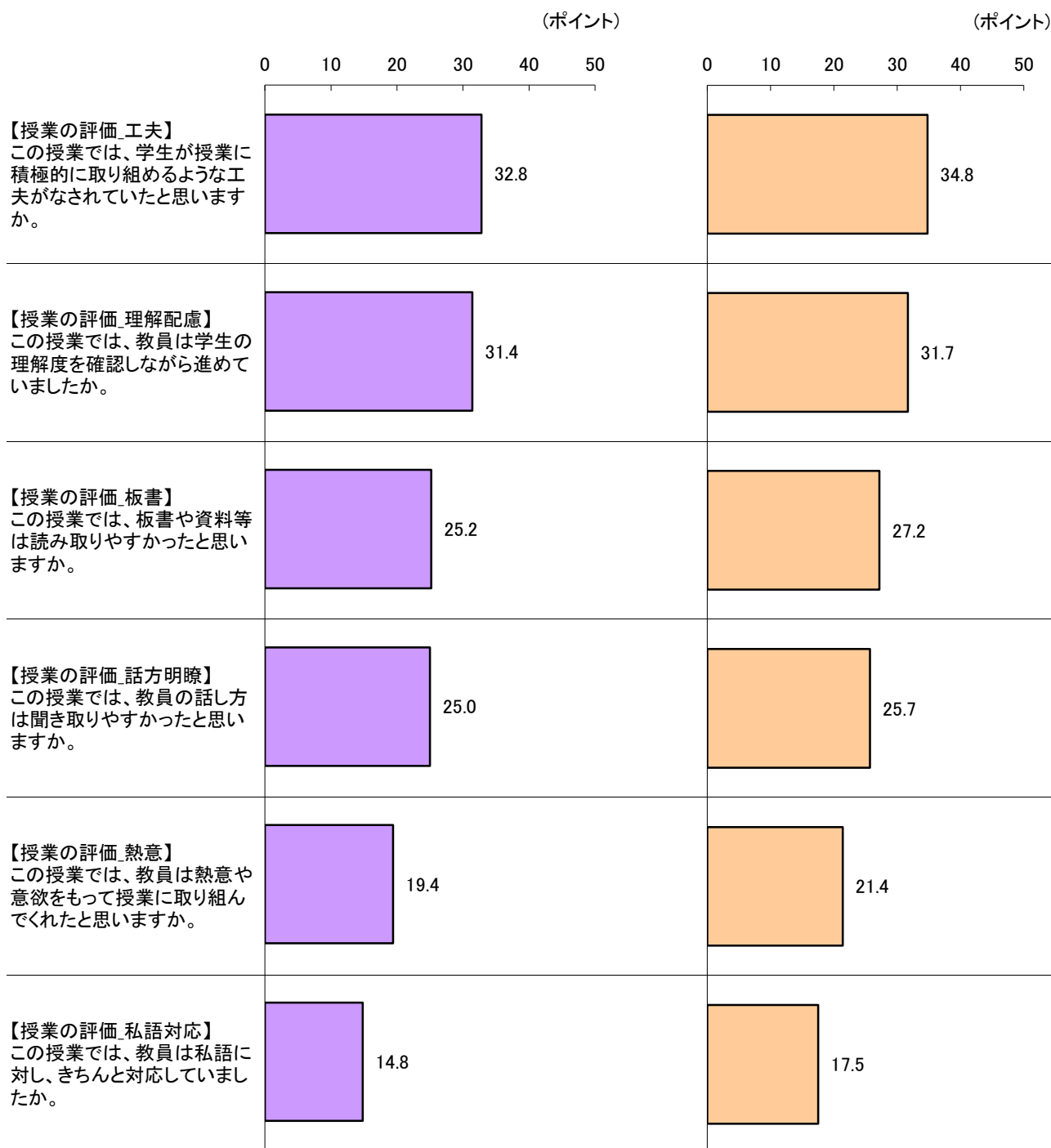
都市情報学部では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」「板書」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。28年度後期は28年度前期と比較すると、概ね同様の傾向。

### <改善優先度>

【都市情報学部平均】

28年度前期 (n=3562)

28年度後期 (n=2083)



## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（人間学部）[学生]

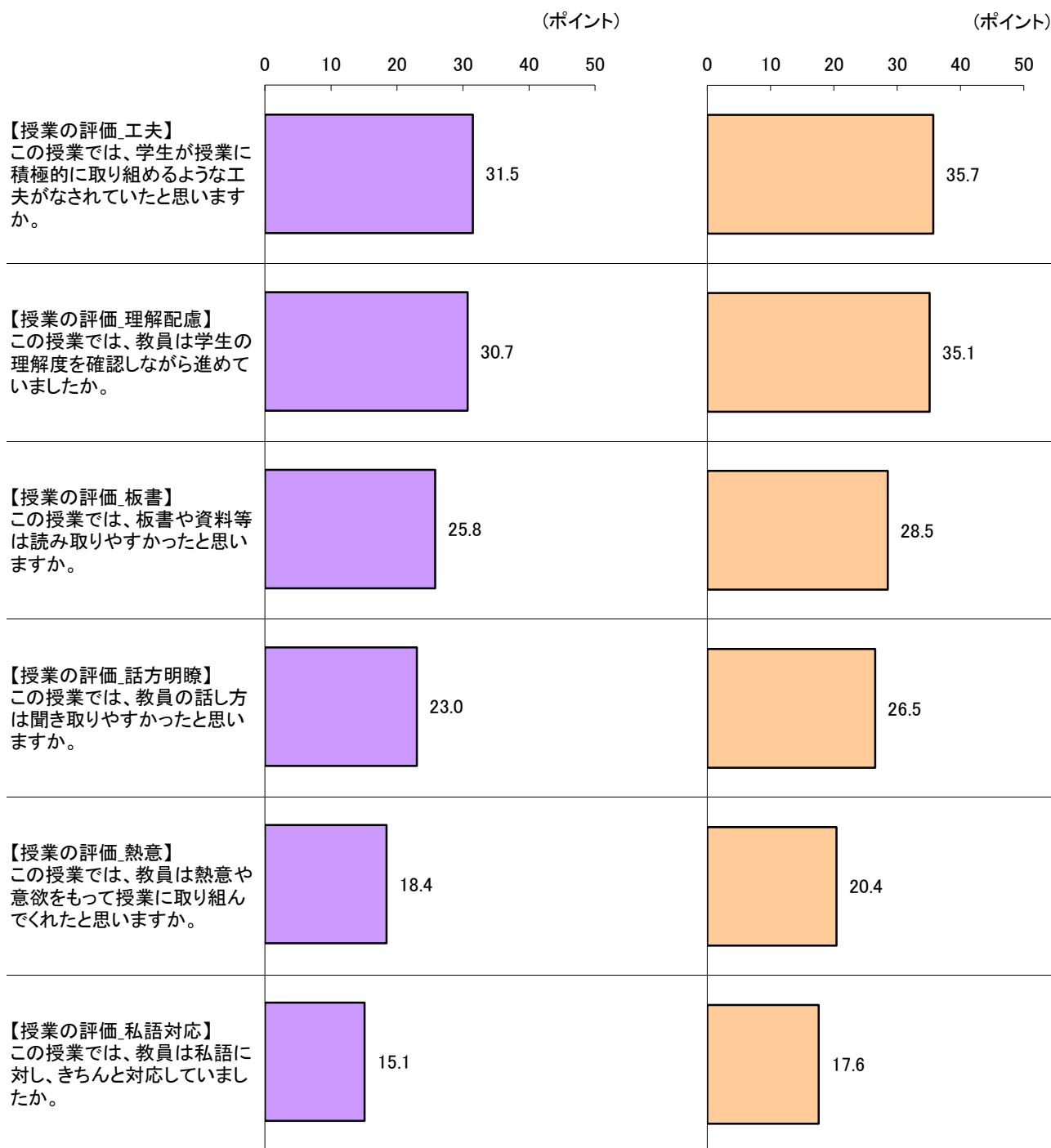
人間学部では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」「板書」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。28年度後期は28年度前期と比較すると、「工夫」「理解配慮」で改善優先度がやや高い。

### <改善優先度>

#### 【人間学部平均】

28年度前期 (n=2171)

28年度後期 (n=1485)



## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（外国語学部） [学生]

外国語学部では、改善優先度は「工夫」「理解配慮」「板書」で高い。一方、「私語対応」「熱意」への改善優先度は低い。28年度後期は28年度前期と比較すると、「工夫」「理解配慮」「板書」といった上位項目を中心に改善優先度が低い。

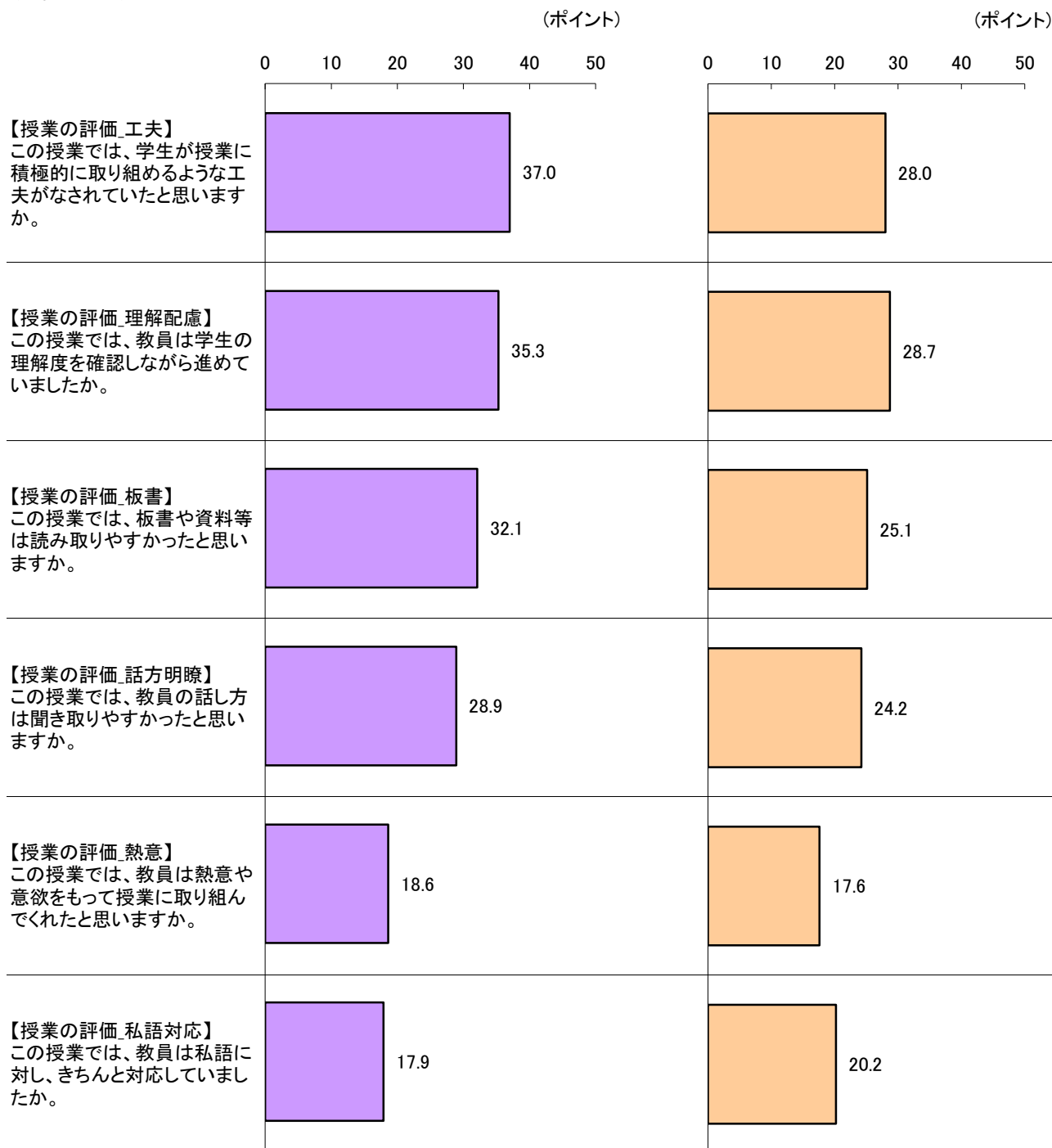
### <改善優先度>

#### 【外国語学部平均】

28年度前期 (n=730)

28年度後期 (n=270)

(1年次のみ)





## 5 授業満足度を上げるための改善優先項目（教職課程・学芸員課程）[学生]

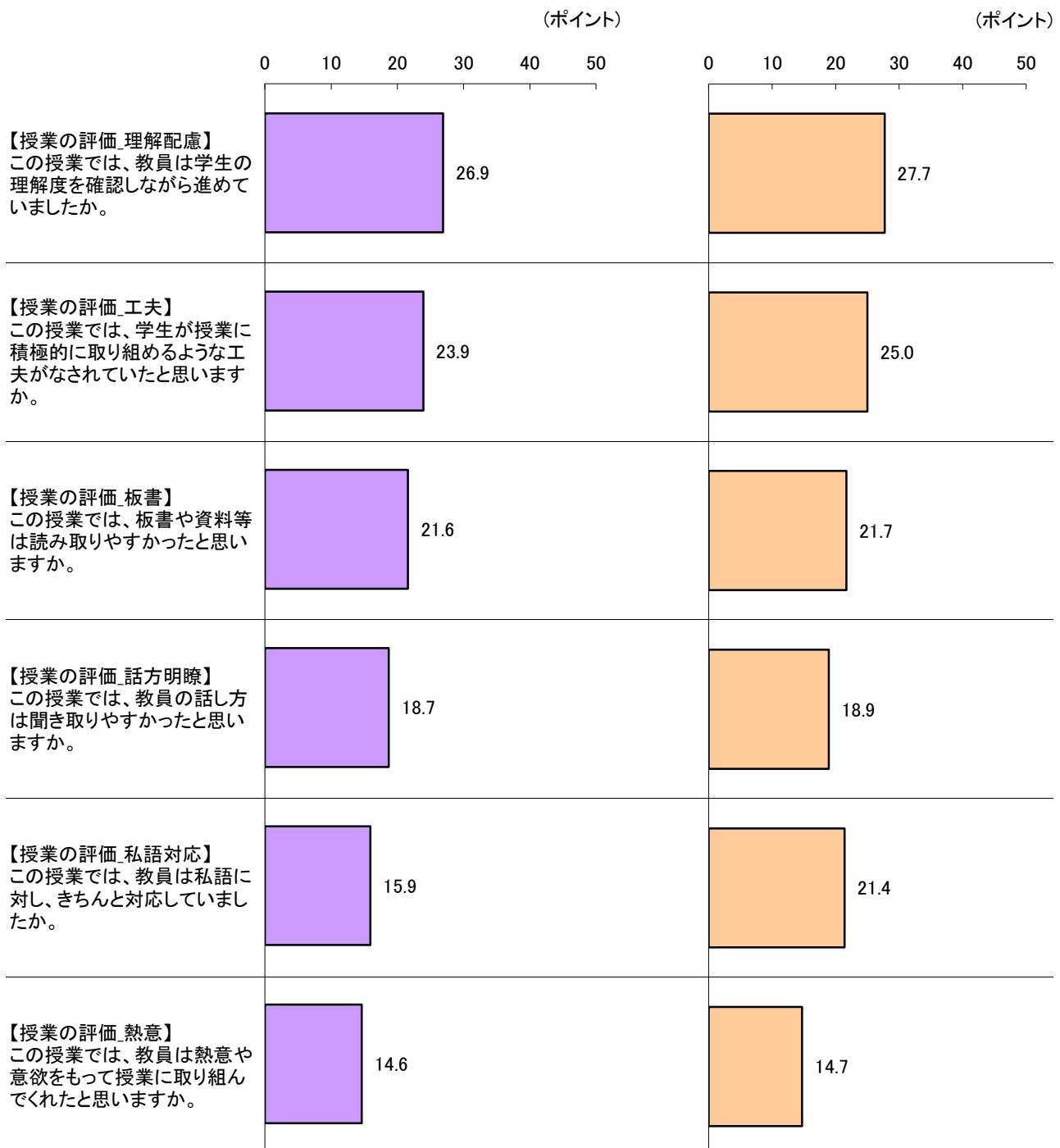
教職課程・学芸員課程では、改善優先度は「理解配慮」「工夫」「板書」で高い。一方、「熱意」「私語対応」への改善優先度は低い。28年度後期は28年度前期と比較すると、「私語対応」で改善優先度が高い。

### <改善優先度>

#### 【教職課程・学芸員課程平均】

28年度前期 (n=964)

28年度後期 (n=410)



# 6 自学自習時間

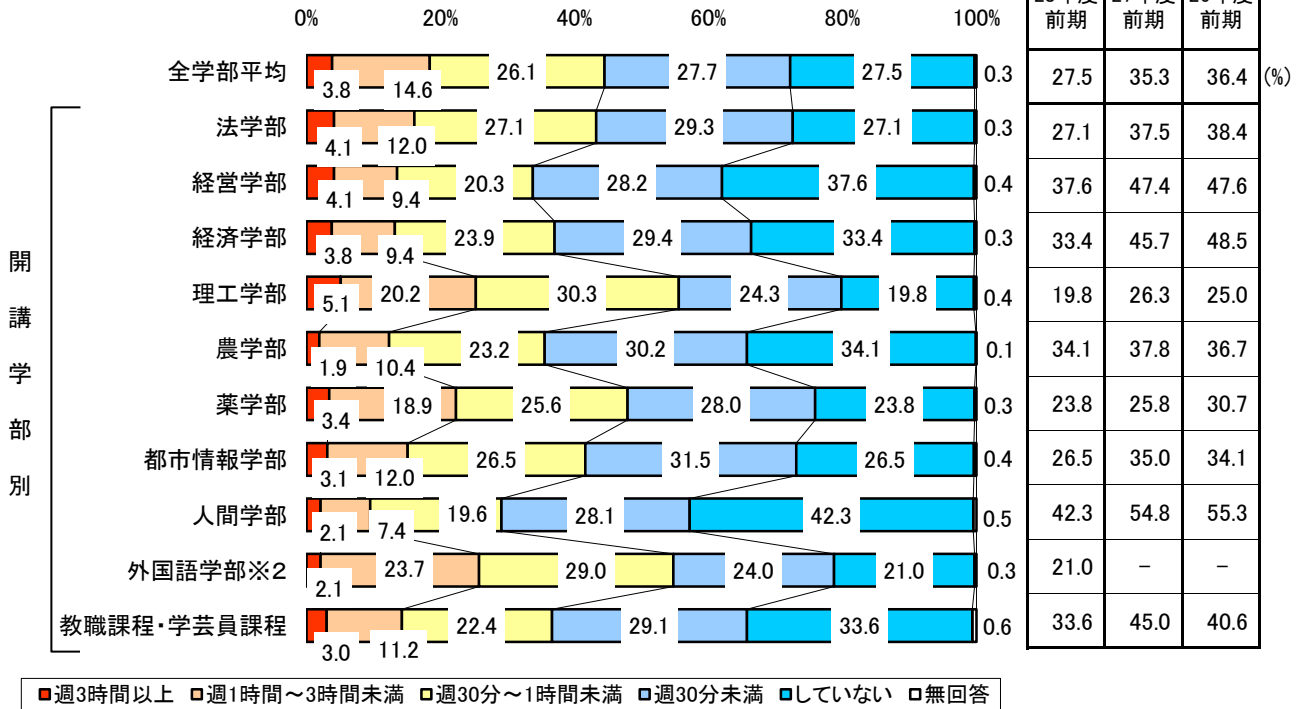
[学生]

自学自習時間を各学部別に時系列で確認した。  
 28年度前期では、自学自習を「していない」学生が3割弱を占めるが、理工学部ではその割合が最も低い。28年度後期も「していない」が3割弱と横ばい。外国語学部は2割弱にとどまる。

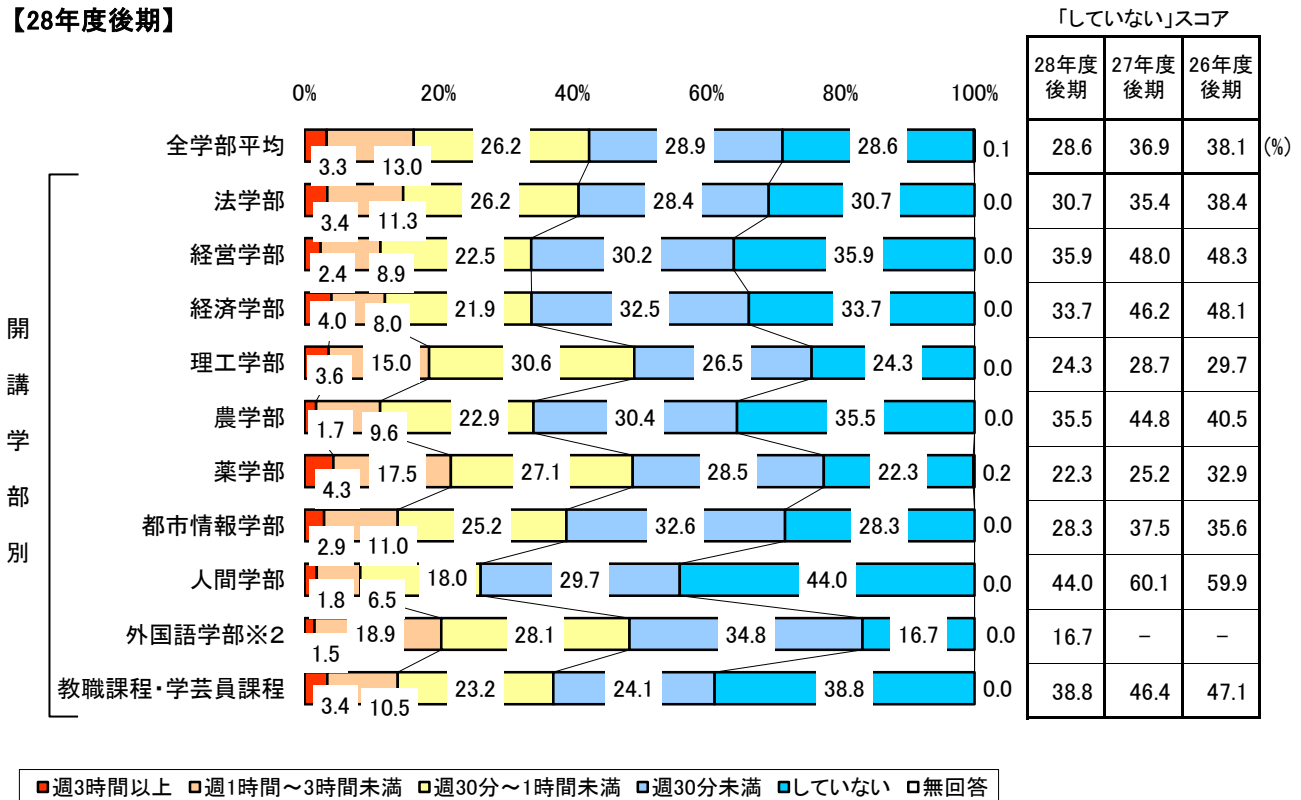
Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。 ※1

<開講学部別自学自習時間>

【28年度前期】



【28年度後期】



(※1) 平成26年度、平成27年度は「この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)は。」で測定  
 (※2) 1年次のみ

# 7 授業満足度と自学自習時間の関係（1）

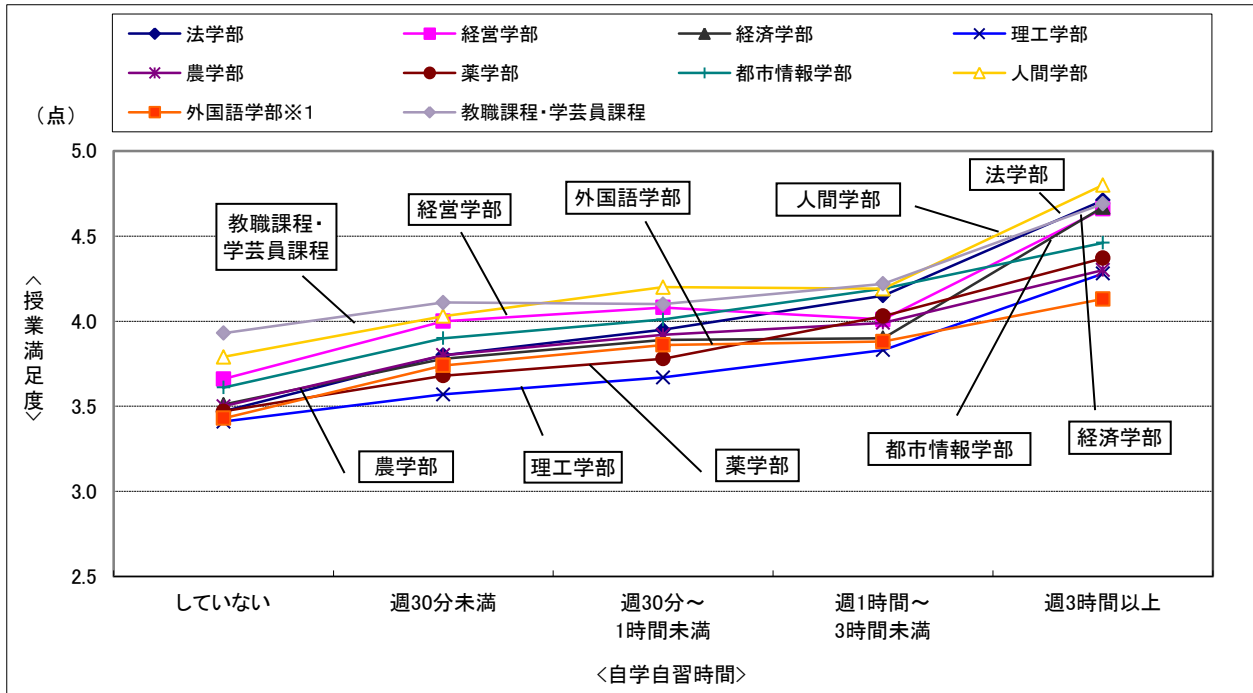
[学生]

授業満足度と自学自習時間との関係を各学部別に確認した。  
 自学自習時間が長い学生ほど、授業に対する満足度が高い傾向がみられ、28年度前期では法学部で、28年度後期では外国語学部でその傾向が顕著。

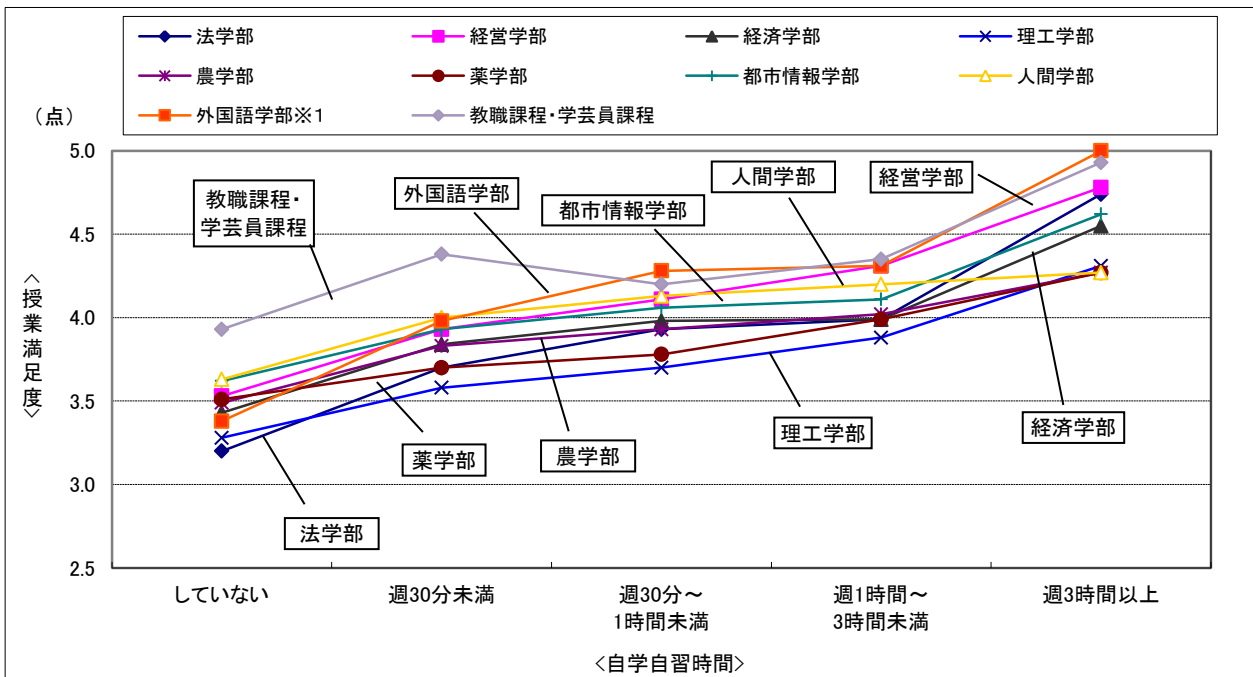
Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。  
 Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。

## <授業満足度との関係>

### 【28年度前期】



### 【28年度後期】



(※1)1年次のみ

# 7 授業満足度と自学自習時間の関係（2）

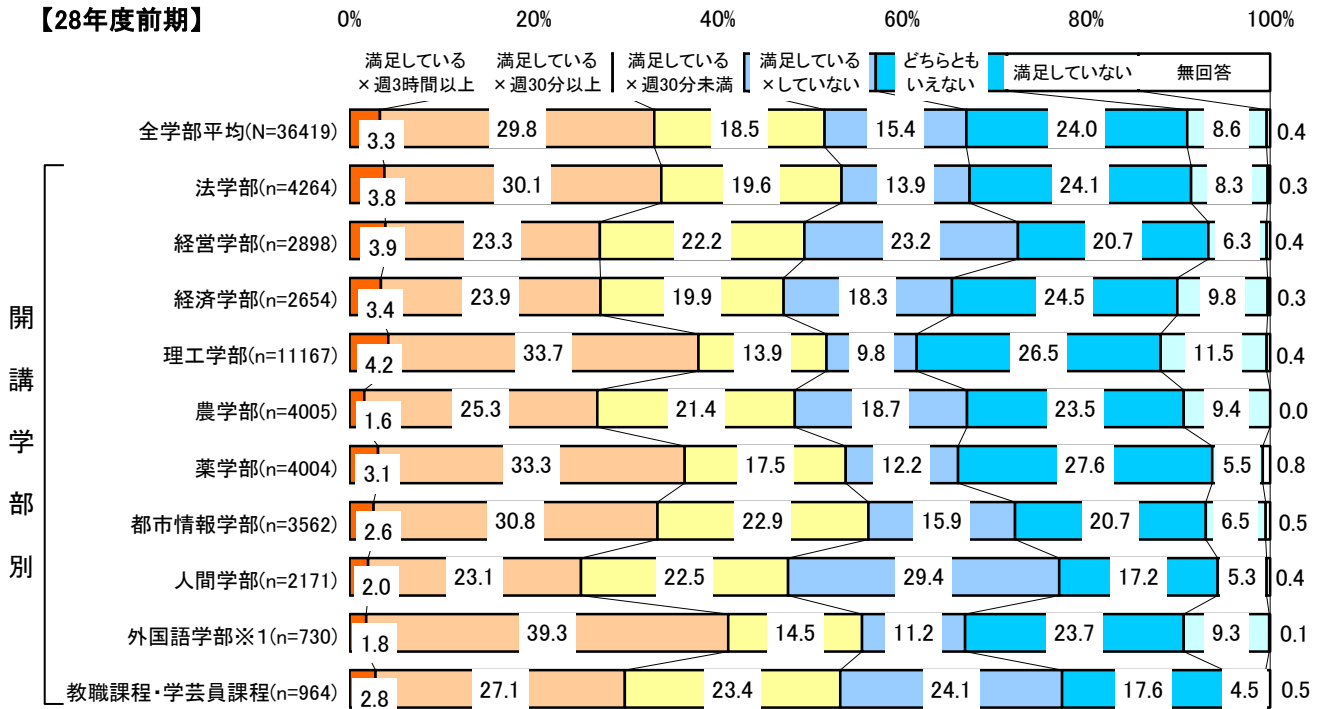
[学生]

授業満足度と自学自習時間の関係を学部別に確認した。  
 28年度前期では、授業に「満足している」学生のうち、自学自習時間が「週3時間以上」の学生は3%にとどまり、学部別でも大きな差はみられない。また、「週30分以上」の学生は外国語学部で約4割と高い。28年度後期もほぼ同様の傾向。

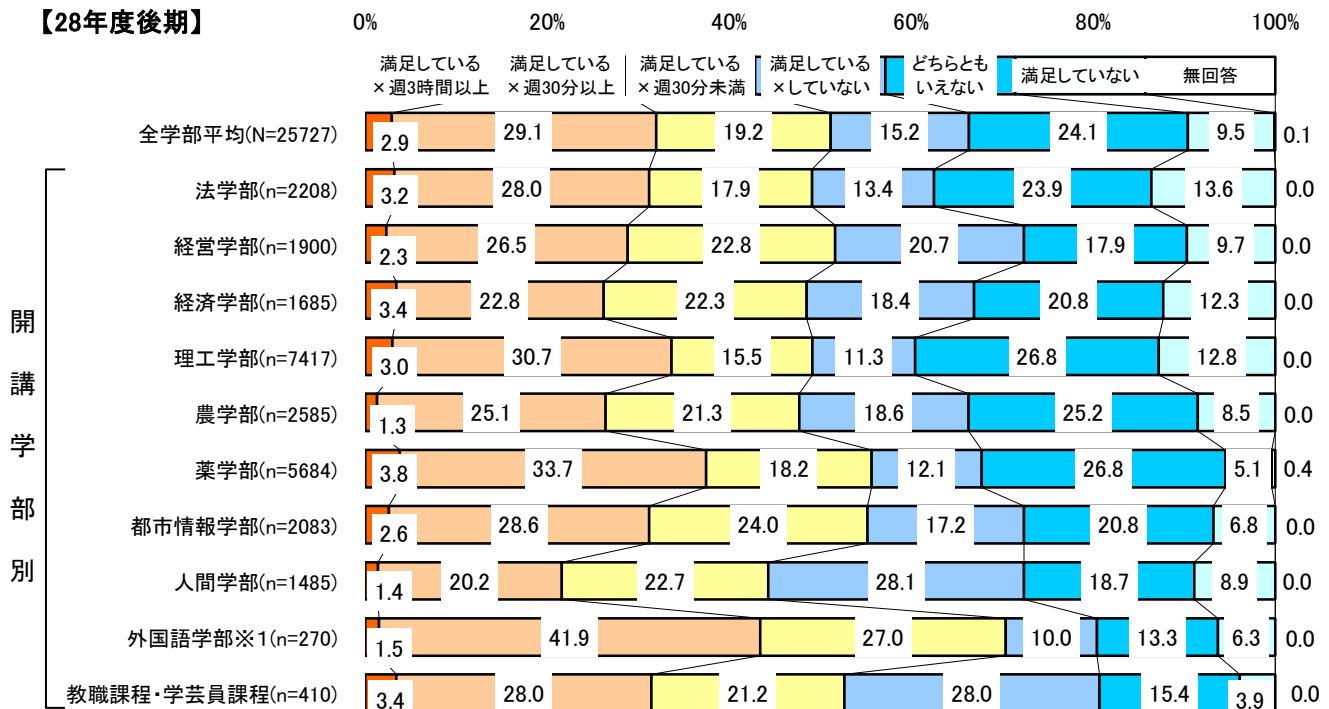
Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。  
 Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。

### <授業満足度×自学自習時間>

#### 【28年度前期】



#### 【28年度後期】



\*「満足している」は「強くそう思う」+「ややそう思う」、「満足していない」は「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」

(※1)1年次のみ

# (参考) 成長実感と自学自習時間の関係

[学生]

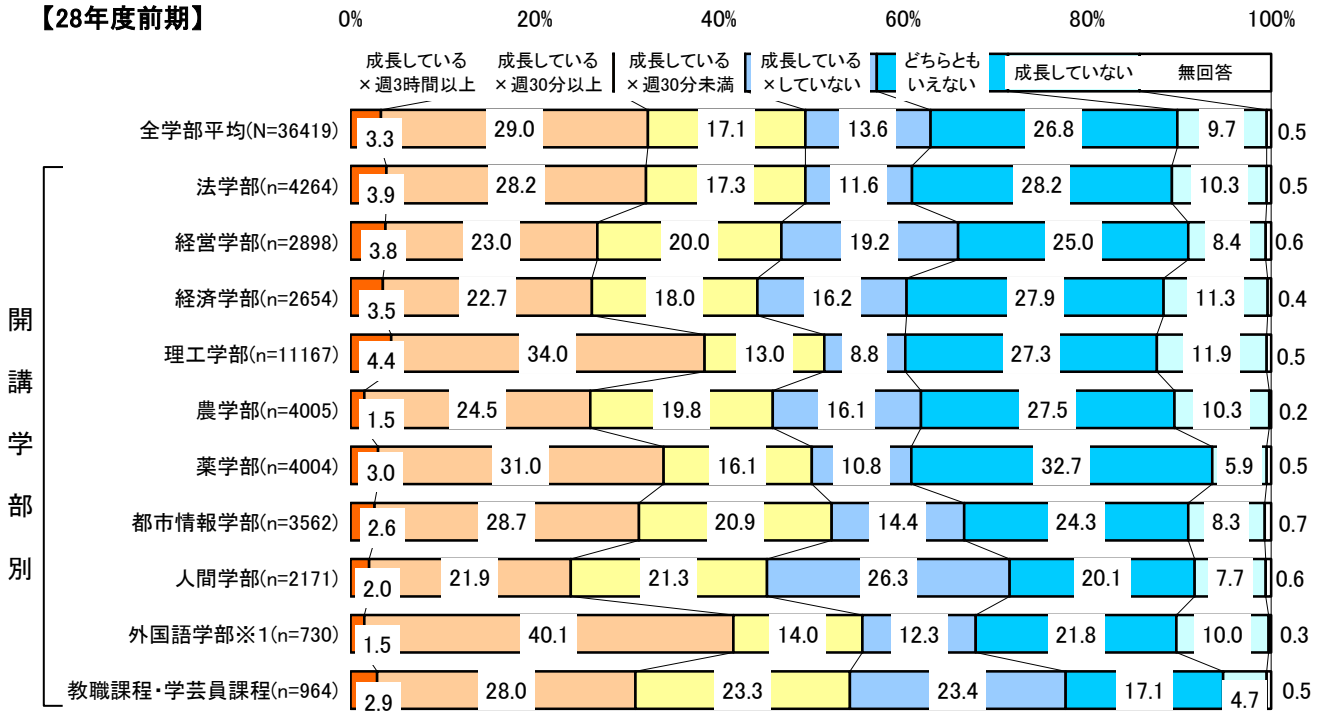
成長実感と自学自習時間の関係を学部別に確認した  
 28年前期では、「成長している」学生のうち、自学自習時間が「週3時間以上」の学生は3%にとどまり、学部別でみても大きな差はみられない。また、「週30分以上」の学生は外国語学部で4割を超える。28年度後期もほぼ同様の傾向。

Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。

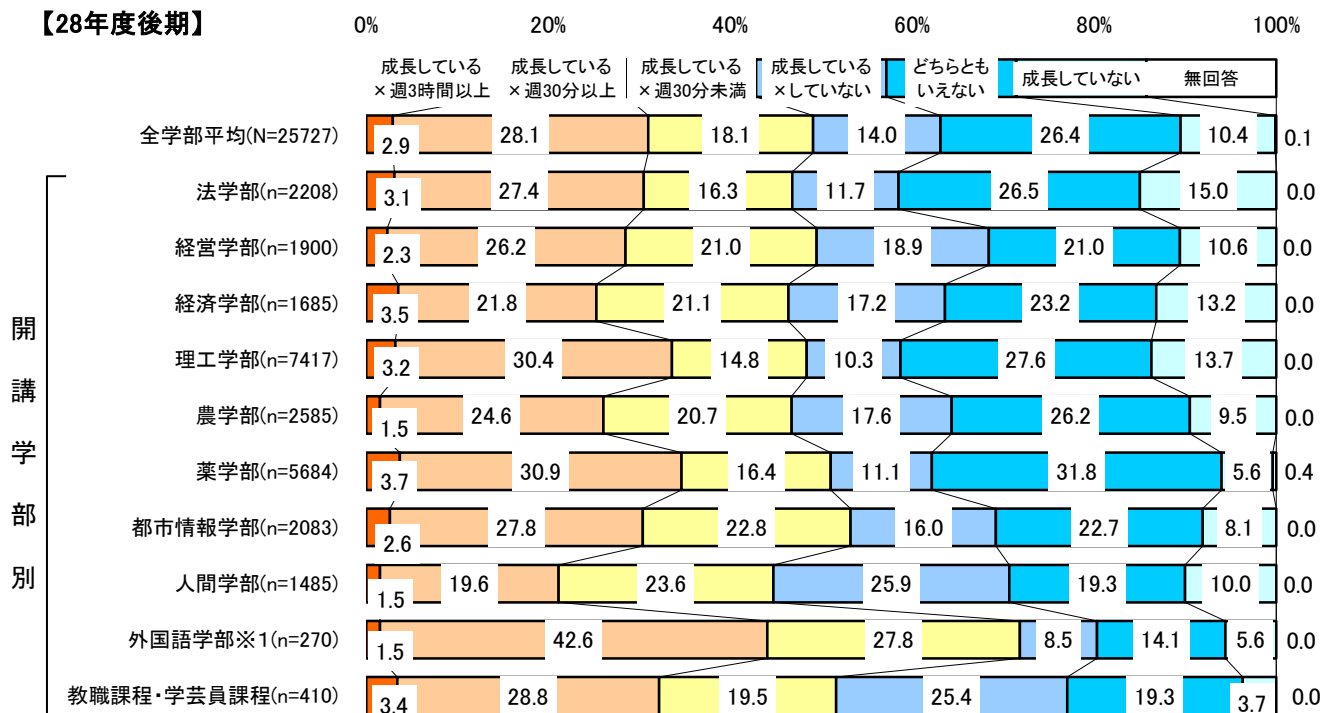
Q11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。

## <成長実感×自学自習時間>

### 【28年度前期】



### 【28年度後期】



\*「成長している」は「強くそう思う」+「ややそう思う」、「成長していない」は「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」

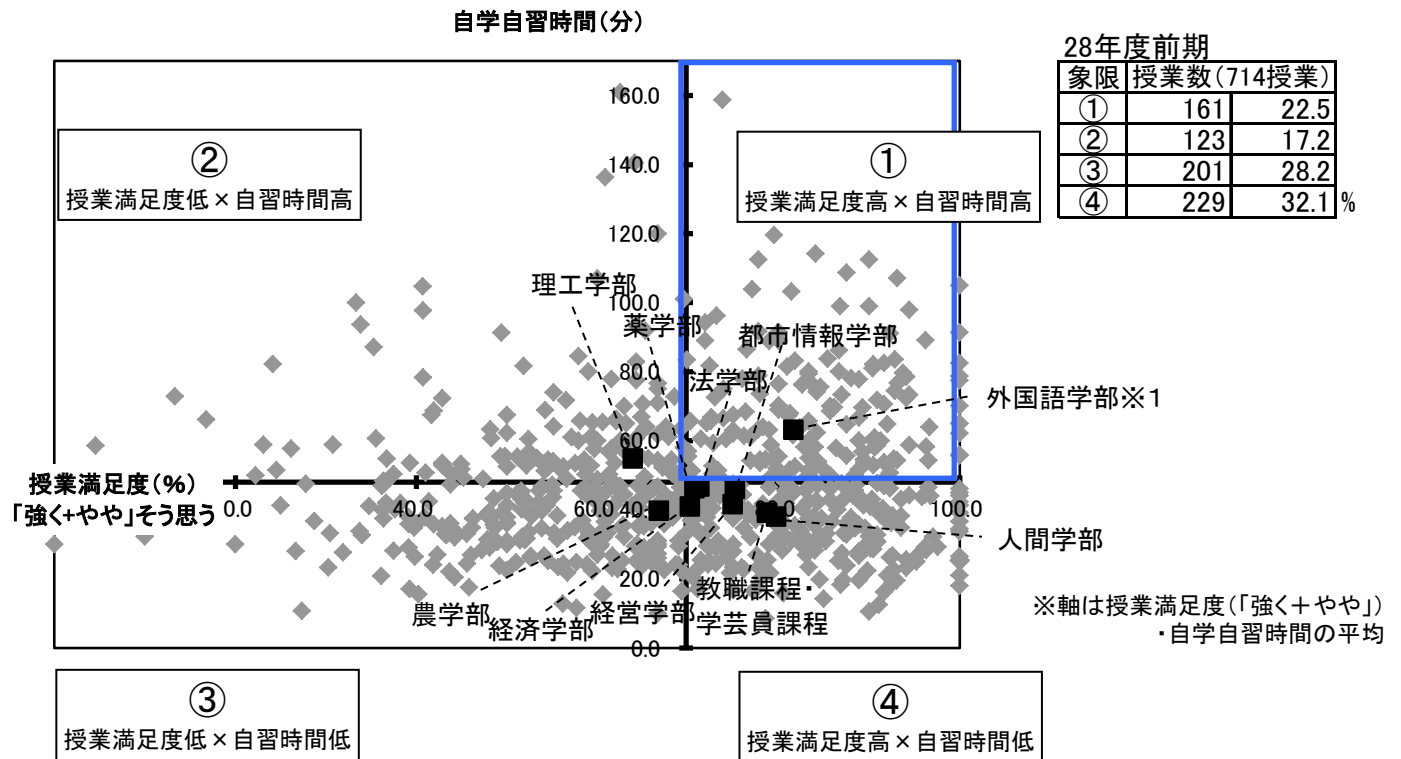
(※)1年次のみ

# 7 授業満足度と自学自習時間の関係 (3) (授業プロット)

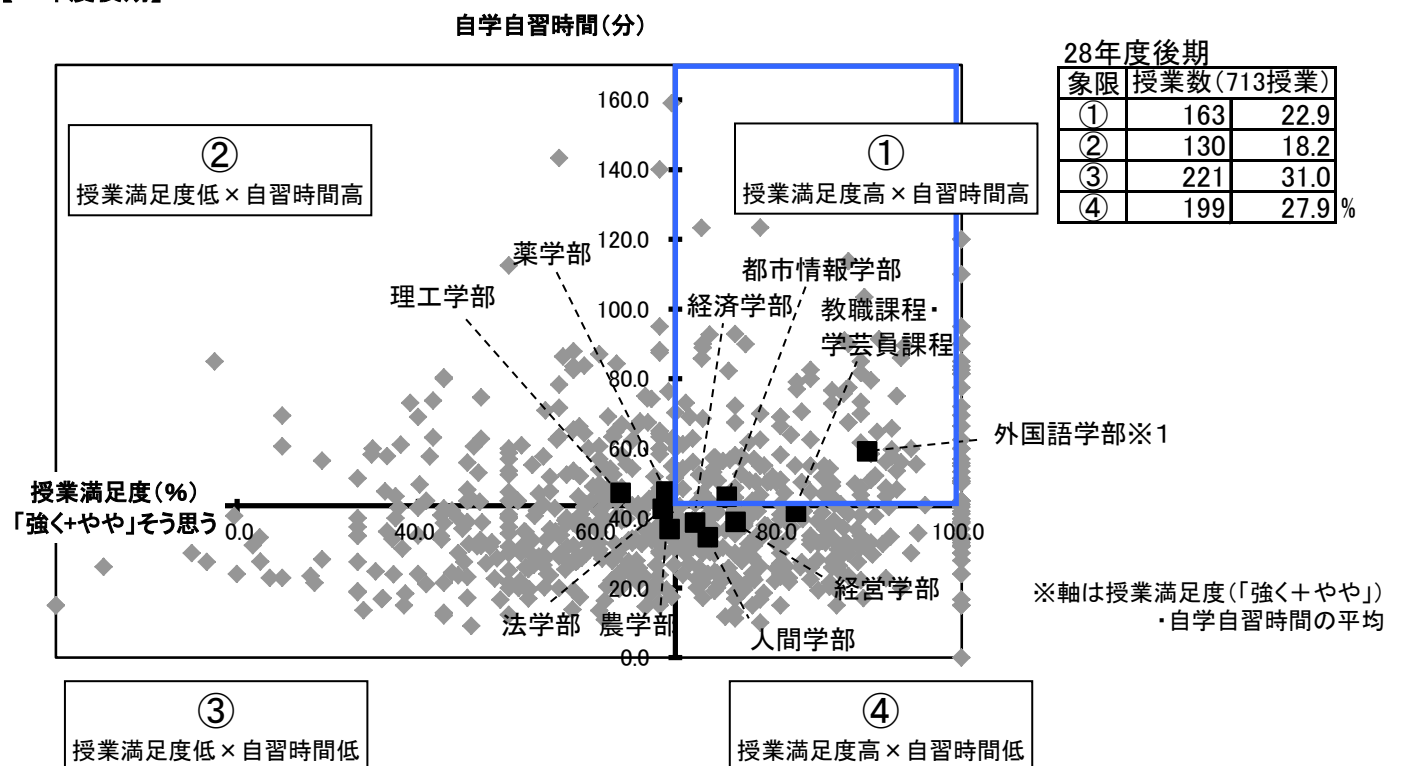
[授業]

自学自習時間と授業満足度の関係を平面上に各授業をプロットした。  
 自学自習時間も長く、授業満足度の高い右上の①象限にある授業数の割合は、28年度前期と後期を比較すると大きな変化はみられない。

<授業満足度×自学自習時間>  
 【28年度前期】



【28年度後期】



(※)1年次のみ

## 7 授業満足度と自学自習時間の関係（3）（授業プロット） [授業]

自学自習時間が長く、授業満足度も高い①象限に含まれる授業が多かった学部は、外国語学部で、①象限の授業が7割弱にのぼり、28年度前期から約20ポイント上昇した。薬学部、教職課程・学芸員課程も3割強を占め、28年度前期から10ポイント上昇した。

### <授業満足度×自学自習時間>

#### 【全学部平均】

象限	28年度前期 (714授業)	28年度後期 (713授業)
①	22.5	22.9
②	17.2	18.2
③	28.2	31.0
④	32.1	27.9

#### 【法学部】

象限	28年度前期 (82授業)	28年度後期 (83授業)
①	25.6	24.1
②	8.5	20.5
③	32.9	38.6
④	32.9	16.9

#### 【薬学部】

象限	28年度前期 (26授業)	28年度後期 (36授業)
①	23.1	33.3
②	11.5	16.7
③	30.8	33.3
④	34.6	16.7

#### 【経営学部】

象限	28年度前期 (64授業)	28年度後期 (69授業)
①	17.2	23.2
②	7.8	8.7
③	31.3	27.5
④	43.8	40.6

#### 【都市情報学部】

象限	28年度前期 (72授業)	28年度後期 (57授業)
①	23.6	24.6
②	4.2	3.5
③	22.2	29.8
④	50.0	42.1

#### 【経済学部】

象限	28年度前期 (52授業)	28年度後期 (55授業)
①	13.5	14.5
②	15.4	14.5
③	38.5	36.4
④	32.7	34.5

#### 【人間学部】

象限	28年度前期 (45授業)	28年度後期 (45授業)
①	13.3	17.8
②	6.7	11.1
③	24.4	17.8
④	55.6	53.3

#### 【理工学部】

象限	28年度前期 (273授業)	28年度後期 (263授業)
①	26.4	20.2
②	28.6	29.7
③	27.1	32.3
④	17.9	17.9

#### 【外国語学部(1年次のみ)】

象限	28年度前期 (21授業)	28年度後期 (21授業)
①	47.6	66.7
②	19.0	0.0
③	4.8	9.5
④	28.6	23.8

#### 【農学部】

象限	28年度前期 (59授業)	28年度後期 (66授業)
①	11.9	18.2
②	15.3	10.6
③	35.6	34.8
④	37.3	36.4

#### 【教職課程・学芸員課程】

象限	28年度前期 (20授業)	28年度後期 (18授業)
①	20.0	33.3
②	15.0	5.6
③	15.0	16.7
④	50.0	44.4

\* 全体より10ポイント以上高いものに網かけ

各授業における受講者数(登録学生数)とアンケート回答者数から回答率を算出した。  
 28年度前期の全学部平均は6割だったが、28年度後期は4割と低い。  
 学部別にみると、薬学部が前期・後期ともに8割を超えて特に高かった。

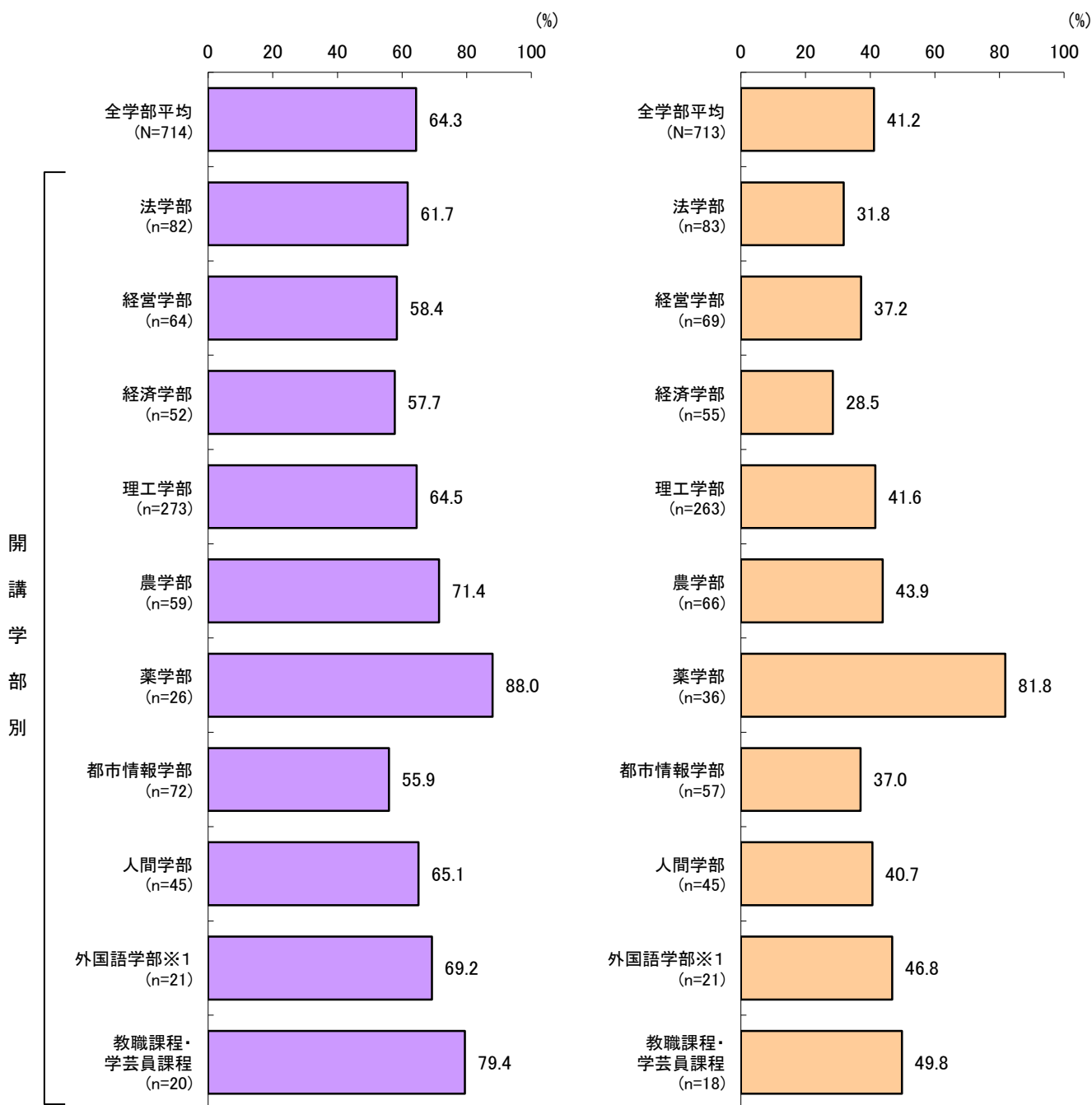
各授業の受講学生(登録学生)数と本アンケート調査の回答者数をもとに回答率を計算した。

$$\text{回答率} = \frac{\text{本アンケート回答者数(各授業における)}}{\text{受講者数(登録学生数)}}$$

<回答率>

【28年度前期】

【28年度後期】



(※1)1年次のみ

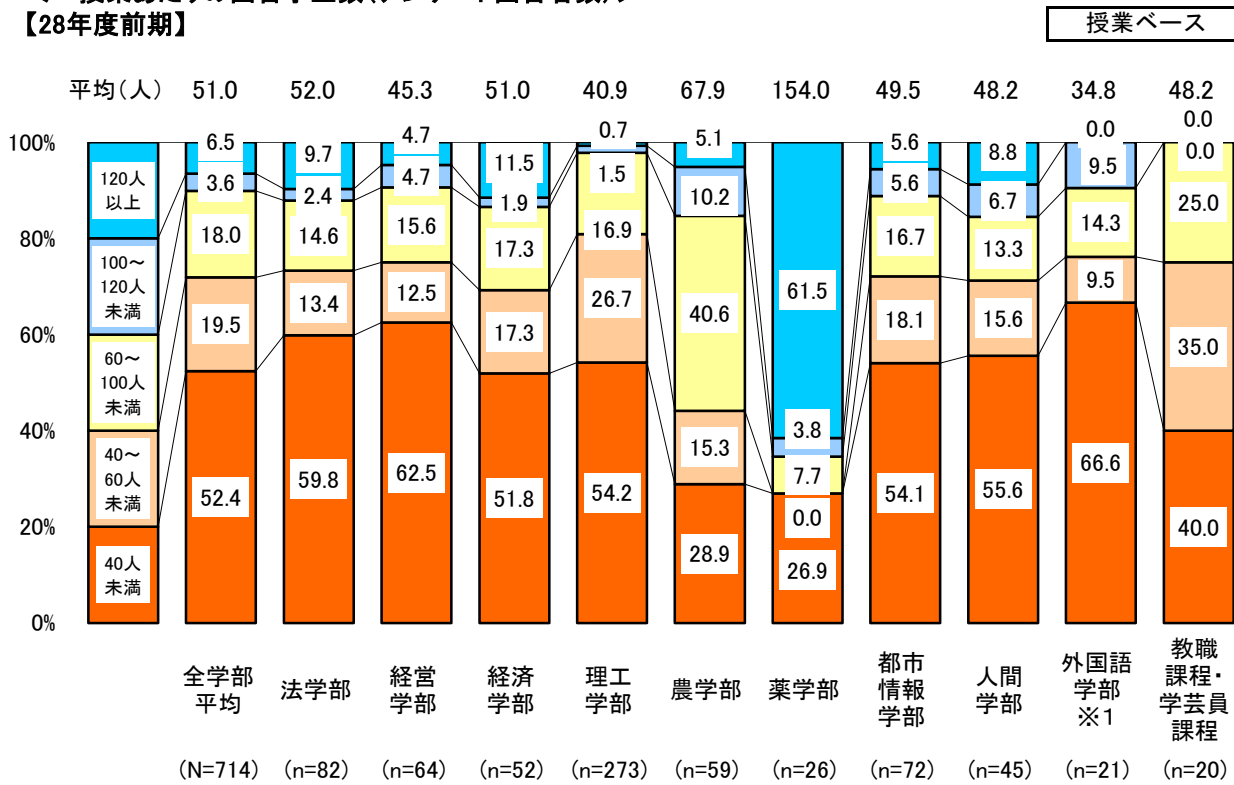


# 9 一授業あたりの回答学生数

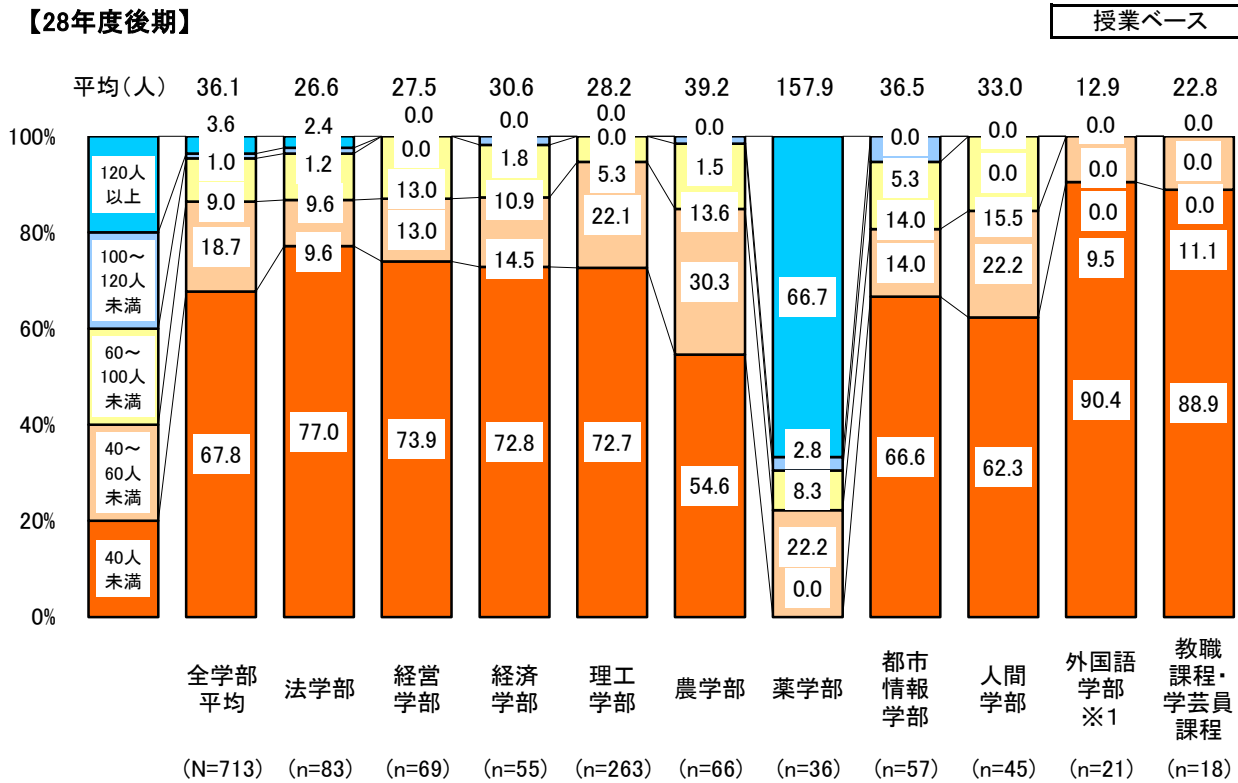
[授業]

一授業あたりの回答学生数を学部別に確認した。  
 28年度後期では、一授業あたりの回答学生数が40人未満の割合が7割弱を占め、特に外国語学部、教職課程・学芸員課程では約9割にのぼる。28年度前期と比較すると、全学部平均の40人未満の割合は15ポイント上昇している。

<一授業あたりの回答学生数(アンケート回答者数)>  
 【28年度前期】



【28年度後期】



(※1)1年次のみ

# 10 回答者数の規模別授業満足度

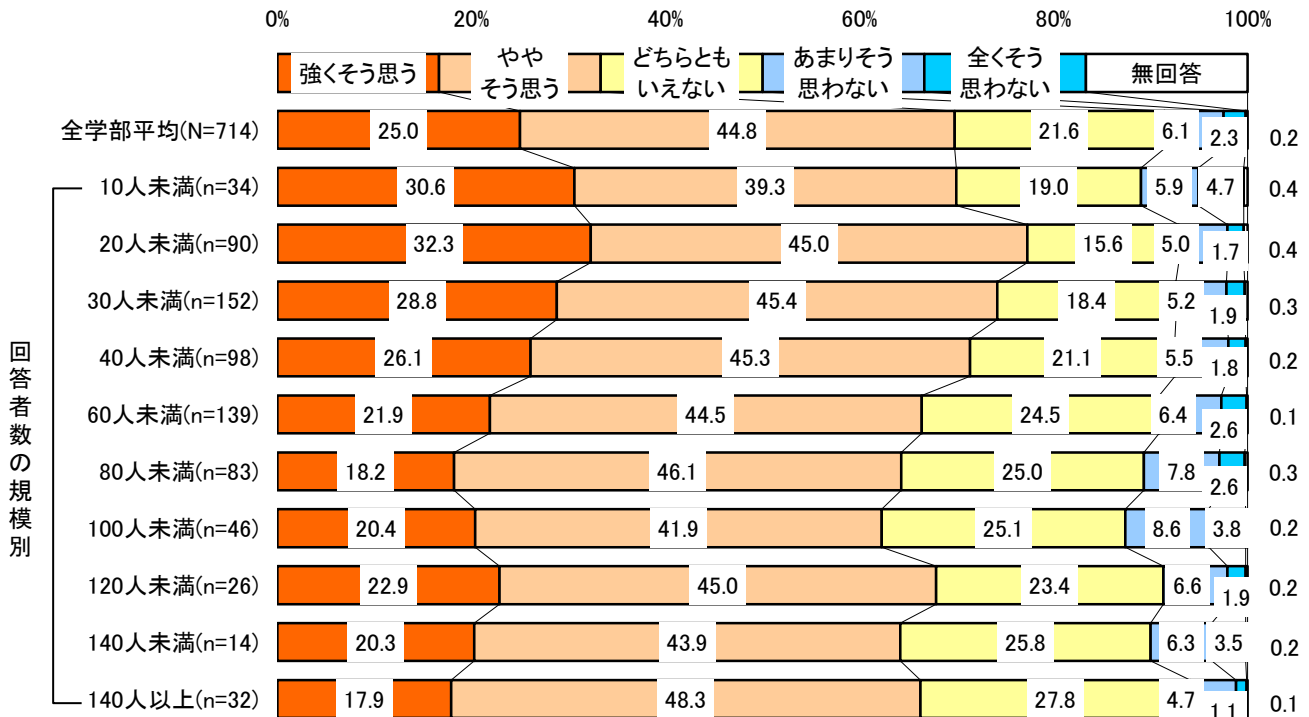
[授業]

各授業の回答者数の規模別に授業満足度を確認した。  
1授業あたりの回答者が40人未満の授業では授業満足度が高く、それ以上の回答者の授業では授業満足度が低い。

Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。

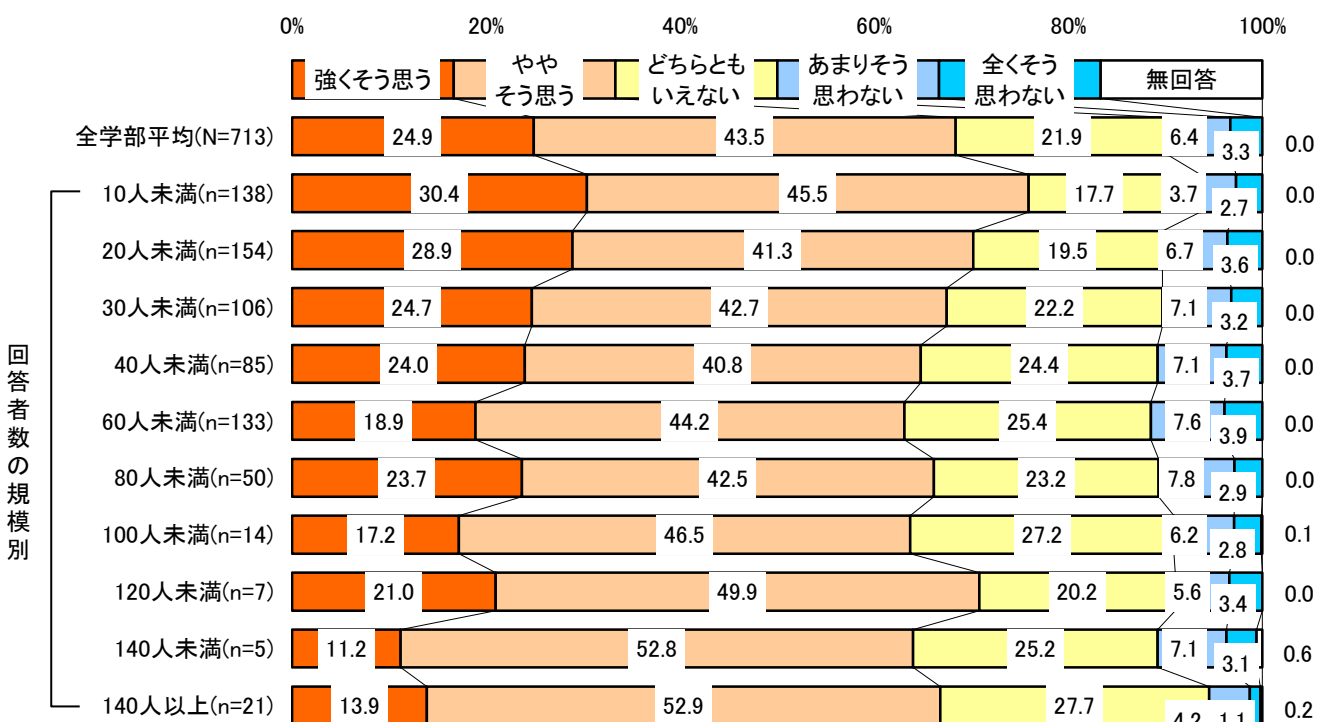
<回答者数の規模別授業満足度>  
【28年度前期】

授業ベース



【28年度後期】

授業ベース



基礎データ(前期)

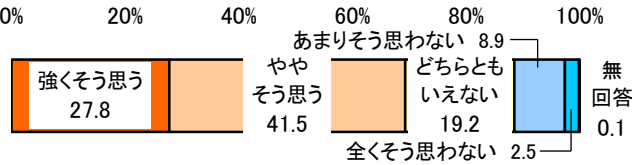


28年度前期の授業の評価を時系列でみると、全般的に緩やかな上昇傾向で、特に「板書」「理解配慮」は27年度前期から上昇している。また、学生の評価は、「興味喚起」「自学自習時間」で評価が上昇している。

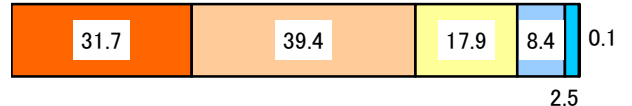
【28年度前期 全学部平均】(N=36419)

＜授業の評価＞

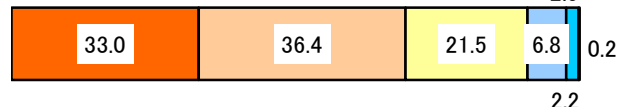
1. この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったと思いますか。※1



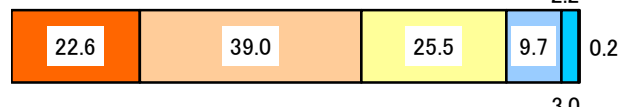
2. この授業では、教員の話し方は聞き取りやすかったと思いますか。※2



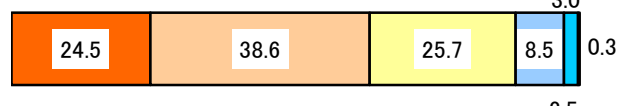
3. この授業では、教員は私語に対し、きちんと対応していましたか。※3



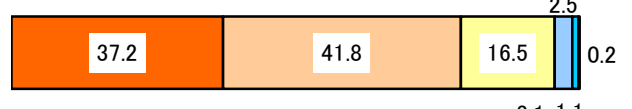
4. この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか。※4



5. この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか。



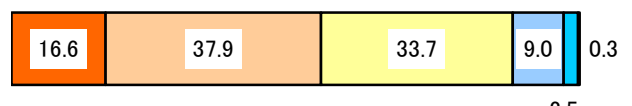
6. この授業では、教員は熱意や意欲をもって授業に取り組んでくれたと思いますか。※5



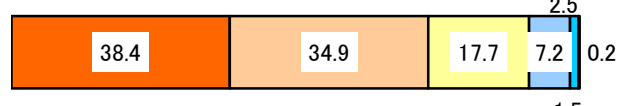
28年度前期 常勤	28年度前期 非常勤	28年度前期 全体	27年度前期 全体	26年度前期 全体
67.0	72.5	69.3	61.6	58.8
67.3	76.0	71.0	66.6	64.8
71.2	66.8	69.3	65.9	64.7
58.8	65.4	61.6	54.0	51.1
61.0	65.9	63.1	-	-
77.0	81.6	79.0	74.8	73.2

＜学生の評価＞

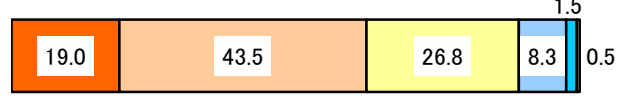
7. あなたは、シラバスや履修系統図を参考に、この授業の目標やねらいを十分に理解したうえで受講したと思いますか。



8. あなたは、この授業に対して、欠席や遅刻をすることなく、過度なアルバイトや寝不足などによる体調不良がない状態で臨むことができたと思いますか。



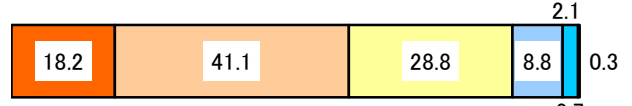
10. あなたは、この授業に意欲的・積極的に取り組むことができたと思いますか。



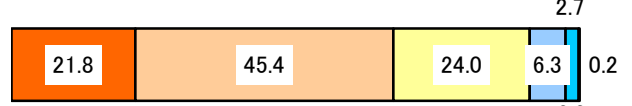
11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。



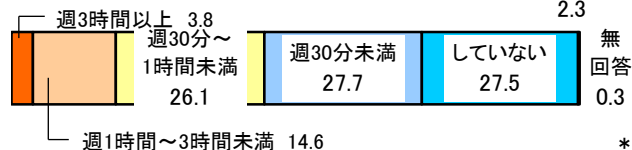
12. この授業を通じて、あなたは学問や研究への興味や意欲を膨らませることができたと思いますか。※6



13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。



9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。※7



54.6	54.3	54.5	-	-
73.6	72.9	73.3	-	-
62.4	62.5	62.5	-	-
62.9	63.6	63.2	-	-
60.2	58.3	59.4	53.9	49.5
65.4	69.7	67.2	-	-
20.5	15.6	18.4	13.0	11.3

\* 数表は各設問上位2選択肢の合計 (%)

平成26年度、平成27年度は下記で測定

(※1)この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい。

(※2)この授業では教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。

(※3)この授業では教員は私語に対し、きちんと対応している。

(※4)この授業では学生の理解度を確認しながら進められている。

(※5)この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。

(※6)この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされている。

(※7)この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)は。

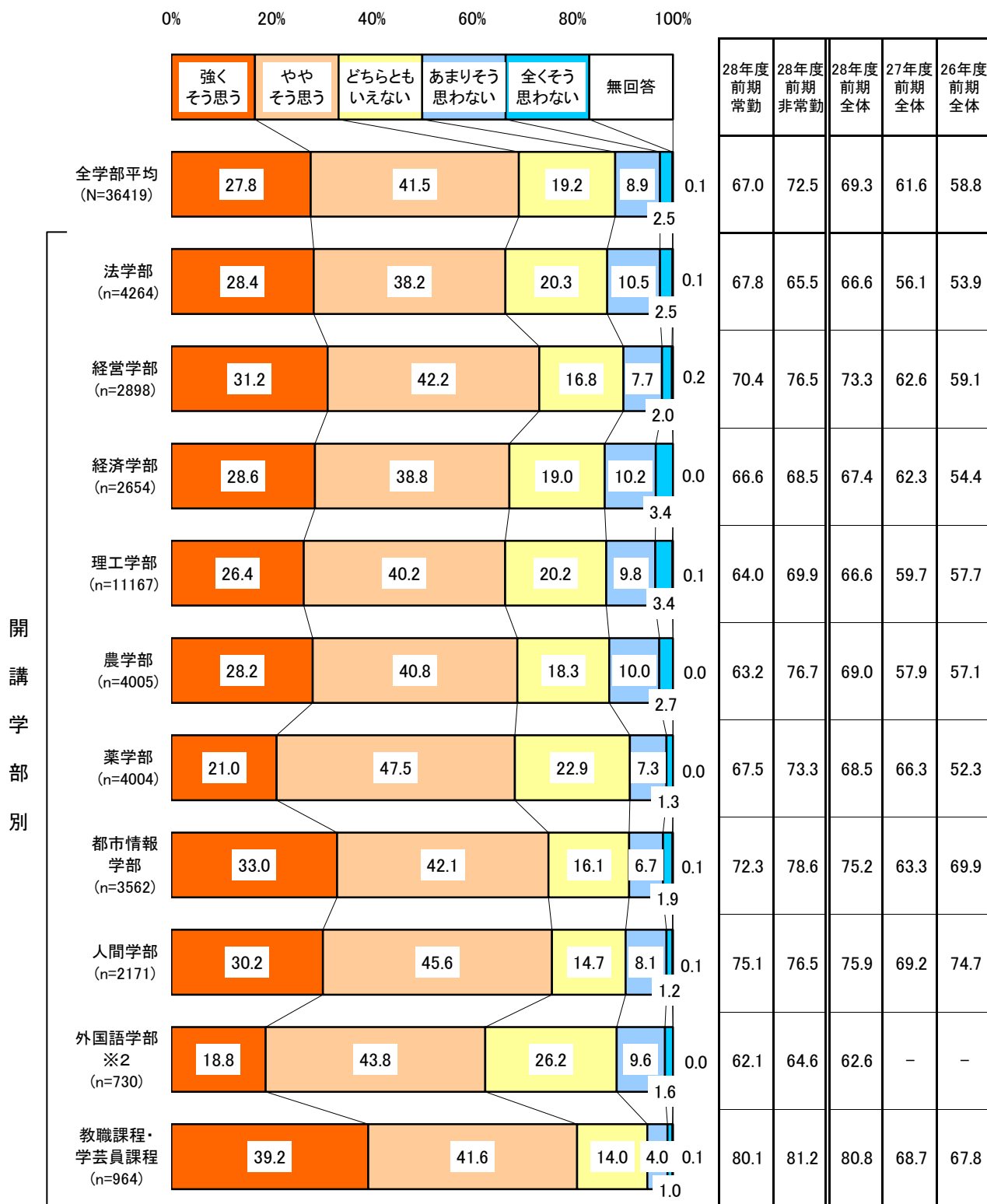
# 12 授業評価の基礎データ 板書

[前期 学生]

板書に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は約7割。教職課程・学芸員課程で8割を超えるが、外国語学部では6割強と評価が低い。

【28年度前期】

Q1. この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったですか。※1



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 平成26年度、平成27年度は「この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい。」で測定

(※2) 1年次のみ

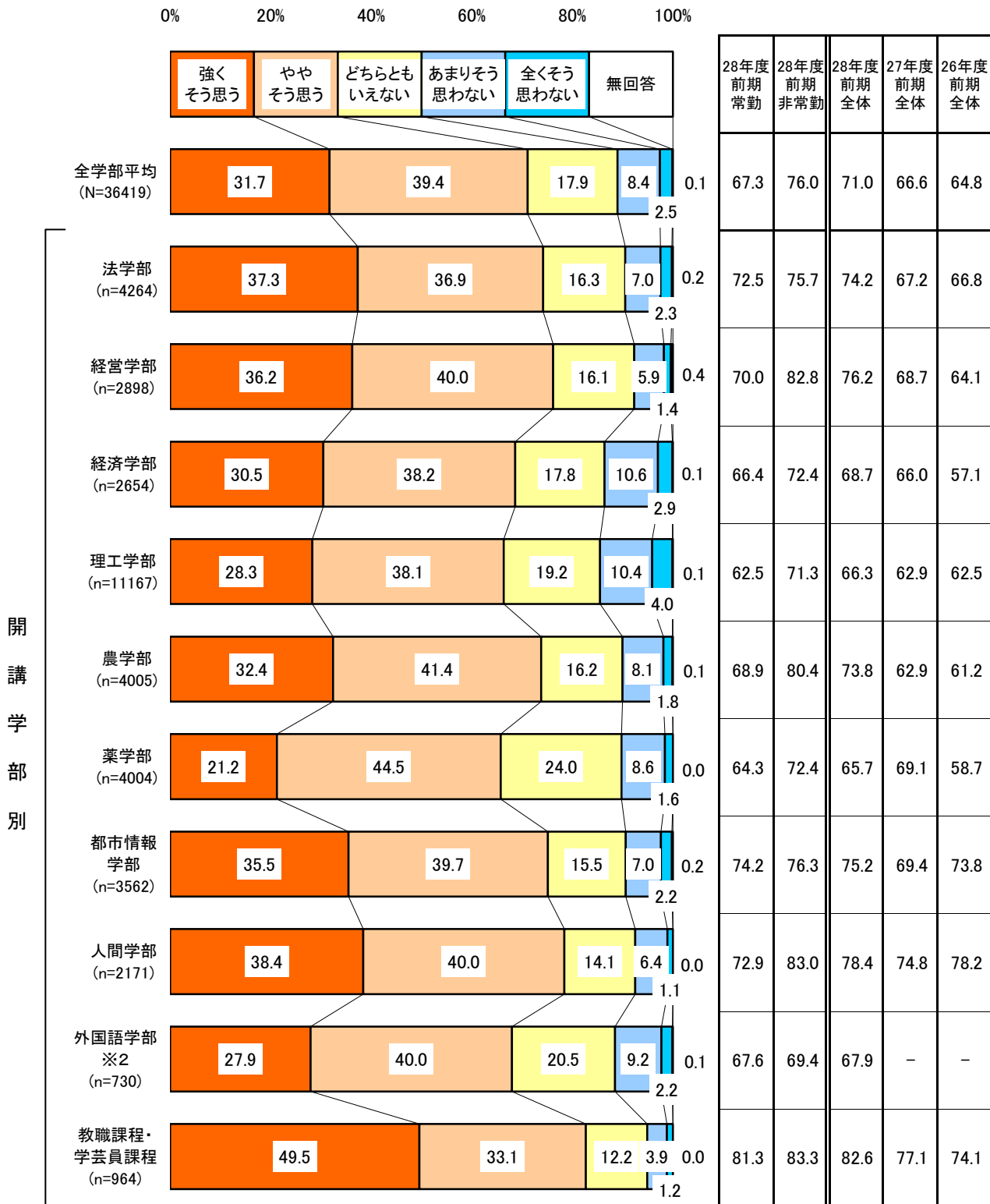
# 12 授業評価の基礎データ 話方明瞭

[前期 学生]

話方明瞭に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。教職課程・学芸員課程で8割強と評価が高い。

【28年度前期】

Q2. この授業では、教員の話し方は聞き取りやすかったですか。※1



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 平成26年度、平成27年度は「この授業では教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。」で測定

(※2) 1年次のみ

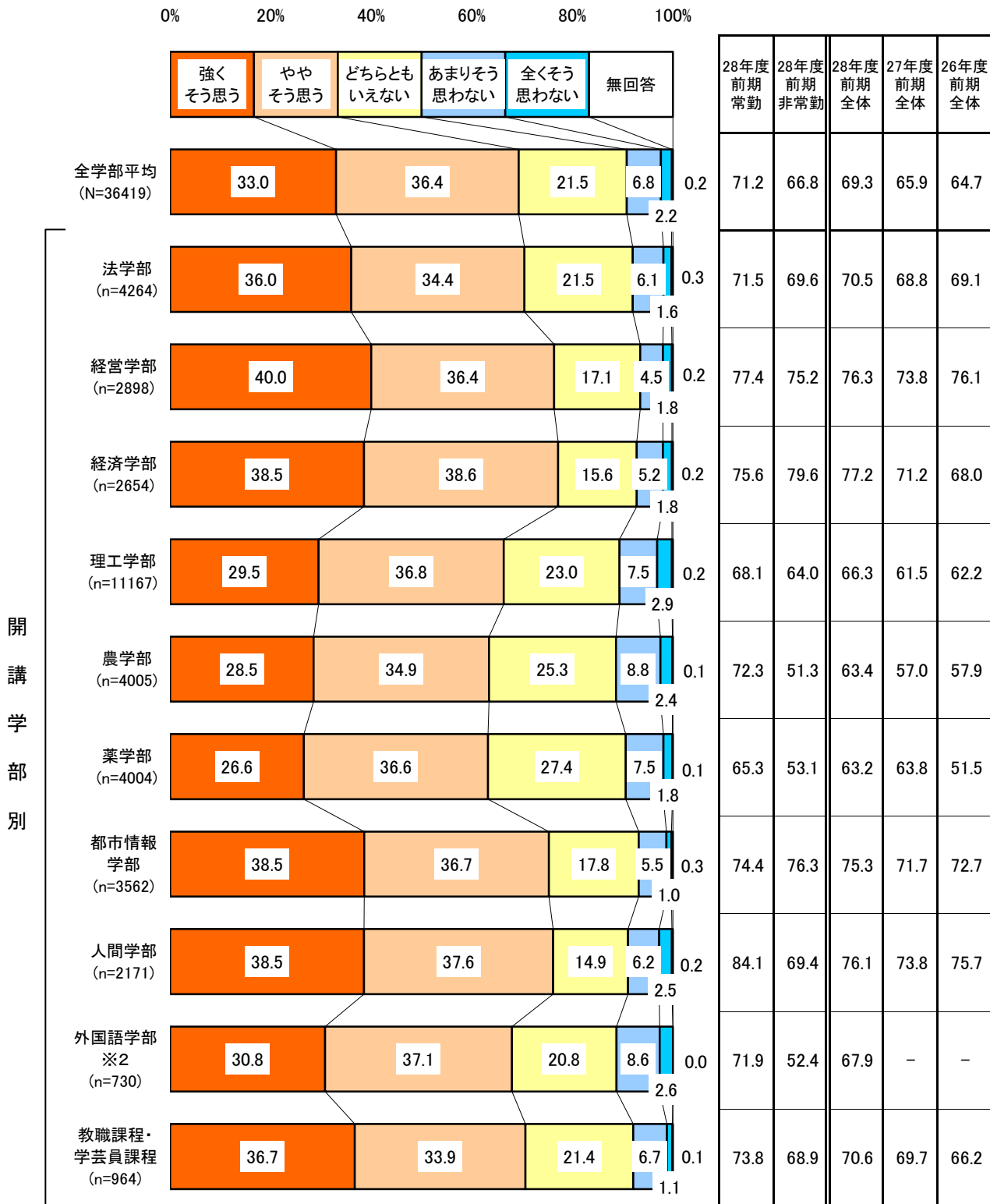
# 12 授業評価の基礎データ 私語対応

[前期 学生]

私語対応に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は約7割。経済学部、経営学部、人間学部、都市情報学部で7割強と高いが、農学部、薬学部ではやや評価が低い。

【28年度前期】

Q3. この授業では、教員は私語に対し、きちんと対応していましたか。 ※1



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 平成26年度、平成27年度は「この授業では教員は私語に対し、きちんと対応している。」で測定

(※2) 1年次のみ



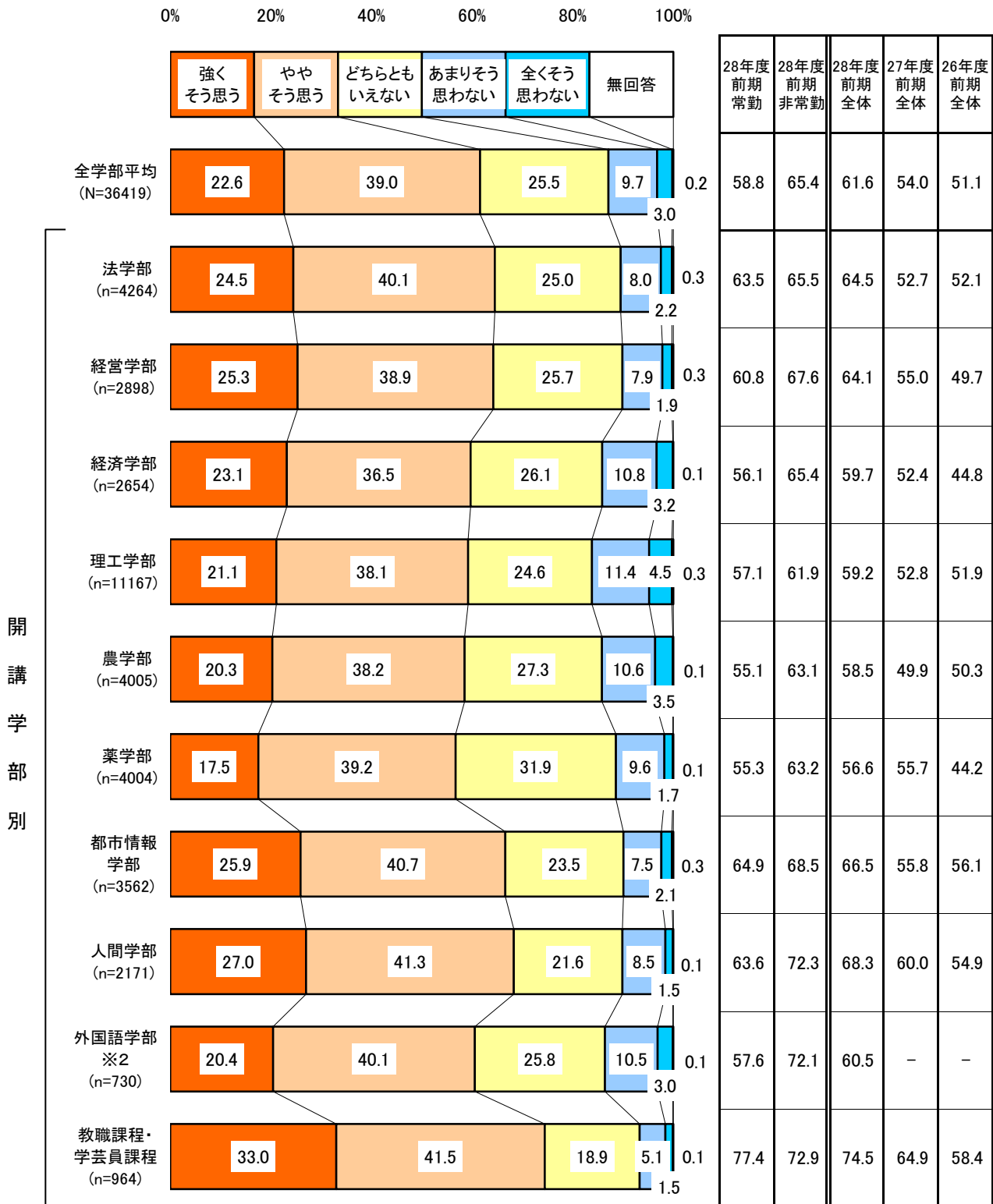
# 12 授業評価の基礎データ 理解配慮

[前期 学生]

理解配慮に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割強。教職課程・学芸員課程で7割台と評価が高い。

【28年度前期】

Q4. この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか。 ※1



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 平成26年度、平成27年度は「この授業では学生の理解度を確認しながら進められている。」で測定

(※2) 1年次のみ

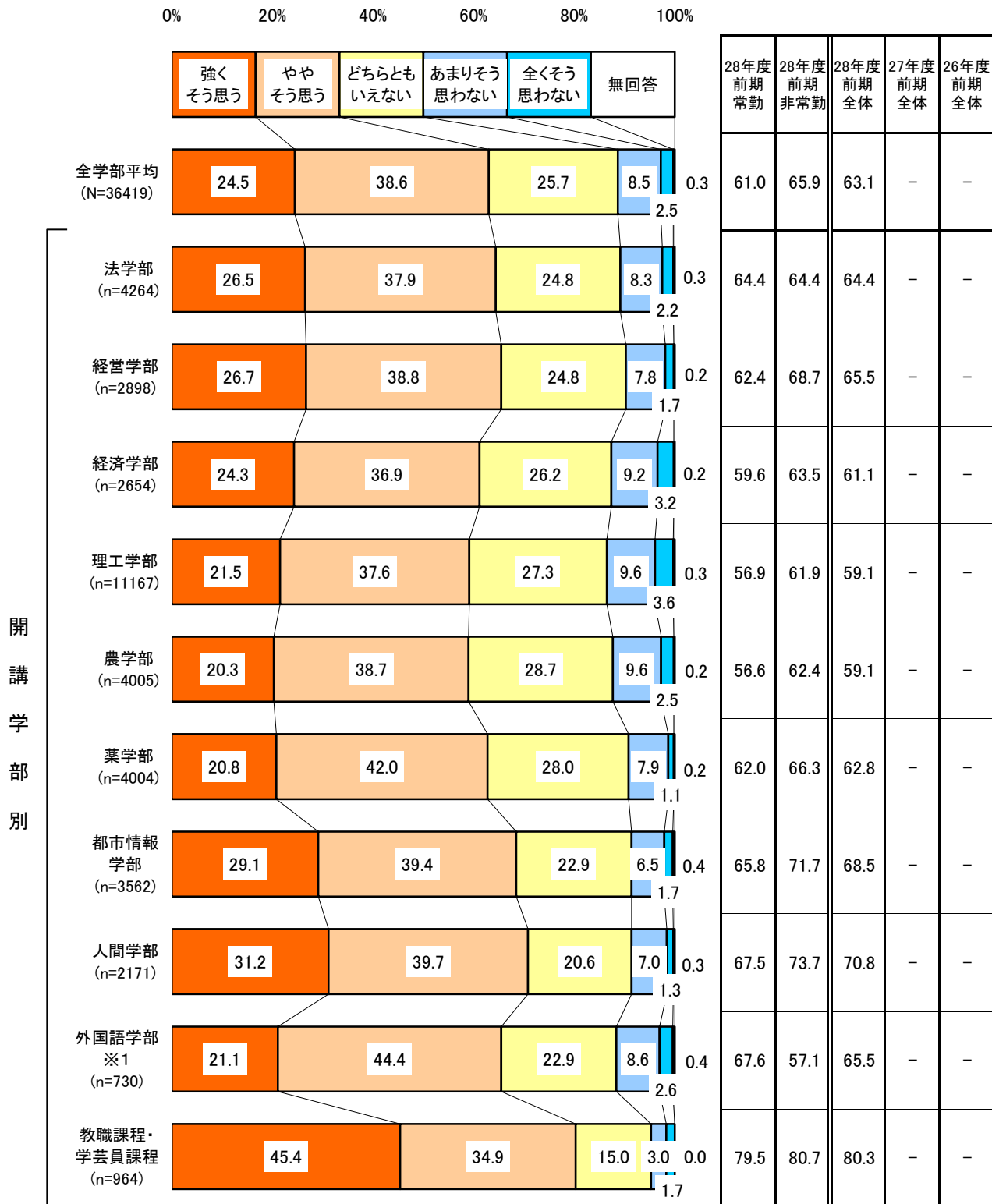
# 12 授業評価の基礎データ 工夫

[前期 学生]

工夫に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割強。教職課程・学芸員課程で特に評価が高く8割を超える。

【28年度前期】

Q5. この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1)1年次のみ

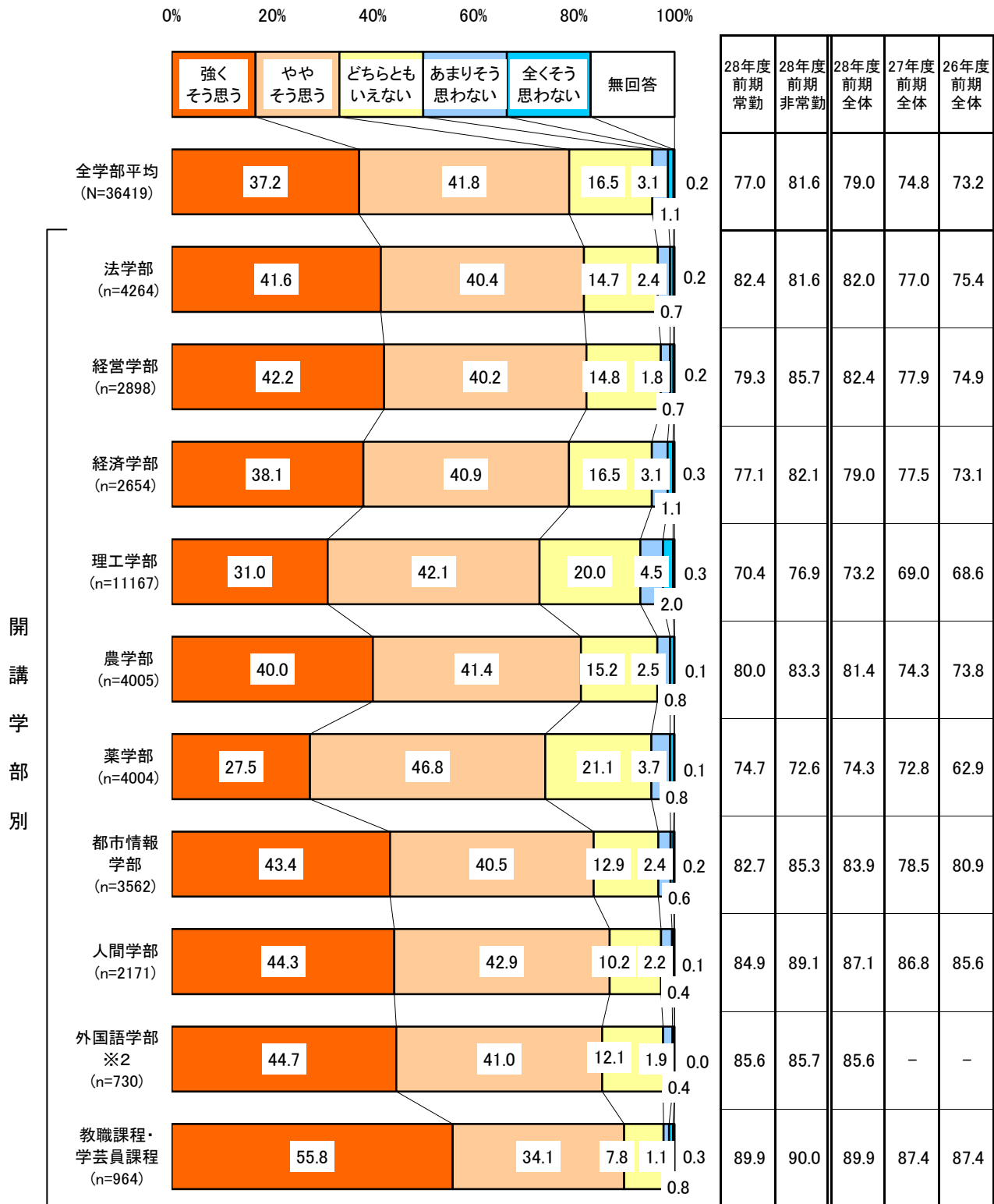
# 12 授業評価の基礎データ 熱意

[前期 学生]

熱意に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は約8割。教職課程・学芸員課程では9割に達し、「強くそう思う」が6割弱を占める。

【28年度前期】

Q6. この授業では、教員は熱意や意欲をもって授業に取り組んでくれたと思いますか。 ※1



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

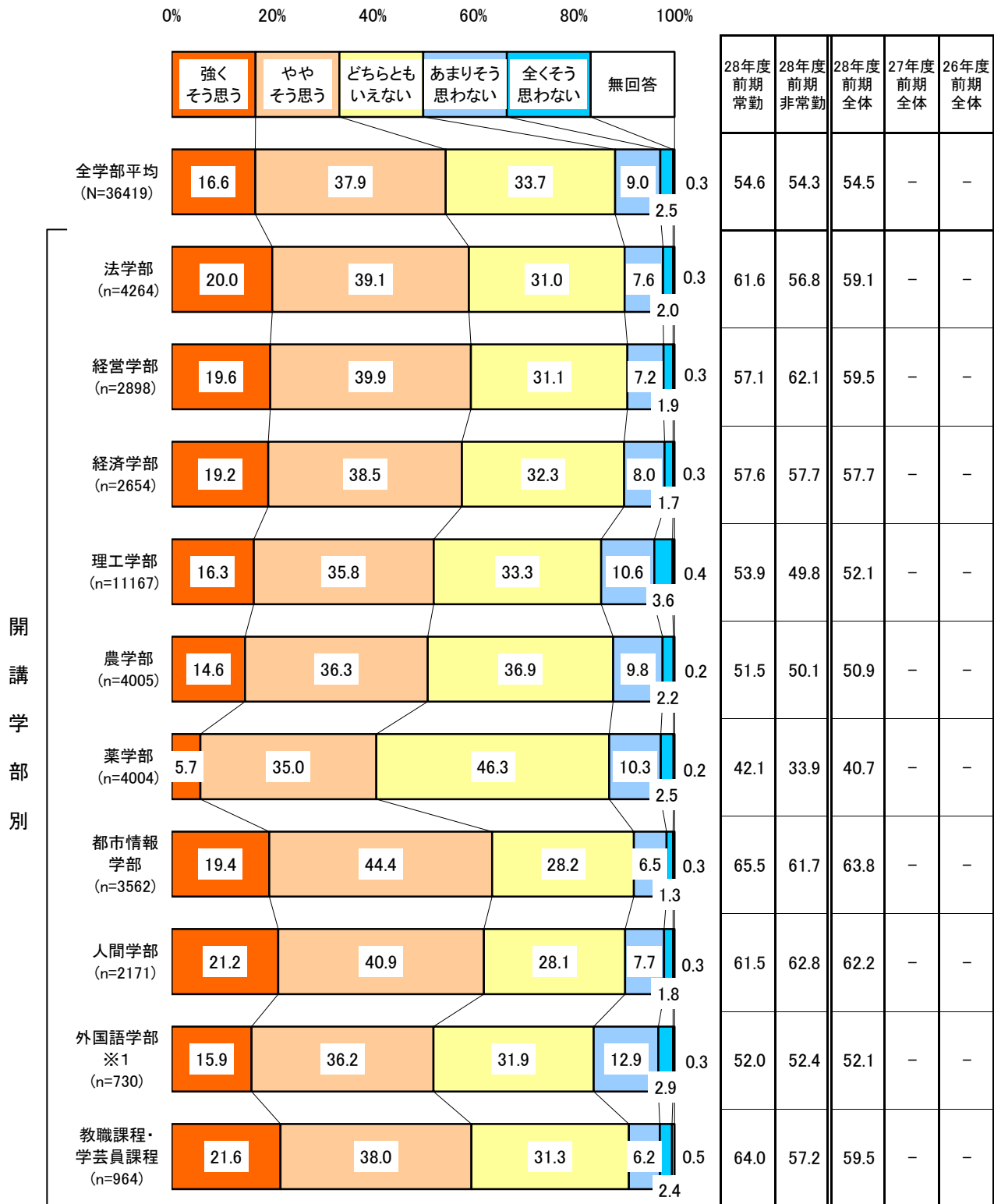
(※1) 平成26年度、平成27年度は「この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。」で測定

(※2) 1年次のみ

目標理解に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は5割強。都市情報学部、人間学部で6割強と高いが、薬学部では約4割にとどまる。

### 【28年度前期】

Q7. あなたは、シラバスや履修系統図を参考に、この授業の目標やねらいを十分に理解したうえで受講したと思いますか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1)1年次のみ

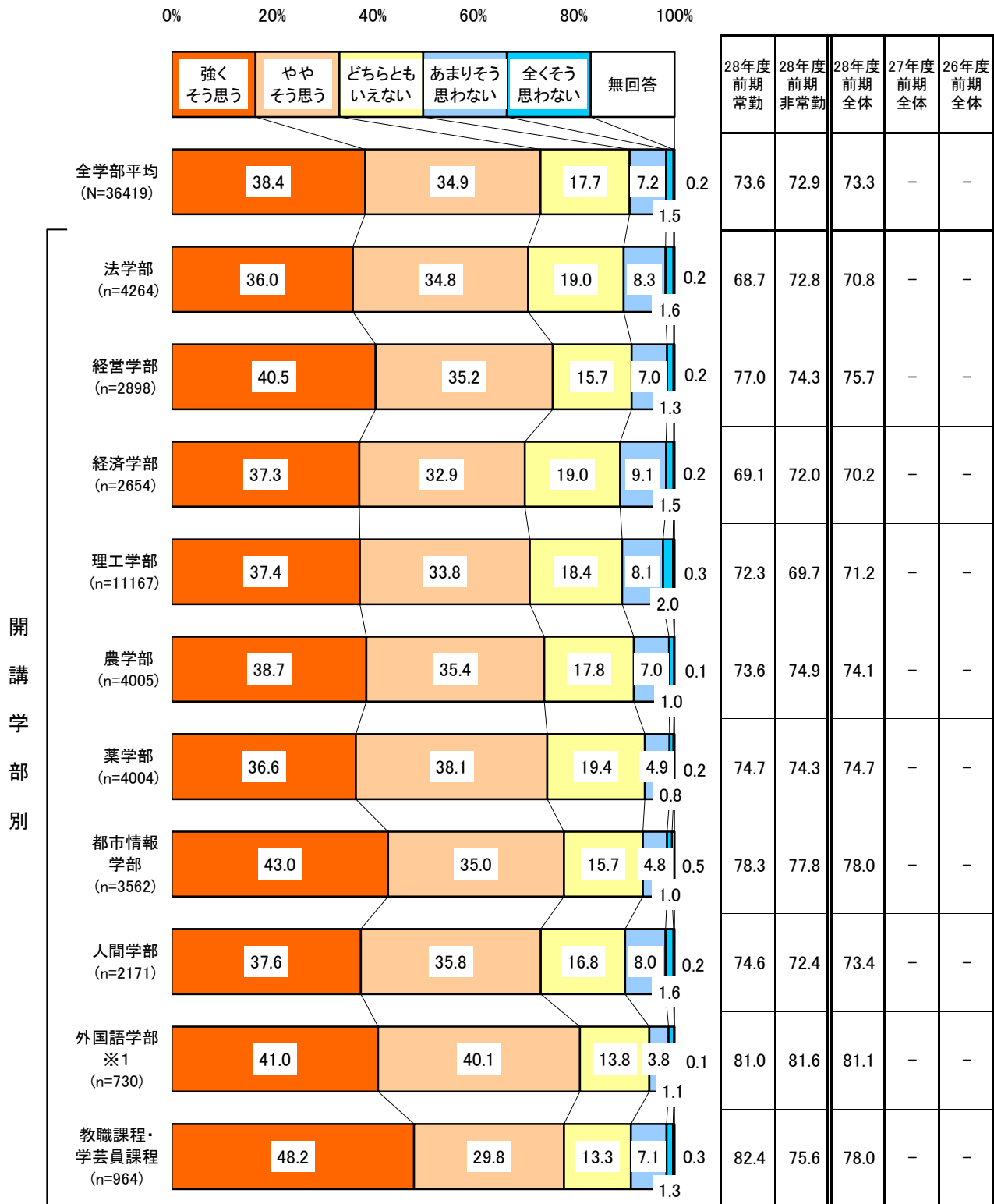
# 13 学生評価の基礎データ 欠席遅刻

[前期 学生]

欠席遅刻に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。外国語学部で評価が高く、8割を超える。

【28年度前期】

Q8. あなたは、この授業に対して、欠席や遅刻をすることなく、過度なアルバイトや寝不足などによる体調不良がない状態で臨むことができましたか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1)1年次のみ

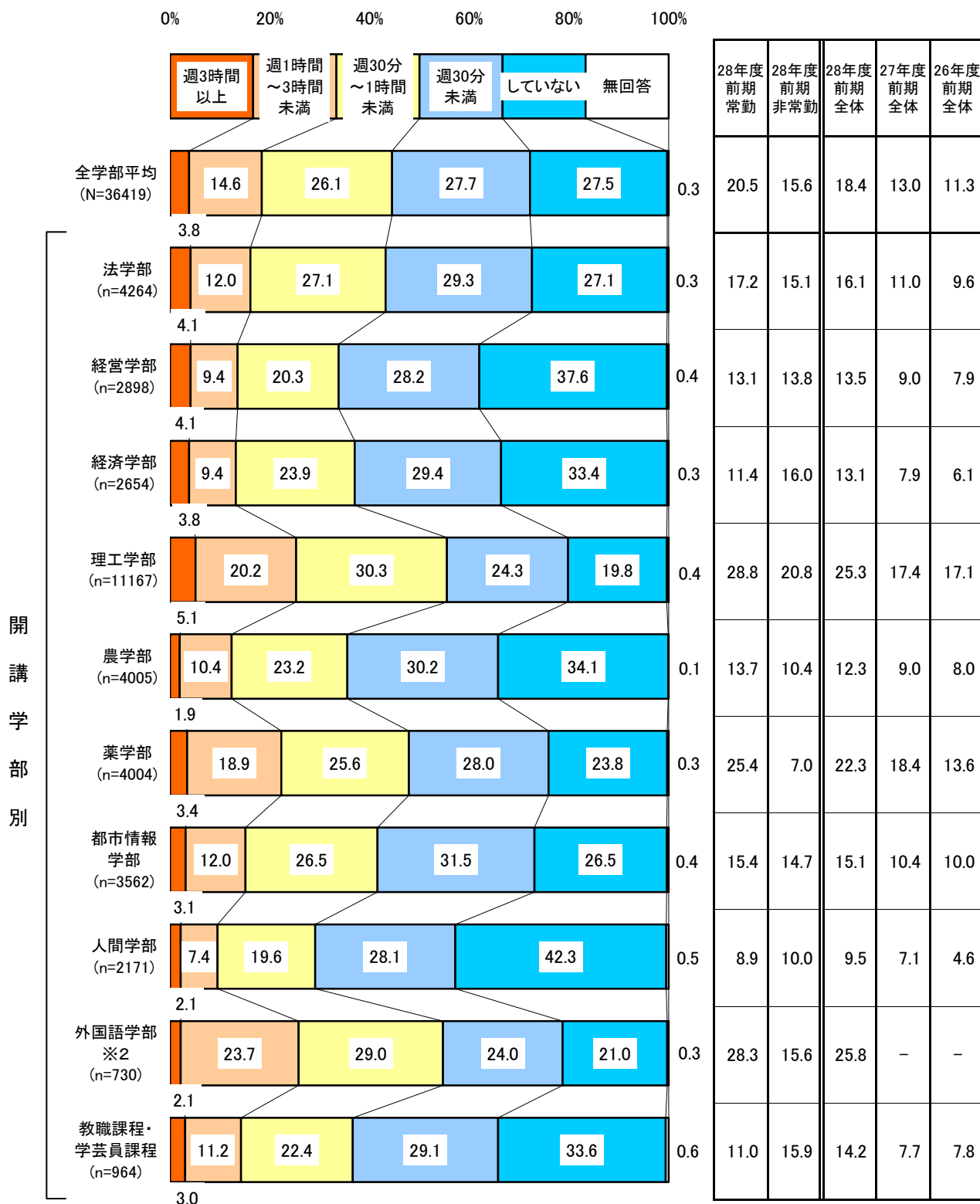
# 13 学生評価の基礎データ 自学自習時間

[前期 学生]

自学自習時間に関する学生の自己評価をみると、「週3時間以上」+「週1時間～3時間未満」と回答した学生は2割弱。理工学部、外国語学部で「週1時間以上」の割合が高め。

【28年度前期】

Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。 ※1



\* 数表は「週3時間以上」+「週1時間～3時間未満」(%)

(※1) 平成26年度、平成27年度は「この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)は。」で測定

(※2) 1年次のみ

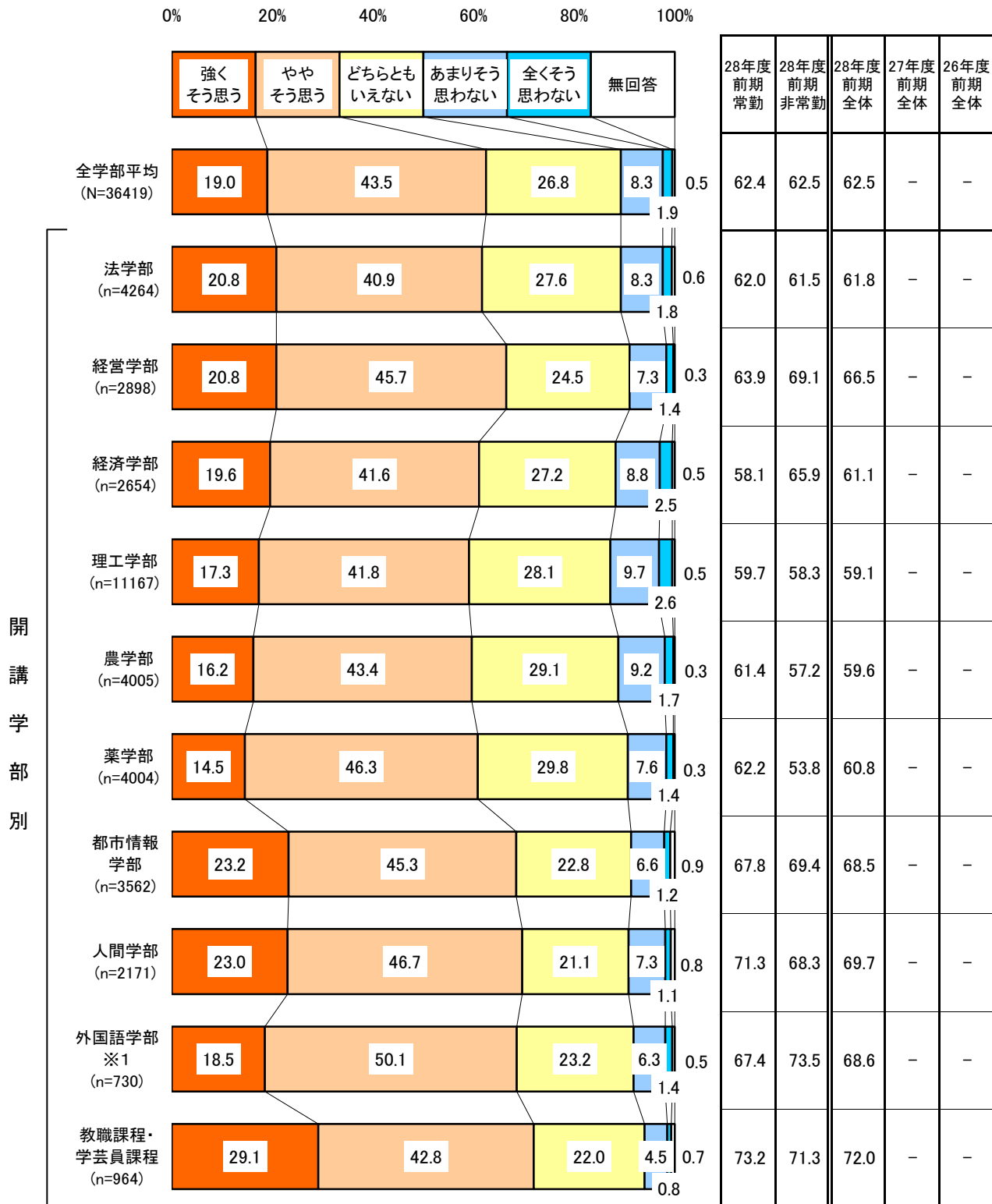
# 13 学生評価の基礎データ 意欲

[前期 学生]

意欲に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割強。教職課程・学芸員課程で7割強と評価が高い。

【28年度前期】

Q10. あなたは、この授業に意欲的・積極的に取り組むことができましたか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1)1年次のみ

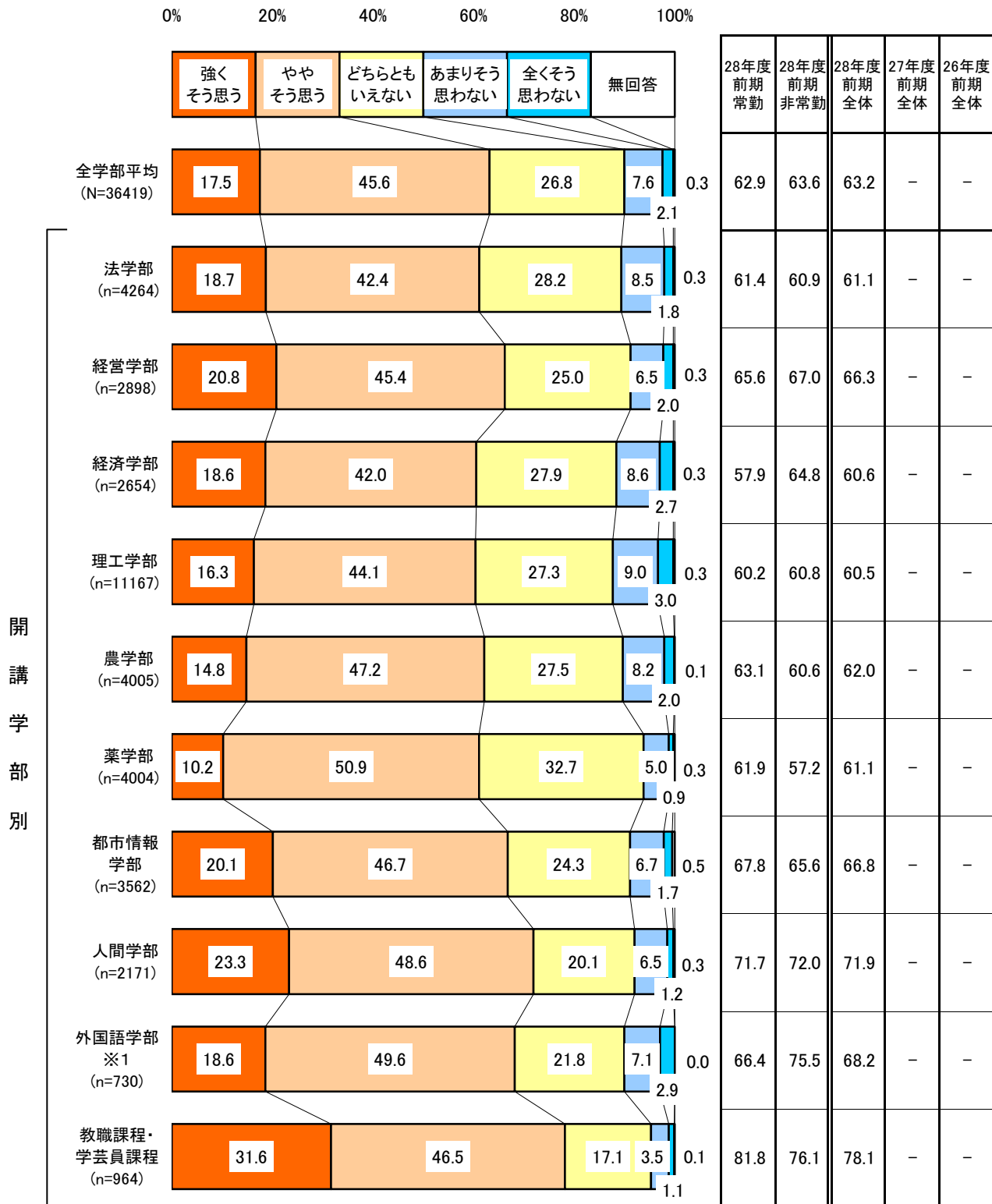
# 13 学生評価の基礎データ 成長実感

[前期 学生]

成長実感に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割強。教職課程・学芸員課程で特に評価が高く、8割弱にのぼる。

【28年度前期】

Q11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1)1年次のみ



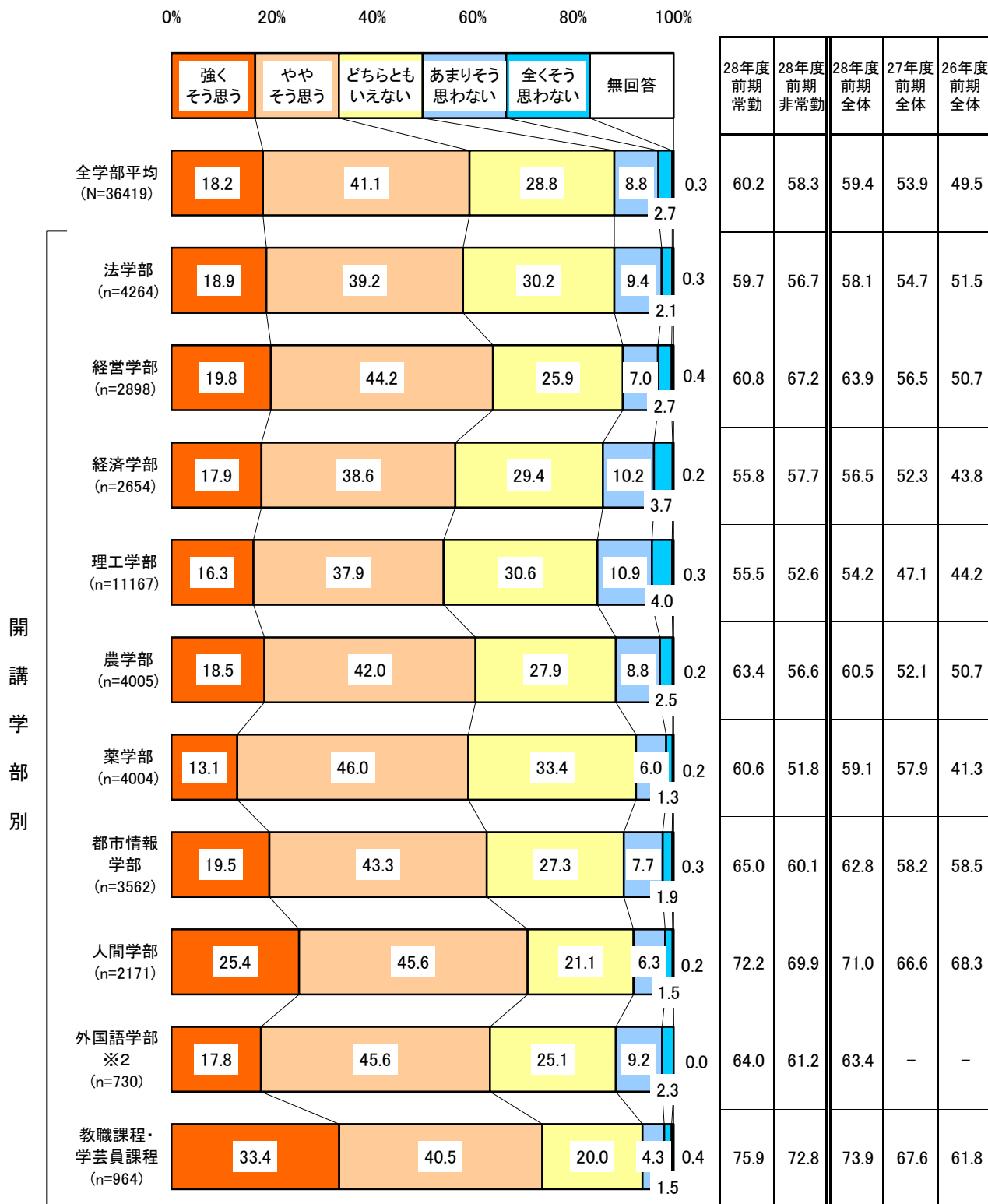
# 13 学生評価の基礎データ 興味喚起

[前期 学生]

興味喚起に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は約6割。人間学部、教職課程・学芸員課程では7割強と高い。

【28年度前期】

Q12. この授業を通じて、あなたは学問や研究への興味や意欲を膨らませることができたと思いますか。※1



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 平成26年度、平成27年度は「この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされている。」で測定

(※2) 1年次のみ

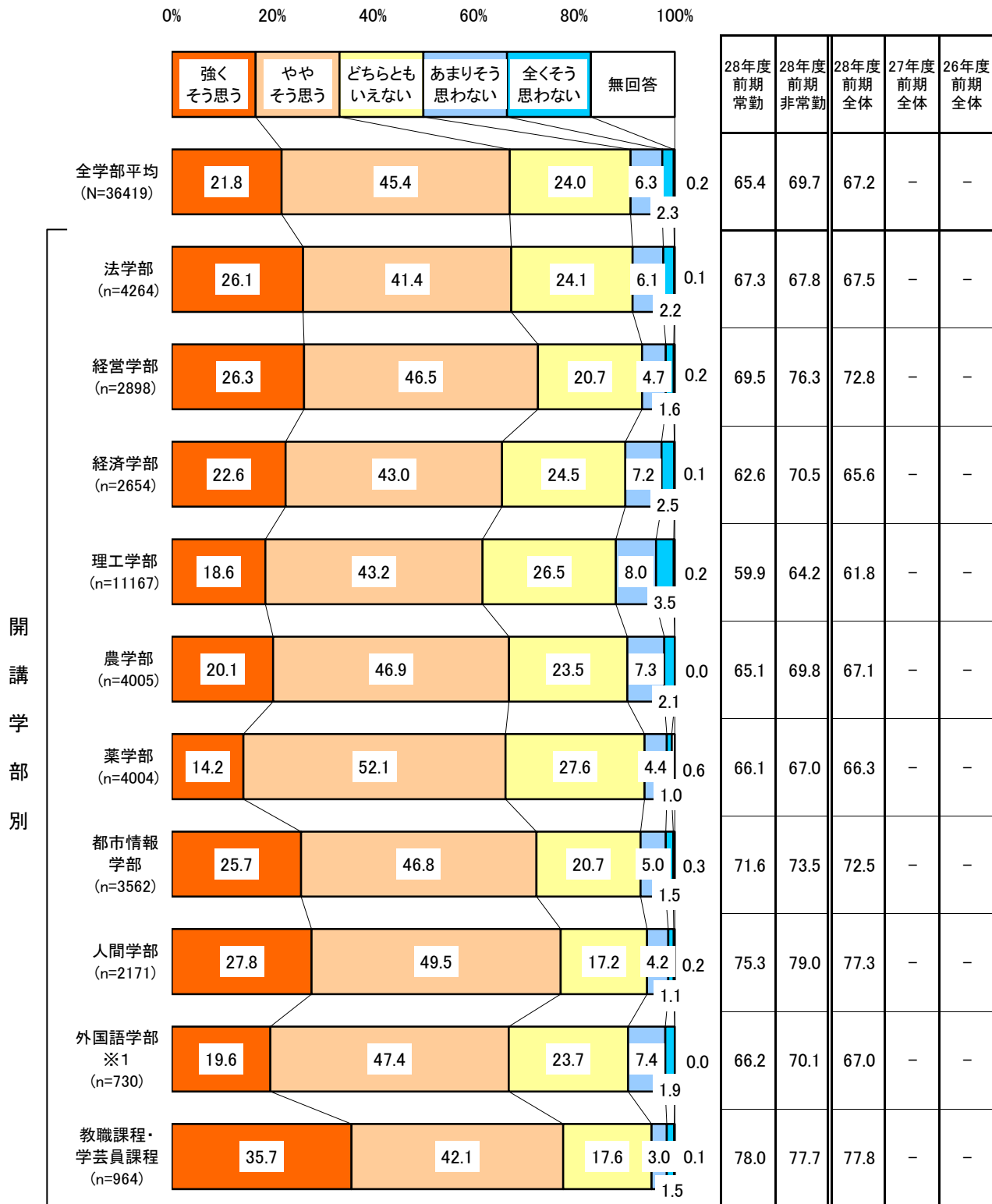
# 13 学生評価の基礎データ 授業満足

[前期 学生]

授業満足に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割弱。人間学部、教職課程・学芸員課程で8割弱と満足度が高い。

【28年度前期】

Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。



(※1)1年次のみ

\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

## 基礎データ(後期)

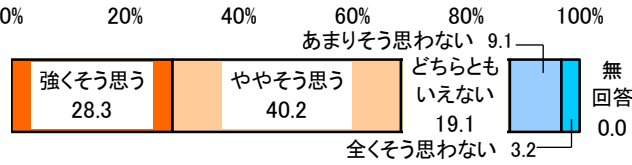


28年度後期の授業の評価を時系列でみると、全般的に緩やかな上昇傾向で、特に「板書」「理解配慮」は27年度後期から上昇している。また、学生の評価は、「興味喚起」で評価が上昇している。

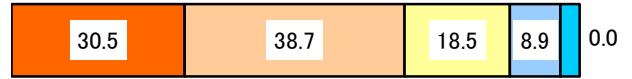
### 【28年度後期 全学部平均】(N=25727)

#### <授業の評価>

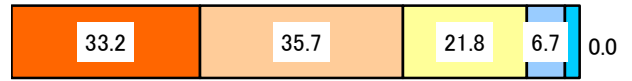
1. この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったと思いますか。※1



2. この授業では、教員の話し方は聞き取りやすかったと思いますか。※2



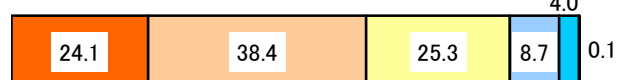
3. この授業では、教員は私語に対し、きちんと対応していましたか。※3



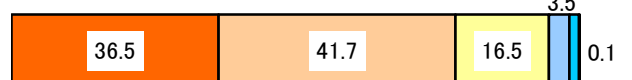
4. この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか。※4



5. この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか。

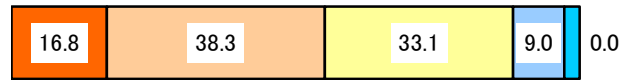


6. この授業では、教員は熱意や意欲をもって授業に取り組んでくれたと思いますか。※5

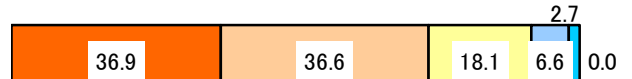


#### <学生の評価>

7. あなたは、シラバスや履修系統図を参考に、この授業の目標やねらいを十分に理解したうえで受講したと思いますか。



8. あなたは、この授業に対して、欠席や遅刻をすることなく、過度なアルバイトや寝不足などによる体調不良がない状態で臨むことができたと思いますか。



10. あなたは、この授業に意欲的・積極的に取り組むことができたと思いますか。



11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。



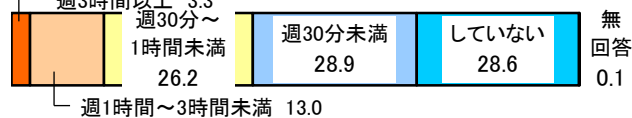
12. この授業を通じて、あなたは学問や研究への興味や意欲を膨らませることができたと思いますか。※6



13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。



9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。※7



28年度後期 常勤	28年度後期 非常勤	28年度後期 全体	27年度後期 全体	26年度後期 全体
67.6	70.8	68.6	60.7	60.3
67.9	72.3	69.2	66.9	66.6
70.6	65.1	68.9	65.1	64.2
59.7	63.6	60.8	53.7	53.5
61.4	65.1	62.5	-	-
77.6	79.6	78.2	74.2	73.0

54.4	56.7	55.1	-	-
73.2	73.9	73.4	-	-
62.2	63.5	62.6	-	-
62.7	64.1	63.1	-	-
61.3	58.7	60.5	52.7	50.8
66.0	67.1	66.3	-	-
17.4	13.6	16.3	11.9	10.0

\* 数表は各設問上位2選択肢の合計 (%)

平成26年度、平成27年度は下記で測定

(※1)この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい。

(※2)この授業では教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。

(※3)この授業では教員は私語に対し、きちんと対応している。

(※4)この授業では学生の理解度を確認しながら進められている。

(※5)この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。

(※6)この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされている。

(※7)この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)は。

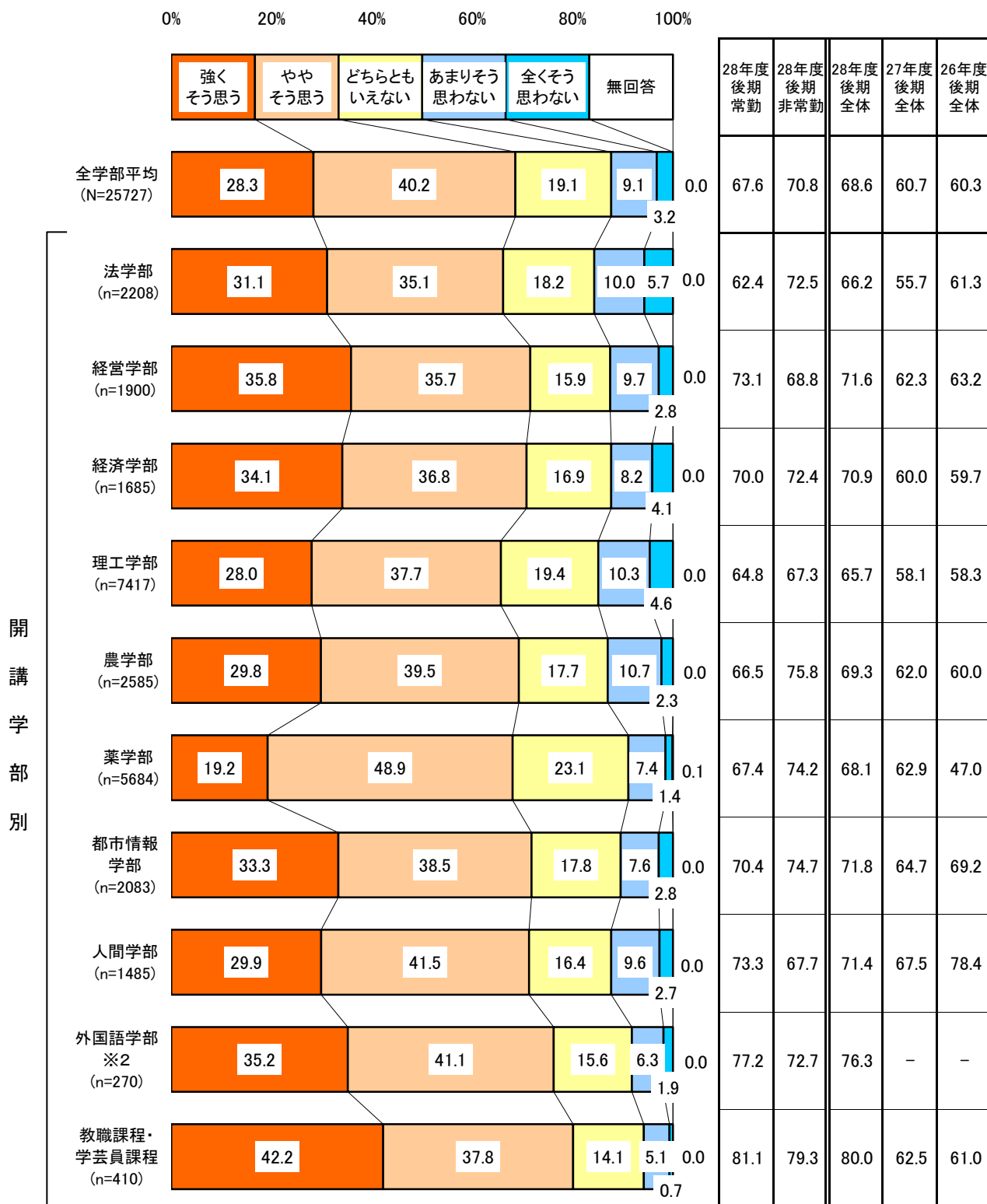
# 15 授業評価の基礎データ 板書

[後期 学生]

板書に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割弱。教職課程・学芸員課程で評価が高く、8割にのぼる。

【28年度後期】

Q1. この授業では、板書や資料等は読み取りやすかったですか。※1



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 平成26年度、平成27年度は「この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい。」で測定

(※2) 1年次のみ

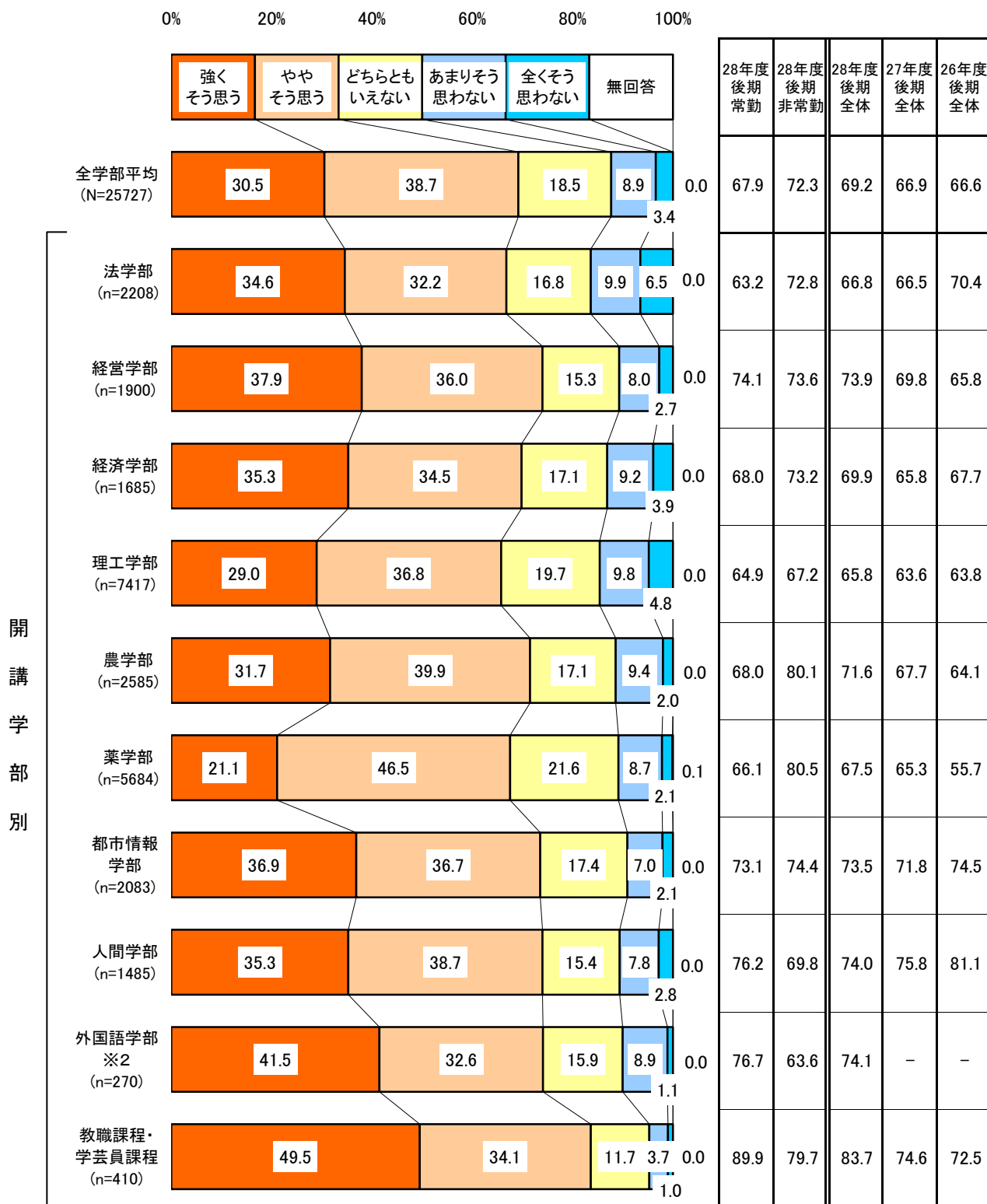
# 15 授業評価の基礎データ 話方明瞭

[後期 学生]

話方明瞭に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は約7割。教職課程・学芸員課程で8割強と評価が高い。

【28年度後期】

Q2. この授業では、教員の話し方は聞き取りやすかったですか。※1



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 平成26年度、平成27年度は「この授業では教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。」で測定

(※2) 1年次のみ

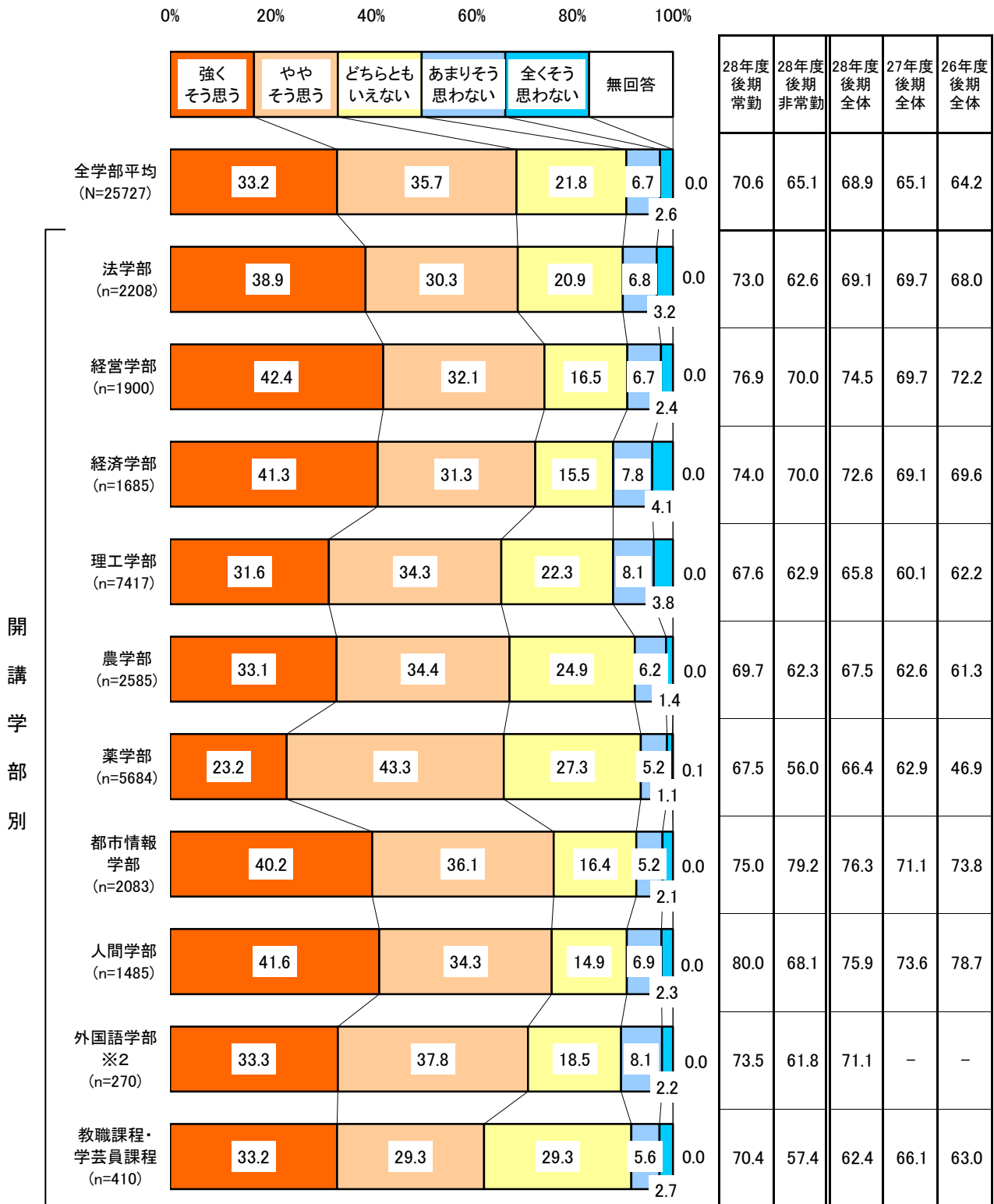
# 15 授業評価の基礎データ 私語対応

[後期 学生]

私語対応に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割弱。都市情報学部、人間学部で8割弱と高い。

【28年度後期】

Q3. この授業では、教員は私語に対し、きちんと対応していましたか。 ※1



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 平成26年度、平成27年度は「この授業では教員は私語に対し、きちんと対応している。」で測定

(※2) 1年次のみ



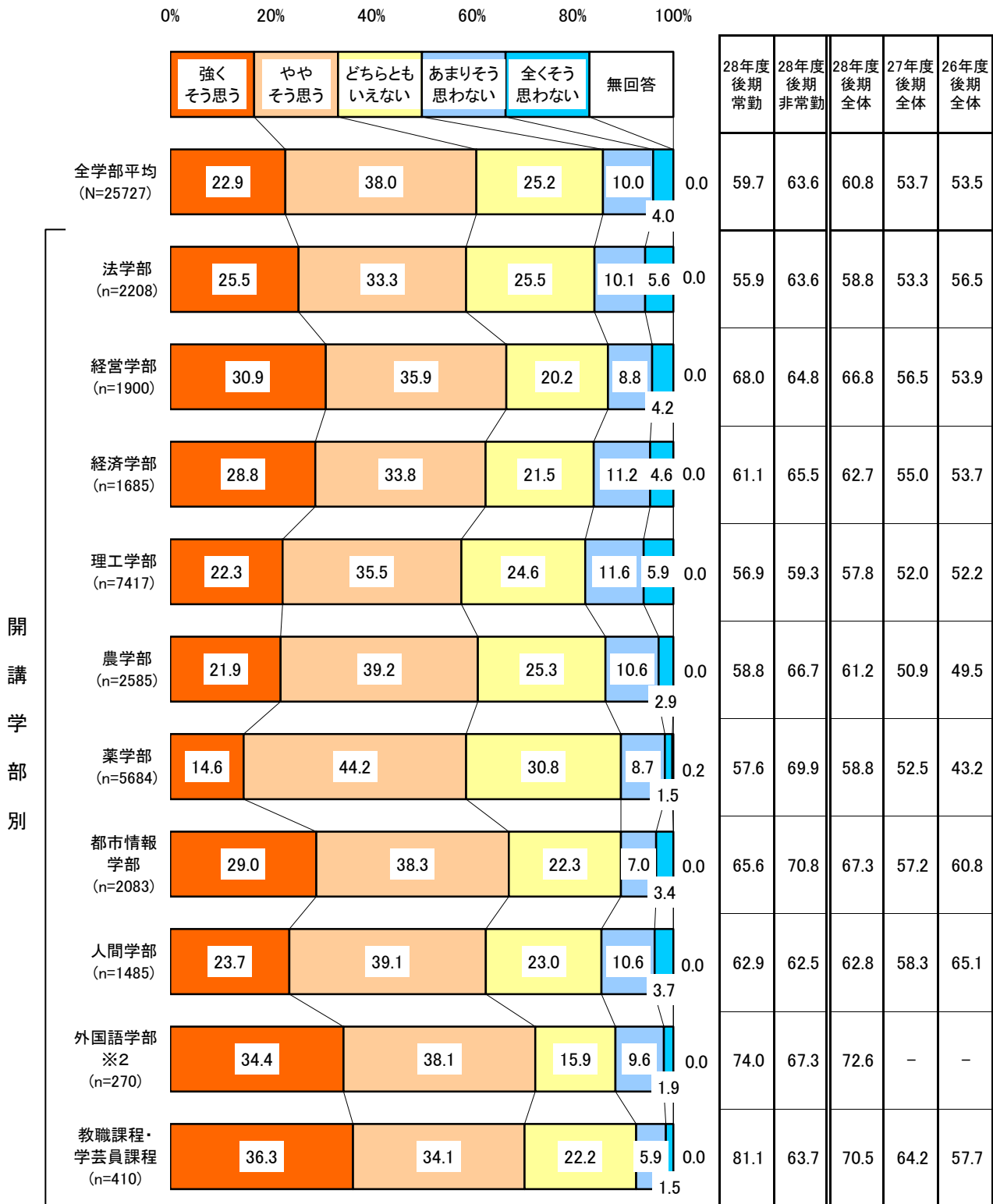
# 15 授業評価の基礎データ 理解配慮

[後期 学生]

理解配慮に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割強。外国語学部、教職課程・学芸員課程で7割強と評価が高い。

【28年度後期】

Q4. この授業では、教員は学生の理解度を確認しながら進めていましたか。 ※1



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 平成26年度、平成27年度は「この授業では学生の理解度を確認しながら進められている。」で測定

(※2) 1年次のみ

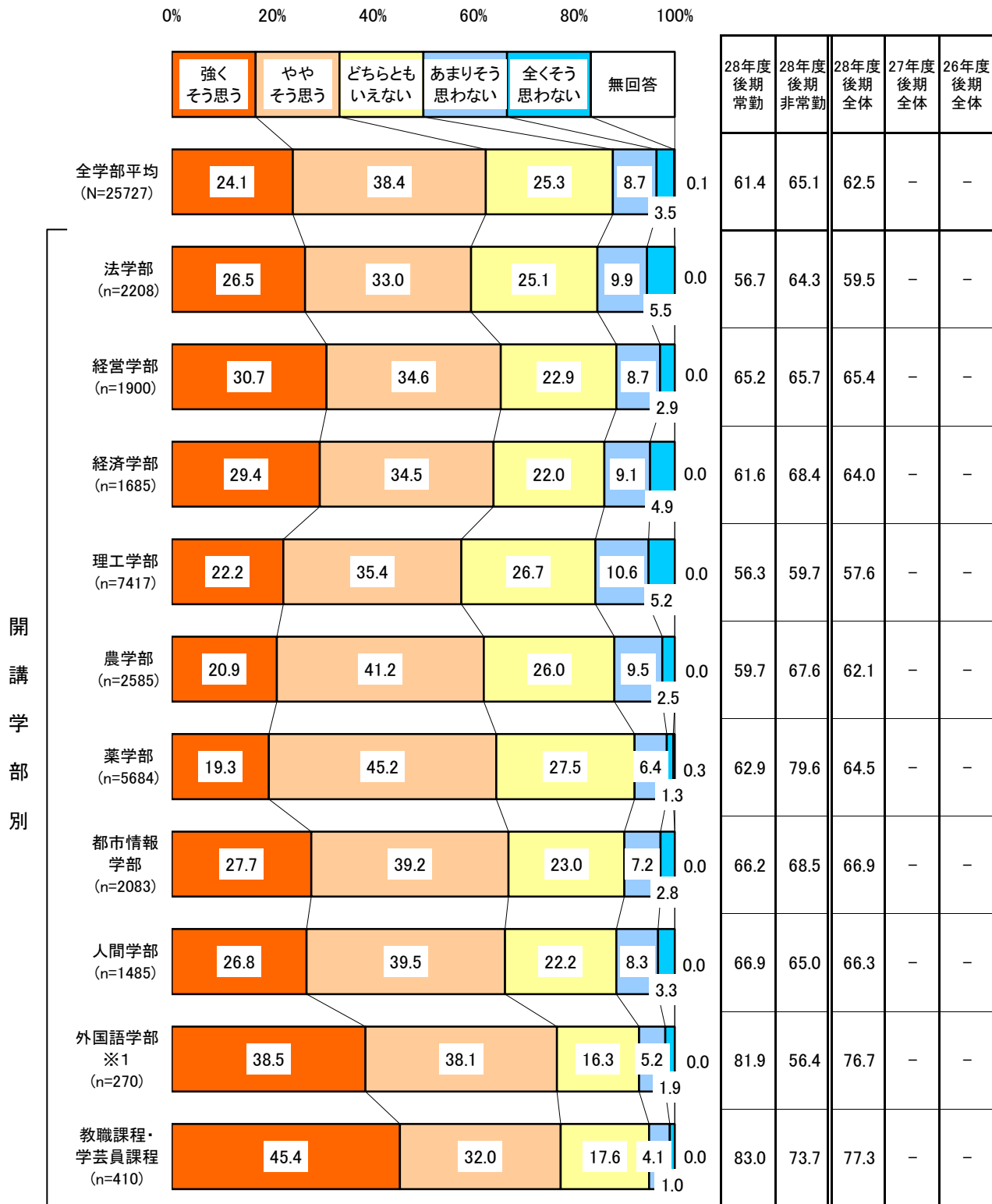
# 15 授業評価の基礎データ 工夫

[後期 学生]

工夫に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割強。外国語学部、教職課程・学芸員課程で評価が高く8割弱にのぼる。

【28年度後期】

Q5. この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていたと思いますか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1)1年次のみ

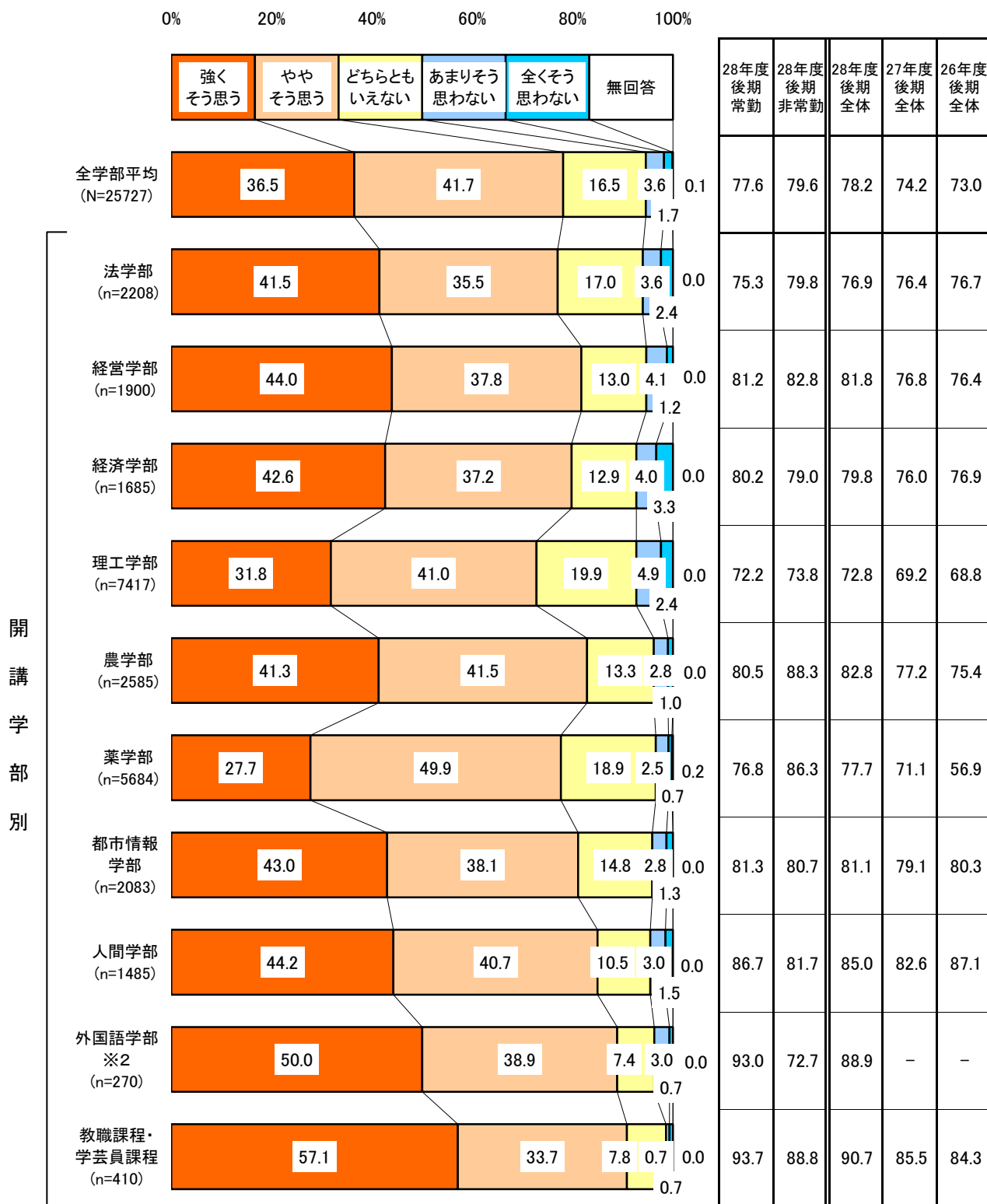
# 15 授業評価の基礎データ 熱意

[後期 学生]

熱意に関する学生の授業評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は8割弱。教職課程・学芸員課程では9割を超え、「強くそう思う」が6割弱を占める。

【28年度後期】

Q6. この授業では、教員は熱意や意欲をもって授業に取り組んでくれたと思いますか。 ※1



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

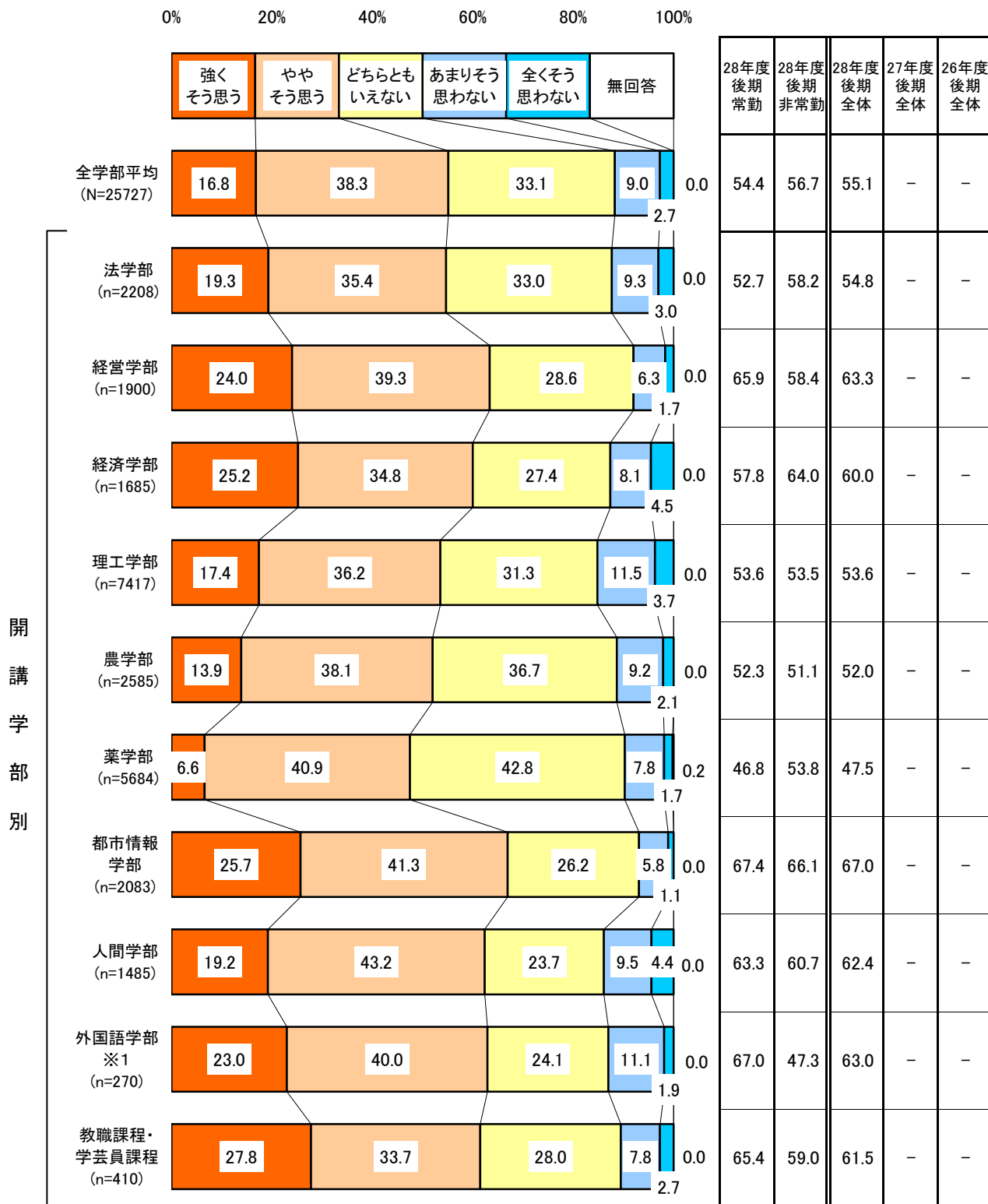
(※1) 平成26年度、平成27年度は「この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。」で測定

(※2) 1年次のみ

目標理解に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割弱。都市情報学部で7割弱と高いが、薬学部では5割弱にとどまる。

【28年度後期】

Q7. あなたは、シラバスや履修系統図を参考に、この授業の目標やねらいを十分に理解したうえで受講したと思いますか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1)1年次のみ

# 16 学生評価の基礎データ 欠席遅刻

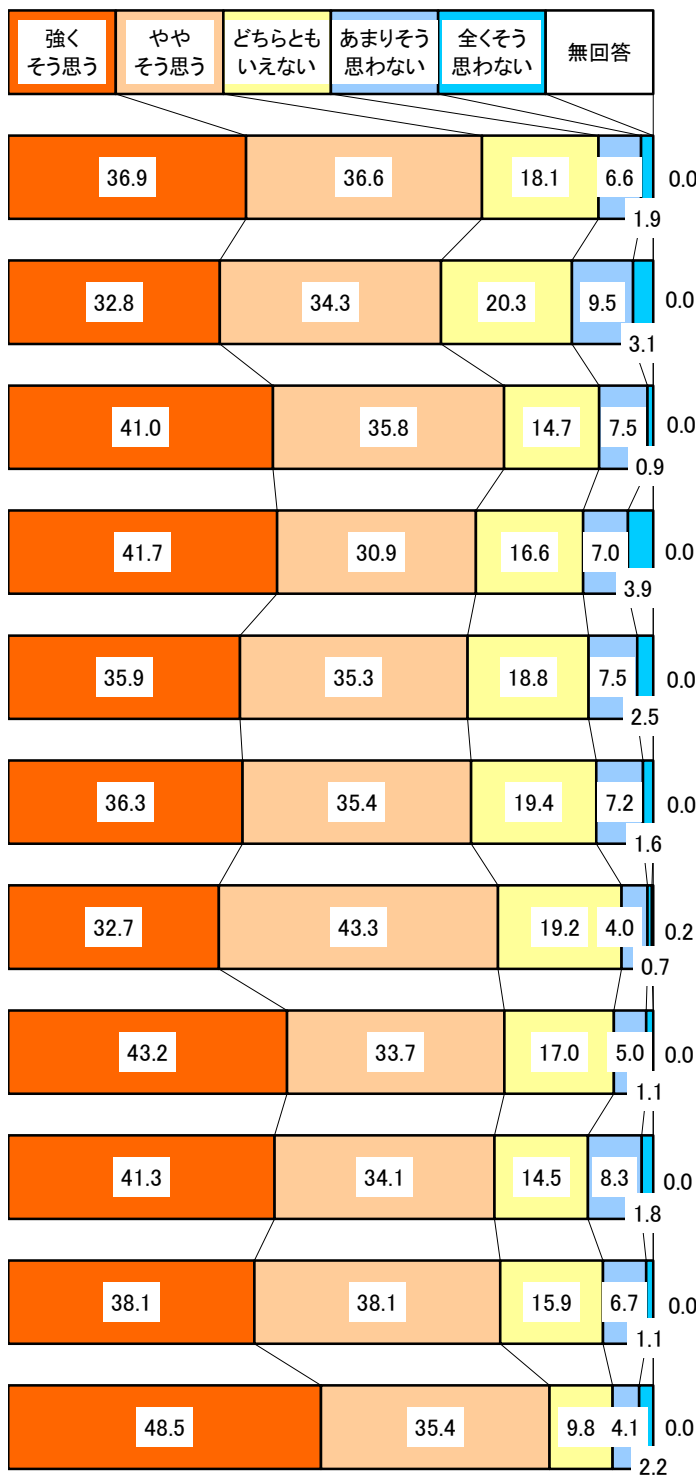
[後期 学生]

欠席遅刻に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割強。教職課程・学芸員課程で8割強と評価が高い。

## 【28年度後期】

Q8. あなたは、この授業に対して、欠席や遅刻をすることなく、過度なアルバイトや寝不足などによる体調不良がない状態で臨むことができましたか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



28年度後期常勤	28年度後期非常勤	28年度後期全体	27年度後期全体	26年度後期全体
73.2	73.9	73.4	-	-
65.6	69.7	67.1	-	-
76.7	77.0	76.8	-	-
72.6	72.6	72.6	-	-
71.2	71.2	71.2	-	-
69.5	77.0	71.8	-	-
75.7	78.3	75.9	-	-
76.5	77.7	76.9	-	-
76.5	73.2	75.4	-	-
74.9	81.8	76.3	-	-
83.6	84.1	83.9	-	-

\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1)1年次のみ

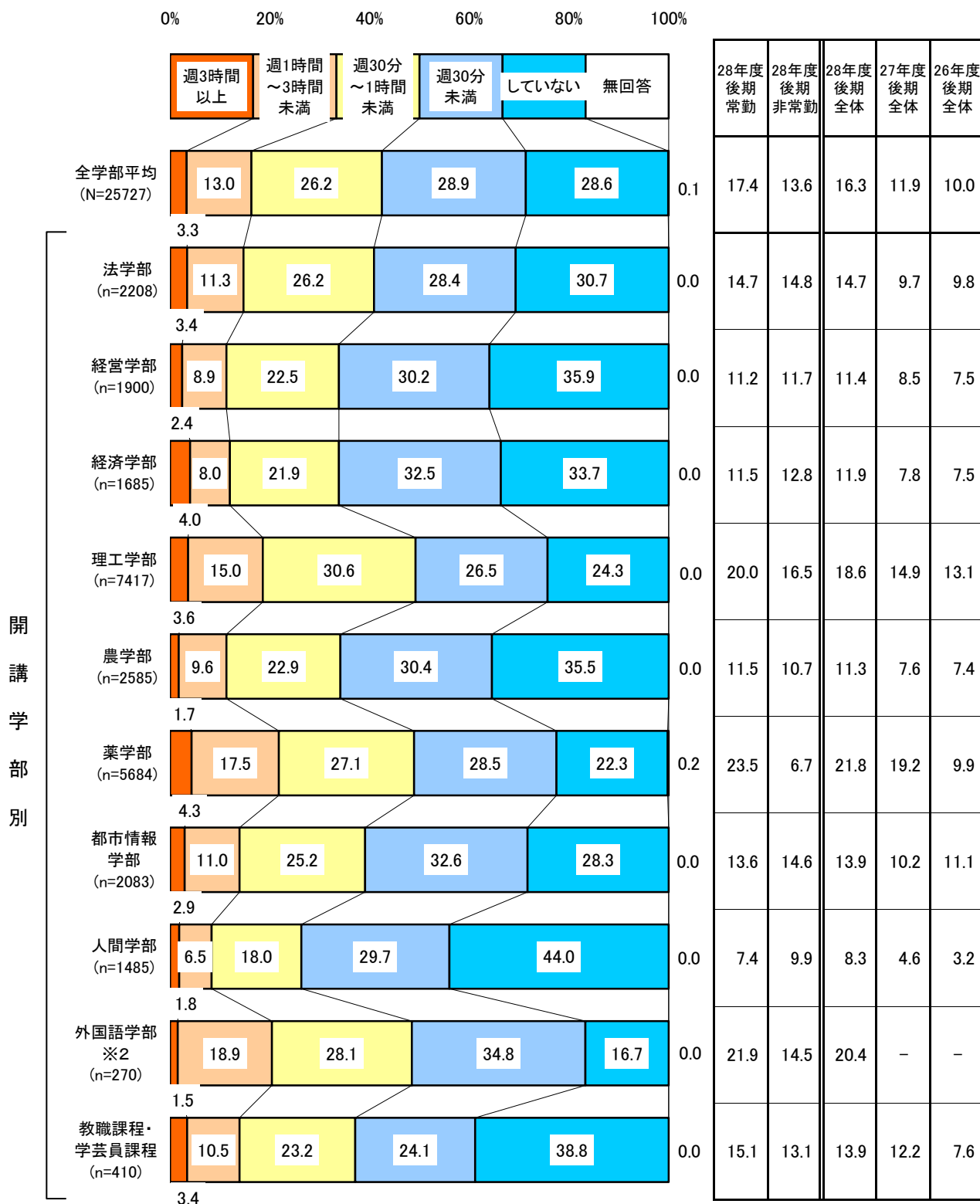
# 16 学生評価の基礎データ 自学自習時間

[後期 学生]

自学自習時間に関する学生の自己評価をみると、「週3時間以上」+「週1時間～3時間未満」と回答した学生は2割弱。薬学部、外国語学部で「週1時間以上」の割合が高め。

【28年度後期】

Q9. あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか。 ※1



\* 数表は「週3時間以上」+「週1時間～3時間未満」(%)

(※1) 平成26年度、平成27年度は「この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)は。」で測定

(※2) 1年次のみ

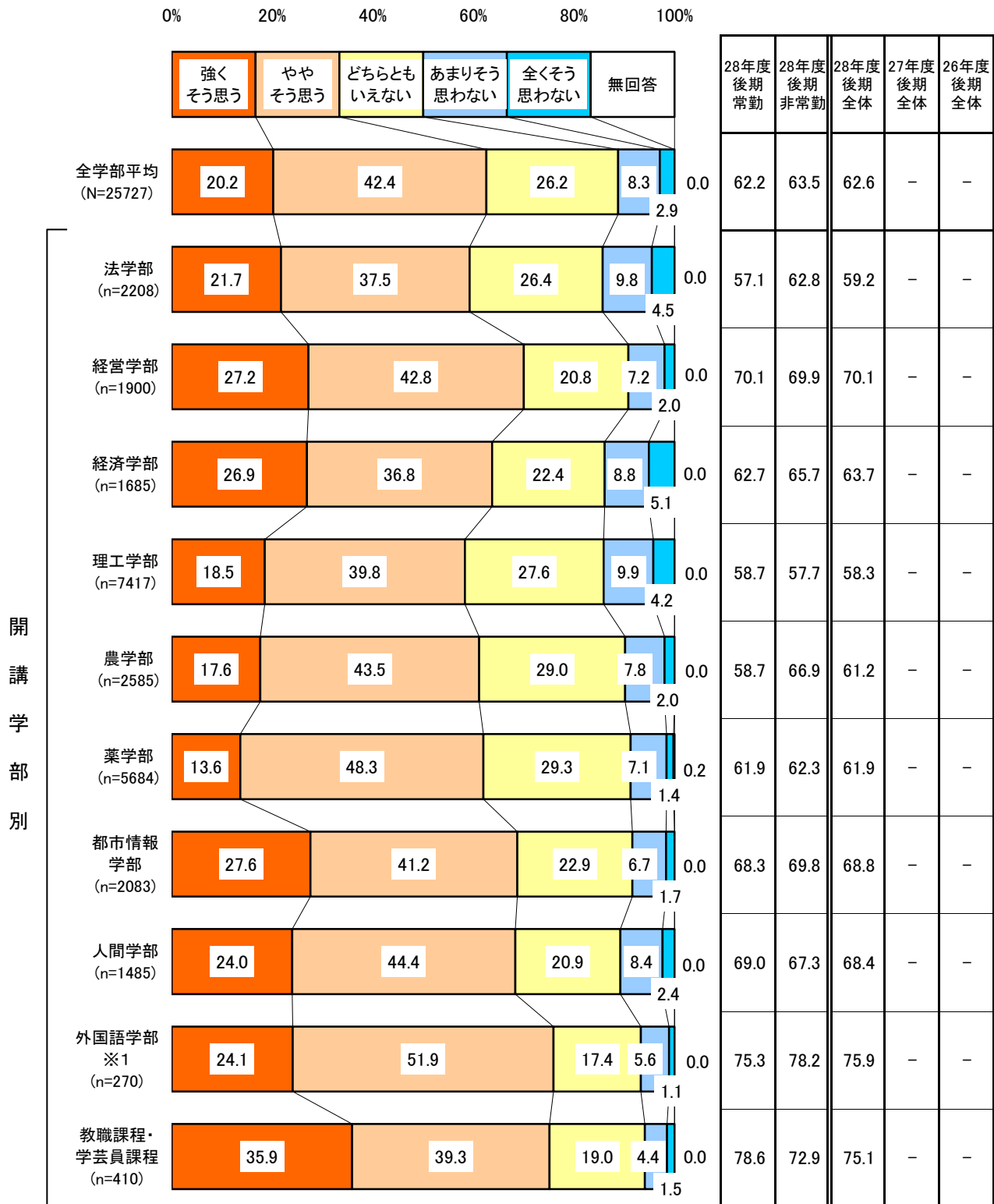
# 16 学生評価の基礎データ 意欲

[後期 学生]

意欲に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割強。外国語学部、教職課程・学芸員課程で7割台と評価が高い。

【28年度後期】

Q10. あなたは、この授業に意欲的・積極的に取り組むことができましたか。



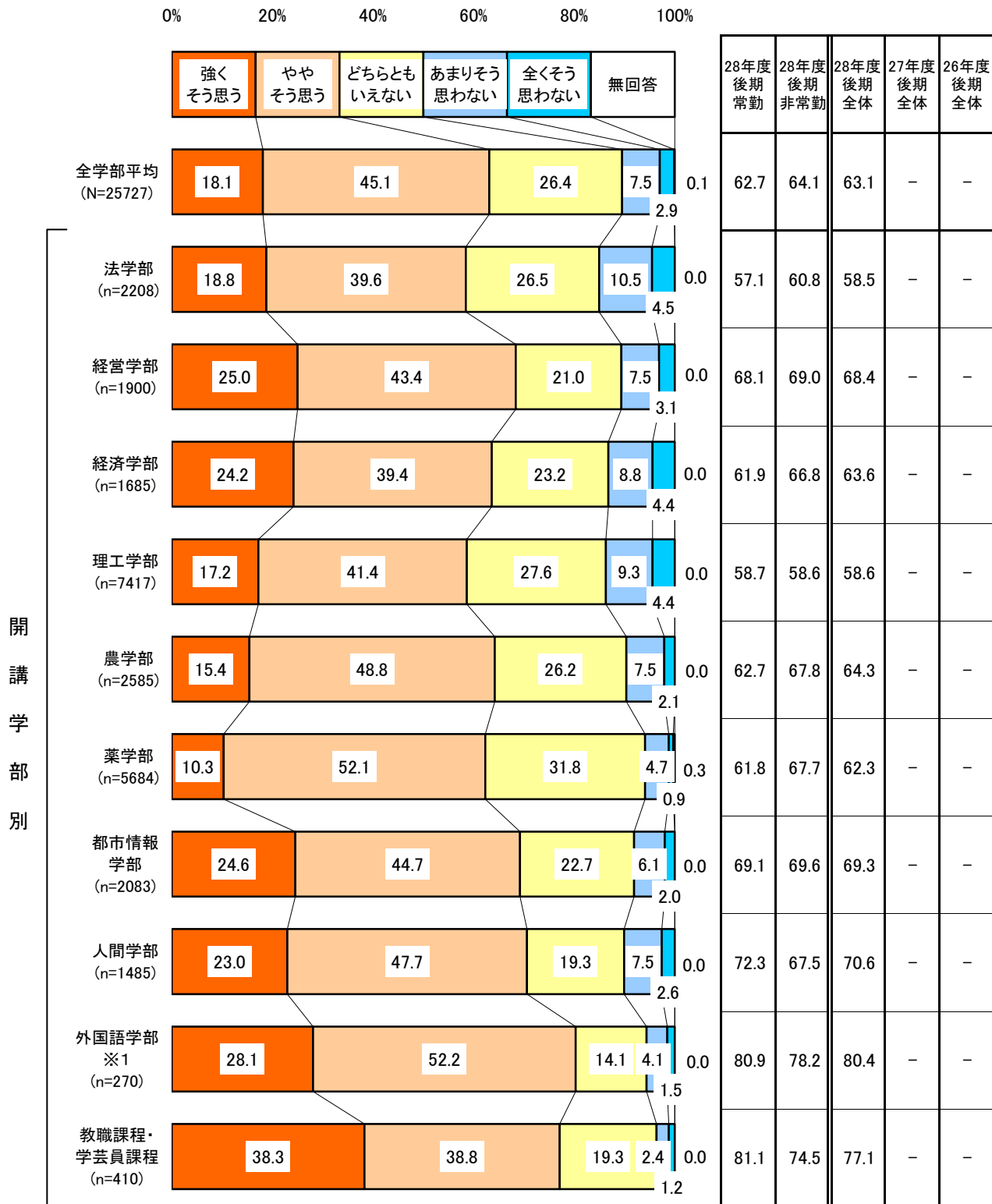
\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1)1年次のみ

成長実感に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は6割強。外国語学部で評価が高く、8割を超える。

【28年度後期】

Q11. この授業を通じて、あなたは知識やスキルを身につける等、成長を実感することができたと思いますか。



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

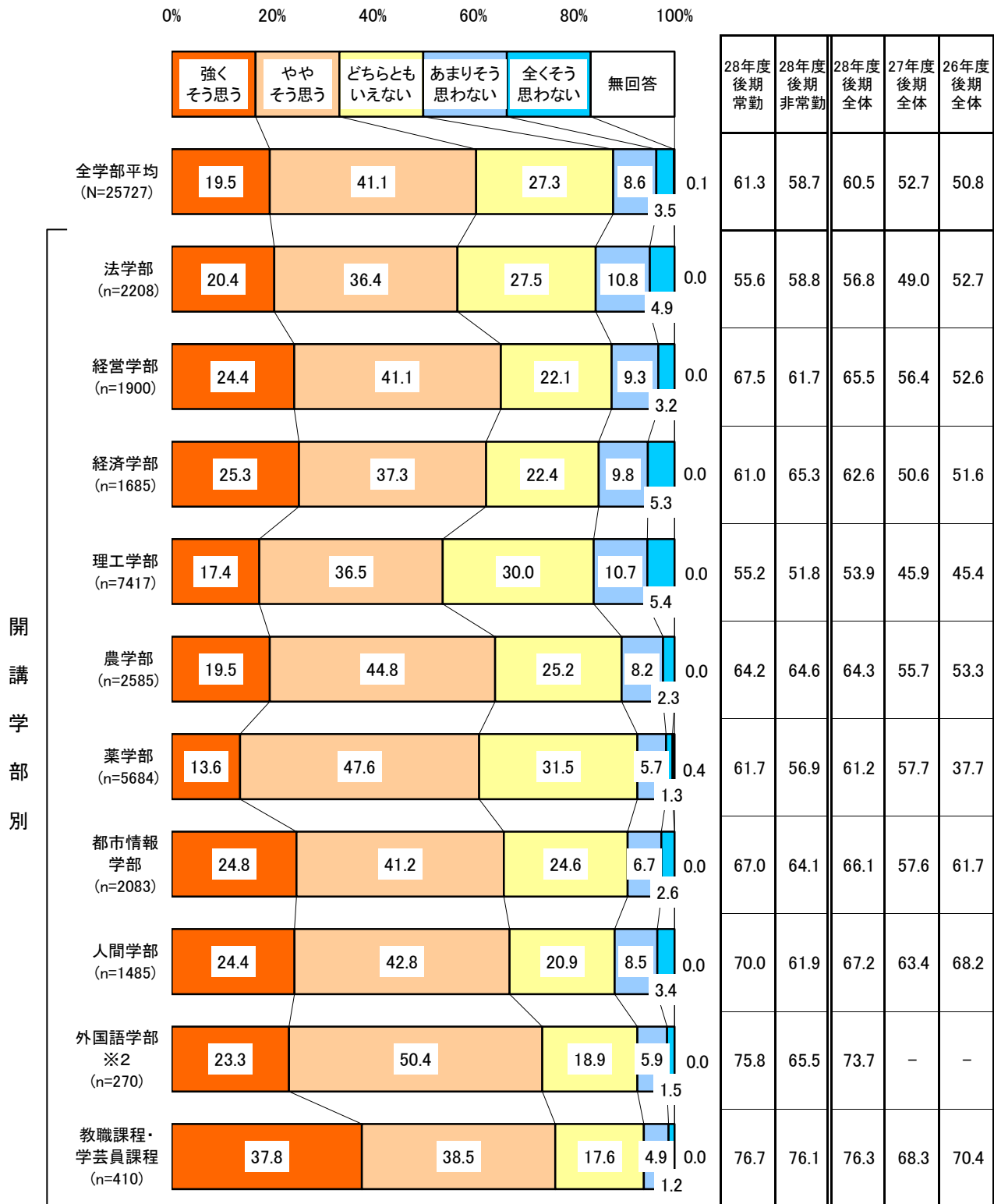
(※1)1年次のみ



興味喚起に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は約6割。教職課程・学芸員課程で8割弱と高い。

**【28年度後期】**

Q12. この授業を通じて、あなたは学問や研究への興味や意欲を膨らませることができたと思いますか。※1



\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

(※1) 平成26年度、平成27年度は「この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされている。」で測定

(※2) 1年次のみ

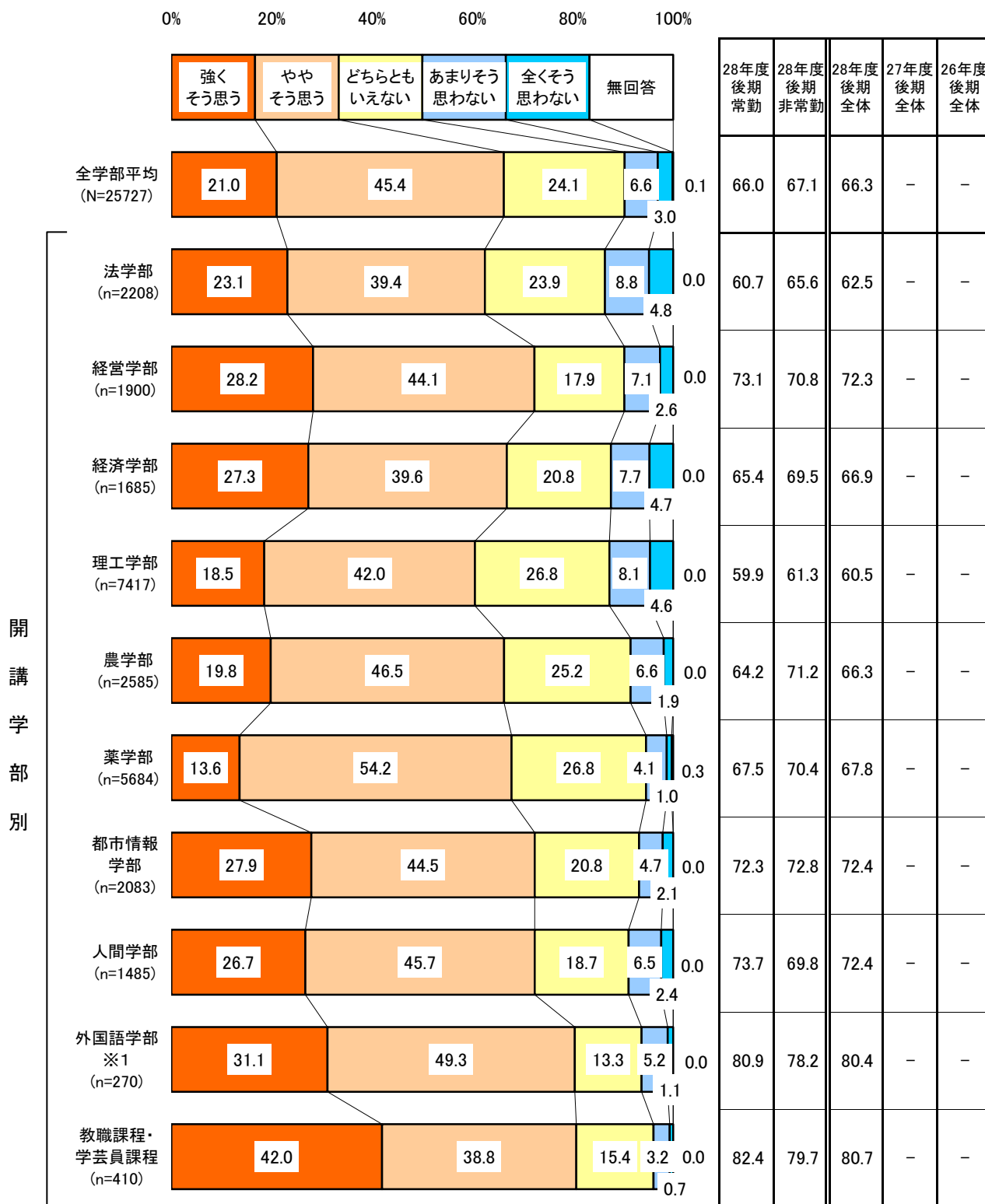
# 16 学生評価の基礎データ 授業満足

[後期 学生]

授業満足に関する学生の自己評価をみると、「強くそう思う」+「ややそう思う」と回答した学生は7割弱。外国語学部、教職課程・学芸員課程で満足度が高く、8割を超える。

【28年度後期】

Q13. この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか。



(※1)1年次のみ

\* 数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

平成28年度授業改善アンケート  
調査結果報告書

発行日 : 平成29年 3 月

編 集 : 名城大学FD委員会  
名城大学大学教育開発センター

発 行 : 名城大学FD委員会